学生の確保の見通し等を記載した書類

（１）学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

①学生の確保の見通し

ア　定員充足の見込み

1)定員設定の考え方

食マネジメント学部は、私立大学の経済・経営・商系を取り巻く一般的な志願状況、本学への志願動向、独自に行った高校生へのアンケート結果、および教育研究の充実の観点から、入学定員 320 人、収容定員 1,280 人とした。

食マネジメント学部は、食関連の高度マネジメント人材を養成することを目的とした、経済学関係を学位の分野とする教育研究を行う学部である。同学部の入学定員および収容定員の設定にあたっては、下記の「2)」にその根拠となるデータを示すとともに、次項「イ」において詳細な分析結果を述べ、これらの定員充足の見込みを前提として、入学試験ごとの募集人数の妥当性と受験生確保の見込み、学生納付金収入による教育研究の持続性といった観点を総合的に勘案した。

2)定員充足の見込み

(i)私立大学における経済・経営・商系の志願者動向

食マネジメント学部は、先述のとおり食関連の高度マネジメント人材を養成することを目的にした、経済学関係を学位の分野とする学部であることから、本学部への入学を希望する志願者の中心となるのは経済・経営・商系の大学・学部を進学先として志願する者であると考えられる。この経済・経営・商系の志願者動向について直近の予備校調査によれば、文系 4 系統（文・人文系、社会・国際系、法・政治系、経済・経営・商系）のうち、経済・経営・商系は志願者が 2 番目に多く、2017(平成 29)年度入試においては、私立大学志願者総数 3,366,940 名の 20.2%にあたる 681,600 名が経済・経営・商系を志願している。私立大学の志願者数は、2015（平成 27）年度から 2017（平成 29）年度の 3 年間で 11.6%増加しており、その中でも特に、経済・経営・商系は 23.1%の増加を示している。このように経済・経営・商系の志願状況が堅調な動向から、入学者を充分に確保できる状況にあるといえる（資料 1　「2017 年度入試　私立大入試結果 河合塾」）。

(ⅱ)立命館大学の志願者動向

志願者の動向は、学部・学科の分野とともに、大学の持つ社会的認知の状況も大きな影響を与える。立命館大学の 2017（平成 29）年度入学者対象の入学試験結果（資料 2 「立命館大学の志願者・合格者・入学者数の推移」）では、全学部の入学定員 7,629 人に対し、志願者は 100,287 名、志願倍率が 13.1 倍であった。また、合格者については、31,111 名であり、競争倍率は 3.2 倍、入学手続き率は、25.1%であった。過去 5 年間の全学部の志願者・合格者・入学者数の推移（資料 2　「立命館大学の志願者・合格者・入学者数の推移」）においても、本学は安定して受験生および入学者を確保している。

(iii)高校向けアンケートにおける学生確保の見込み

食マネジメント学部の新設に伴い、学生確保の見通しについて、高校 3 年生に 2 件のアンケート調査を実施した。全国の高校 3 年生へのアンケート（資料 3　食マネジメント学部進学意向に関する調査報告書）に回答したのは、309 名である。また、提携校および附属校の高校 3 年生へのアンケート（資料 4　　提携校および附属校アンケート調査結果）も行った。アンケートに回答したのは、提携校の高校 3 年生 743 名、附属校の高校 3 年生 1,183 名である。

全国の高校 3 年生（N=309）へのアンケートにおいて、受験希望については、15.5%（検討する 3.2%、検討する可能性がある 12.3%）であった。また受験を検討しないという回答を除いた 125 名に合格した場合の進学を尋ねたところ、36.0%（ぜひ進学したい 10.4%、検討したい 25.6%）が進学意向を示した。

関西圏に存在する提携校の高校 3 年生（N=743）へのアンケートにおいて、受験希望については、24.0%（受験したい 5.1%、どちらかと言えば受験したい 18.9%）であった。また受験しないという回答を除いた者に対して合格した場合の進学意欲を尋ねたところ、合格した場合入学したいと回答した者が 51.3%であった。

さらに、本学の 4 附属校の高校 3 年生（N=1,183）のアンケートにおいては、13.5%が強い進学意向（とても進学したい 9.9%、進学したい 3.6%）を示した。

このような全国の高校 3 年生の意向、関西圏に立地する提携校の高校 3 年生、および附属校の高校 3 年生へのアンケート結果から見れば、入学定員は確実に充足すると見込む事ができる。

上記のように、食マネジメント学部の定員は、予備校の調査による経済・経営・商系の志願状況が堅調であること、本学への志願動向が堅調に推移していること、今般実施した高校生へのアンケート調査で充分な入学希望者があること、この 3 点から入学定員の充足が可能であると判断した。

イ　定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

食マネジメント学部の新設に伴い、高校生へのアンケートによるデータを収集して分析を行った（資料 3　食マネジメント学部進学意向に関する調査報告書、資料 4　提携校および付属校アンケート調査結果）。なお、この調査においては、一般の高校 3 年生へのインターネットアンケート、本学の提携校 4 校へのアンケート、附属校 4 校へのアンケートを実施している。

1)一般の高校 3 年生へのアンケートにおける学生確保の見込み

・調査対象：　マクロミルモニターに登録する全国の 15～18 歳の男女のうち、大学への進学を希望する高校 3 年生（2017（平成 29）年 4 月時点）
・実施人数：309 人
・調査方法：36,366 人に対してインターネットにて事前調査を行い、その回答者のうち大学への進学を希望する高校 3 年生に対してインターネットにて本調査を実施
・調査期間：2017（平成 29）年 4 月 24 日～27 日

・アンケート対象者への開示情報内容
：学部学科名称、設置理念、養成する人材像、カリキュラム概要、想定進路、設置場所、学生納付金

一般の高校 3 年生向けアンケートでは、興味のある学問分野（複数回答）として食マネジメント学部の学位の分野である経済学と関わる「経済学・経営学・商学」に関わる学部への回答が、経済学部 19.1%、経営学部 13.9%、商学部 9.1%となっていた。つまり、最低でも高校生の 5 人に 1 人が経済学・経営学・商学に興味を持っていることを示している。

また立命館大学が設置を予定する「食マネジメント学部」の概要を示したうえで、学びに関する興味および受験意欲、進学意欲について回答を求めた。食マネジメント学部への興味に関しては、全回答者のうち、「興味が湧く」10.7%、「やや興味が湧く」30.4%となっており、アンケート対象となっている高校 3 年生のうち、41.1%が何らかの興味を持っている事が判明した。

その上で、受験希望については、「候補の 1 つとして、検討する」3.2%、「候補の 1 つとして、検討する可能性がありそう」12.3%であった。さらに検討の余地をわずかでも残している層、「候補の 1 つとして、検討する可能性がわずかにありそう」24.9%であった。

さらに、受験を「検討しない」と回答した者を除いた対象（N=125）に入学意欲について回答を求めたところ、「是非進学したい」10.4%、「進学を検討したい」25.6%、「どちらかと言えば、進学を検討したい」49.6%であった。

2)立命館大学が提携する高等学校の高校 3 年生へのアンケートにおける学生確保の見込み
・調査対象：平安女学院高等学校、育英西高等学校、初芝立命館高等学校、初芝橋本高等学校
・実施人数：743 人
・調査方法：立命館大学が提携する高等学校 4 校にアンケート用紙を必要部数送付し、各校の教職員から調査対象者（高校 3 年生）にアンケート用紙を配布の上、10 分程度の回答時間を設け、その場で回収した。
・調査期間：2017（平成 29）年 4 月 24 日から 5 月 12 日
・アンケート対象者への開示情報内容
：学部学科名称、設置理念、養成する人材像、カリキュラム概要、想定進路、設置場所、学生納付金

提携する高等学校は、食マネジメント学部にとっても学生層の多くを確保する地域の関西圏に位置する高等学校である。この対象へ、立命館大学が設置を予定する「食マネジメント学部」の概要を示したうえで、進路の予定および受験意欲、進学意欲について回答を求めた。

高校卒業後の進路については、92.2%が大学と回答しており、進学への意欲の高い層であると言える。その上で、「食マネジメント学部」への興味を尋ねたところ、「とても興味がある」6.9%、「どちらかと言えば興味がある」20.8%、「興味がある」11.3%であった。

次に受験意欲を尋ねたところ、「受験したい」5.1%、「どちらかと言えば受験したい」18.9%であった。おおよそ 24.0%が受験への意欲を持っている事となる。

上記の受験意欲を持つ者に対して入学への意欲を尋ねたところ、「合格した場合入学したい」

51.3%、「合格した場合、併願大学の結果によっては入学したい」48.7%と、積極的に入学したいと考える者の方が多くなっていた。

「合格した場合入学したい」と回答した者以外の者に、その理由を尋ねたところ、61.0%が「興味・関心のある分野ではないから」を選択しており、受験しない、また併願大学の結果を見る層においては、食のマネジメントそのものへの関心が薄い層である事が判明した。

3)立命館大学附属高等学校アンケートにおける学生確保の見込み

・調査対象：立命館高等学校、立命館宇治高等学校、立命館慶祥高等学校、
立命館守山高等学校
・実施人数： 1,183 人
・調査方法：立命館大学の附属高校 4 校に高校生アンケート用紙を必要部数送付し、各校の教職員から調査対象者（高校 3 年生）にアンケート用紙を配布の上、10 分程度の回答時間を設け、その場で回収した。
・調査期間：2017（平成 29）年 4 月 24 日から 5 月 12 日
・アンケート対象者への開示情報内容
：学部学科名称、設置理念、養成する人材像、カリキュラム概要、想定進路、設置場所、学生納付金

立命館大学が設置を予定する「食マネジメント学部」の概要を示したうえで、進路の予定および受験意欲、進学意欲について回答を求めた。卒業後の進路としては「立命館大学」73.8%、「立命館大学以外の大学」23.4%であった。

食マネジメント学部への興味については、「とても興味がある」14.6%、「どちらかと言えば興味がある」19.2%、「興味がある」11.6%であった。

その上で、進学意欲について回答を求めたところ、「とても進学したい」9.9%、「進学したい」3.6%、「どちらかといえば進学したい」11.7%であった。

「進学しない」と回答した者にその理由について回答を求めた（複数回答）ところ、71.7%が「興味・関心のある分野ではないから」を選択しており、進学を希望しない層においては、食のマネジメントそのものへの関心が薄い層である事が判明した。

なお、2016（平成 28）年度に行った全国の高校 2 年生 19,800 名と附属校 1,065 人の計 20,865 人を対象とした食科学部名での調査（資料 5　立命館大学「食科学部」設置に係るニーズアセスメント調査（高校生アンケート調査）報告書（2016 年度調査））においても、食に関する新たな学部について、高校生の関心の高さが見られる結果となっており、この二回の調査を通じてみれば、定員充足は十分に可能であると言える。

②学生確保に向けた具体的な取組状況

1）2016（平成 28）年度における取組

食マネジメント学部の開設に向けて、経済学分野の学びが前提となるが、食マネジメント学という名称を含んだ学部が国内に存在しないこともあり、食マネジメントの教育研究の原点である食科学の意味や、食マネジメント学部の学びのコンセプトなど、幅広い広報を中心として

実施してきている。なお、この広報活動では学生募集に関わる事項は出していない。

この広報活動を進めるにあたり、本学の入試広報を実施する入学センター、一般的な学園の広報を実施する広報課と連携をし、本学部のコンセプトが受験生に伝わるかどうかに関するヒアリング調査を予備校に実施した。これにより得た情報を踏まえ、下記の取組を実施した。

a）オープンキャンパス（2016（平成 28）年 8 月）において相談ブースを設置

食マネジメント学部の設置構想を広く伝えていく広報の一環として、本学部の設置予定キャンパスである、びわこ・くさつキャンパスで開催されたオープンキャンパスの相談ブースにおいて、説明する機会を設けた。相談には 80 名が訪れた。

b)インターネットによる広報

雑誌等へ掲載されることもあり、2016（平成 28）年 9 月 26 日から本学部のホームページを開設している。また併せて、食の学びやキャリアを示すホームページも 2017（平成 29）年 2 月より開設している。これらの活動により、食マネジメントに関する学びを中心とした広報だけではなく、食マネジメントや食科学の社会的理解を促す役割も果たしている。

c)高大連携の取組

本学の 4 附属校において、高大接続の観点から教員および生徒に対して、食マネジメント学部の理解を深めるための広報活動を行っている。附属校からは、高大接続のための授業開発の相談などもあり、継続的な相談および情報提供を行っている。

なお、各種広報活動に関しては、「2018（平成 30）年度設置構想中」である旨を必ず明示しており、内容は予定であり変更する可能性について、周知を徹底した広報を行っている。

2）2017（平成 29）年度における取組予定

2016（平成 28）年度の広報活動と同様に、学内関係部署が密接な連携のもとに組織的な広報活動に取組む。また、食マネジメント学部の設置にともなう収容定員の増加に関わる学則変更の認可後には、学生募集とともに社会的認知を向上させるためにも、具体的な学びと将来像の可能性についての広報活動を実施する。

具体的には学部パンフレットを作成し、高等学校、予備校への送付とともに、全国の高等学校の進路指導室を訪問し、食マネジメント学部の教育理念や人材育成目的等について丁寧に説明する。また、附属校と連携した取組や入試相談会などにも積極的に参加して、受験生等へ直接説明する機会を設ける。あわせて、大学案内パンフレットや大学の入試サイトへの掲載、ホームページのさらなる充実を図る。

（2）人材需要の動向等社会の要請

①人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

現代の人類社会が直面する食の課題は、複雑かつ緊密にからみ合っている。経済、社会のあり方などを包括したシステムとしての視点から、文化、歴史からテクノロジーまでを総合的に

理解し解決の道を探っていくことが求められている。いま社会から要請されている食に関わる学びの体系は、食との関わりのなかで、人間の生活環境としての社会を系統的・実証的に分析する社会科学、人間の生活の営みや文化活動を分析し理解する人文科学と、食材から体内への取り込みと認知までの一連の科学的な仕組みを理解する自然科学からの研究成果を視野に捉えながら、具体的に社会の発展へ還元する実践を可能とするための総合的な学びの体系である。この総合的な学びと知の体系を「食科学」と呼ぶ。

「食科学」はグローバル化し複雑化した 21 世紀における経済・社会が直面する、食に関わる様々な課題の解決へ向けて教育研究上で発展が見込まれ、また社会から必要とされているアプローチである。このアプローチによって、食の社会問題を俯瞰的に理解し、問題解決に向けて、社会科学、人文科学、自然科学という従来の学問の枠組みを超えた広い学識と高い倫理観を備えた、よりよい社会作りに実際に貢献しうる人材を養成することが可能となる。

その上で、立命館大学が設置する「食マネジメント学部」は、社会的要請を受けて、持続的で安定的なシステムを構築し運営する高度マネジメント人材を養成する。すなわち、「食科学」の中でも特に、食に関わる分野の企業経営から地域経営、あるいは国民経済、国際経済の政策決定などで中心的な役割を担う人材の養成である。そのために、経済学・経営学を基幹としたフードマネジメントの分野を中心に据えた上で、それを支えるフードカルチャー、フードテクノロジーの 2 分野からなる体系を持つ教育課程を構築する。

これらを踏まえて、食マネジメント学部では、人材育成目的を「経済学・経営学を基盤としながら、食に関する深い知見を培い、高度なマネジメント能力と実践的な行動力を備え、食の人類的な課題の解決に寄与できる人材を育成する。」とおき、具体的な教育目標を下記のとおり設定する。

(a)食に関する広い関心を持ち、多様な視点を相互に関連付けて食を理解しようとする意欲と態度を持つ。

(b)経済・経営に関する知識を中心に、幅広い学問分野の知識を身に付けることによって、食に関する国内外の諸事象を理解できる。

(c)食に関する国内外の課題解決のために、倫理的な態度と責任感を持って、他者とコミュニケーションを取りながら協働できる。

(d)食に関する国内外の課題を発見・設定し、その課題に向けて社会での実践的な行動に移すことができる。

(e)食に関する多様な考え方を関連付けて理解・分析した上で、自分の考えを明確にして発信することができる。

②上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

1)高度マネジメント人材の重要性

添付資料（資料 6 「経済産業省　飲食関連産業の動向（FBI　2016 年第４四半期）」）によれば、フード・ビジネスの従業者数は 1,014 万人（2014（平成 16）年）で、内訳は、食料品工業：143 万人、食料品流通業：393 万人、飲食サービス業：480 万人である。民営事業所における従業者数 5,742 万人（平成 26 年総務省統計局経済センサス基礎調査）と比較すると、約 18%程度を占める。また名目のフード・ビジネスの事業規模は 178 兆 7,800 億円に上る。

これらには金融、公務員、コンサルティングあるいは農協など、広く食を扱う業界や地域活性

化への支援業務、ホテル、病院・介護、駅や空港、学校などでの飲食サービス業務、さらには業務用及び家庭用の電気・ガスの各種厨房機器事業、食器などの食関連用具生産、食の IT 関連事業そして農業生産は、含まれていない。これらを合計すると、何らかの形で食の知識を必要とする従業者数比率は 18%よりもかなり高いことが推測される。

以上より、食マネジメント学部の養成する食関連の高度マネジメント人材の需要は、広範で多彩な領域において存在していると考えられる。

2）外部機関によるアンケート調査

食マネジメント学部の新設に伴い、人材需要の動向など社会的、地域的なニーズを明らかにするために、外部機関による以下のアンケート調査を実施して、中立的、客観的なデータを収集し、分析を行った（資料 7 「食マネジメント学部卒業生に対する企業採用意向調査報告書」）。

・食マネジメント学部卒業生に対する企業採用意向

調査対象：マクロミルモニターに登録する全国の 20～59 歳の男女のうち、従業員規模が 50 名以上の企業で採用に従事する者

実施人数：412 人

調査方法：138,856 人に対してインターネットにて事前調査を行い、その回答者のうち 50 名以上の従業員を抱える企業の採用に従事する者に対してインターネットで本調査を実施

調査期間：2017（平成 29）年 4 月 24 日～4 月 27 日

・アンケート対象者への開示情報内容

：学部学科名称、設置理念、養成する人材像、カリキュラム概要、想定進路、設置場所、学生納付金

・アンケート調査結果

食マネジメント学部の教育内容や教育目標等の概要を示し、社会的な必要性について尋ねたところ、全体のうち 51.7%が「必要だと思う」「どちらかと言えば必要だと思う」を選択した。うち、採用業務を主としている者に限れば、54.0%が必要性を認めていた。

食マネジメント学部についての実際の採用意向については、本調査において、全体で 36.4%が「ぜひ採用したい」「採用を検討したい」を選択した。また、「採用を検討しない」という採用意向が全くないものは、19.7%であった。また、採用意向に関しては、採用業務を主としている者に限れば、40.7%が「採用をしたい」「採用を検討したい」を選択した。

上記について、さらに詳細な分析をしたところ、200 人以上の従業員数のある企業の採用担当者にとって必要性が高い、と判断していた。つまり規模が大きな企業において、特に採用担当者から見れば、食マネジメント学部での学びが社会で必要とされているといえる。また、同様に、採用意向においても、300 人以上の規模の企業の採用担当者において「採用したい」「採用を検討したい」という意向が強くなっていた。

さらに、採用について積極的でなかった者にその理由を尋ねたところ、「学生を実際に見なければわからない」58.4%が最も多く、人物本位の採用のため、学部としての学びの内容

や人材育成目的などよりも直接の学生との接触により採用を決める意向の強いものであった。

なお、2016（平成 28）年度にも食科学部名で同様の調査（資料 8　食科学部卒業生に対する企業採用意向調査報告書）を行っているが、その調査の結果も、2017（平成 29）年度調査と同様の結果であった。

3) コンソーシアム参加企業へのヒアリング

立命館大学の「食サービス分野における高度マネジメント人材育成」プログラムは、経済産業省の「産学連携サービス経営人材育成事業」（大学等における「サービス経営人材育成」教育プログラム開発）に、2015（平成 27）年度より 3 年連続で採択されている（資料 9 「食サービス分野における高度マネジメント人材育成」）。

本事業において、立命館大学アカデミックセンターが、食サービスの人材養成のプログラムを作成するために、企業コンソーシアムを形成した。食マネジメント学部のカリキュラム等についても企業からの意見を頂くなど、高度マネジメント人材を養成するためのヒアリングを継続して行ってきた。このコンソーシアム企業へのヒアリングの中でも、食マネジメント学部生の卒業時への期待は高く、人材育成目的や教育目標についても、高い評価を頂いている。併せて、卒業生の採用意向についても、きわめて高い意向を持っており、教育課程におけるキャリア教育に関連した科目の開発についても、全面的な協力が得られる事が決定している。

上記のような調査の結果から、新設される食マネジメント学部における教育目標と人材育成目的の社会的な必要性は高いといえる。また学生のキャリア形成を見越した際に、企業の採用担当者が採用を検討する、と回答しているように、進路選択時において、食マネジメント学部入学生が期待する進路を切り拓く条件が整っている。つまり食マネジメントで人材育成目的に沿って育成した人材の需要が存在する事が明らかである。

以　上

＜添付資料＞

資料 1　2017 年度入試　私立大入試結果 河合塾
資料 2　立命館大学の志願者・合格者・入学者数の推移
資料 3　食マネジメント学部進学意向に関する調査報告書
資料 4　提携校および付属校アンケート調査結果
資料 5　立命館大学「食科学部」設置に係るニーズアセスメント調査（高校生アンケート調査）報告書（2016 年度調査）
資料 6　経済産業省　飲食関連産業の動向（FBI　2016 年第 4 四半期）
資料 7　食マネジメント学部卒業生に対する企業採用意向調査報告書
資料 8　食科学部卒業生に対する企業採用意向　調査報告書
資料 9　食サービス分野における高度マネジメント人材育成

2017年度入試 私立大入試結果（全体）（5/19現在）

※数値は5/19現在、私立535大学の集計
※2015～17年度の志願者数・合格者数公表大学を集計（合格者数の未判明やいずれかの年度データが非公表の学部・学科等については集計対象から除く）
※過年度の集計には公立大学法人へ移行した大学の数値を含む

①全体概況

		志願者数（A）					合格者数（B）					倍率（A／B）		
		15年度	16年度	17年度	16/15	17/16	15年度	16年度	17年度	15/16	17/16	15年度	16年度	17年度
全体		3,017,362	3,131,003	3,367,292	104%	108%	931,559	938,571	921,676	101%	98%	3.2	3.3	3.7
方式別	一般	2,046,603	2,136,402	2,305,737	104%	108%	572,381	580,258	563,561	101%	97%	3.6	3.7	4.1
	センター	970,759	994,601	1,061,555	102%	107%	359,178	358,313	358,115	100%	100%	2.7	2.8	3.0
期別	一期	2,808,046	2,904,287	3,104,023	103%	107%	868,276	878,681	866,162	101%	99%	3.2	3.3	3.6
	二期	209,316	226,716	263,269	108%	116%	63,283	59,890	55,514	95%	93%	3.3	3.8	4.7

2017年度入試 私立大入試結果（地区別）（5/19現在）

※数値は5/19現在、私立535大学の集計
※2015～17年度の志願者数・合格者数公表大学を集計（合格者数の未判明やいずれかの年度データが非公表の学部・学科等については集計対象から除く）
※過年度の集計には公立大学法人へ移行した大学の数値を含む

①全体（一般+センター）

地区	志願者数（A）					合格者数（B）					倍率（A／B）		
	15年度	16年度	17年度	16/15	17/16	15年度	16年度	17年度	16/15	17/16	15年度	16年度	17年度
北海道	34,969	33,680	32,644	96%	97%	18,054	19,079	19,262	106%	101%	1.9	1.8	1.7
東北	32,467	34,765	37,726	107%	109%	15,774	16,329	16,033	104%	98%	2.1	2.1	2.4
関東・甲信越(首都圏除く)	36,759	37,444	43,673	102%	117%	16,430	16,571	17,267	101%	104%	2.2	2.3	2.5
首都圏	1,736,969	1,811,141	1,930,942	104%	107%	481,258	485,576	473,526	101%	98%	3.6	3.7	4.1
北陸	21,060	20,874	22,823	99%	109%	9,118	9,366	10,388	103%	111%	2.3	2.2	2.2
東海	275,131	276,402	302,082	100%	109%	102,853	101,384	100,793	99%	99%	2.7	2.7	3.0
近畿	709,257	736,918	811,344	104%	110%	208,642	210,623	205,554	101%	98%	3.4	3.5	3.9
中国	44,116	46,506	48,245	105%	104%	23,724	24,059	23,751	101%	99%	1.9	1.9	2.0
四国	10,887	10,963	10,497	101%	96%	5,772	5,627	5,731	97%	102%	1.9	1.9	1.8
九州	115,747	122,310	127,316	106%	104%	49,934	49,957	49,371	100%	99%	2.3	2.4	2.6
全体	3,017,362	3,131,003	3,367,292	104%	108%	931,559	938,571	921,676	101%	98%	3.2	3.3	3.7

②一般方式

地区	志願者数（A）					合格者数（B）					倍率（A／B）		
	15年度	16年度	17年度	16/15	17/16	15年度	16年度	17年度	16/15	17/16	15年度	16年度	17年度
北海道	20,921	20,213	19,743	97%	98%	9,441	10,642	10,915	113%	103%	2.2	1.9	1.8
東北	21,395	23,640	25,602	110%	108%	9,458	10,097	9,926	107%	98%	2.3	2.3	2.6
関東・甲信越(首都圏除く)	22,680	23,329	27,812	103%	119%	8,657	9,034	9,790	104%	108%	2.6	2.6	2.8
首都圏	1,160,849	1,216,706	1,299,767	105%	107%	290,943	293,794	281,925	101%	96%	4.0	4.1	4.6
北陸	12,493	12,434	13,672	100%	110%	4,732	4,755	5,486	100%	115%	2.6	2.6	2.5
東海	169,964	171,130	186,368	101%	109%	55,711	55,752	54,046	100%	97%	3.1	3.1	3.4
近畿	524,773	550,528	611,498	105%	111%	142,468	145,477	141,996	102%	98%	3.7	3.8	4.3
中国	31,031	32,691	34,329	105%	105%	16,317	16,898	16,825	104%	100%	1.9	1.9	2.0
四国	8,464	8,223	7,821	97%	95%	4,350	4,132	4,310	95%	104%	1.9	2.0	1.8
九州	74,033	77,508	79,125	105%	102%	30,304	29,677	28,342	98%	96%	2.4	2.6	2.8
全体	2,046,603	2,136,402	2,305,737	104%	108%	572,381	580,258	563,561	101%	97%	3.6	3.7	4.1

③センター方式

地区	志願者数（A）					合格者数（B）					倍率（A／B）		
	15年度	16年度	17年度	16/15	17/16	15年度	16年度	17年度	16/15	17/16	15年度	16年度	17年度
北海道	14,048	13,467	12,901	96%	96%	8,613	8,437	8,347	98%	99%	1.6	1.6	1.5
東北	11,072	11,125	12,124	100%	109%	6,316	6,232	6,107	99%	98%	1.8	1.8	2.0
関東・甲信越(首都圏除く)	14,079	14,115	15,861	100%	112%	7,773	7,537	7,477	97%	99%	1.8	1.9	2.1
首都圏	576,120	594,435	631,175	103%	106%	190,315	191,782	191,601	101%	100%	3.0	3.1	3.3
北陸	8,567	8,440	9,151	99%	108%	4,386	4,611	4,902	105%	106%	2.0	1.8	1.9
東海	105,167	105,272	115,714	100%	110%	47,142	45,632	46,747	97%	102%	2.2	2.3	2.5
近畿	184,484	186,390	199,846	101%	107%	66,174	65,146	63,558	98%	98%	2.8	2.9	3.1
中国	13,085	13,815	13,916	106%	101%	7,407	7,161	6,926	97%	97%	1.8	1.9	2.0
四国	2,423	2,740	2,676	113%	98%	1,422	1,495	1,421	105%	95%	1.7	1.8	1.9
九州	41,714	44,802	48,191	107%	108%	19,630	20,280	21,029	103%	104%	2.1	2.2	2.3
全体	970,759	994,601	1,061,555	102%	107%	359,178	358,313	358,115	100%	100%	2.7	2.8	3.0

©Kawaijuku Educational Institution.

2017年度入試　私立大入試結果（系統別）（5/19現在）

※数値は5/19現在、私立535大学の集計
※2015～17年度の志願者数・合格者数公表大学を集計（合格者数の未判明やいずれかの年度データが非公表の学部・学科等については集計対象から除く）
※過年度の集計には公立大学法人へ移行した大学の数値を含む
※「全体」の数値が他の集計と一致しないのは、入試方式により大学計しか公表しない大学があるため

①全体（一般+センター）

学部系統	志願者数（A）					合格者数（B）					倍率（A／B）		
	15年度	16年度	17年度	16/15	17/16	15年度	16年度	17年度	16/15	17/16	15年度	16年度	17年度
文・人文	561,310	588,588	616,933	105%	105%	191,839	190,435	179,051	99%	94%	2.9	3.1	3.4
社会・国際	291,929	299,416	349,743	103%	117%	94,270	94,412	91,567	100%	97%	3.1	3.2	3.8
法・政治	223,670	248,452	262,526	111%	106%	78,239	78,185	69,504	100%	89%	2.9	3.2	3.8
経済・経営・商	553,788	594,816	681,600	107%	115%	170,633	171,354	165,479	100%	97%	3.2	3.5	4.1
理	128,839	124,724	121,175	97%	97%	41,226	41,933	42,420	102%	101%	3.1	3.0	2.9
工	541,202	558,046	592,810	103%	106%	160,178	163,239	173,061	102%	106%	3.4	3.4	3.4
農	102,054	98,240	105,588	96%	107%	27,484	27,283	28,795	99%	106%	3.7	3.6	3.7
医・歯・薬・保健	333,675	331,781	333,239	99%	100%	74,601	78,332	80,512	105%	103%	4.5	4.2	4.1
医	93,900	95,761	97,211	102%	102%	5,210	5,562	5,564	107%	100%	18.0	17.2	17.5
歯	6,855	6,774	6,415	99%	95%	2,179	2,191	2,338	101%	107%	3.1	3.1	2.7
薬	95,314	86,397	82,939	91%	96%	23,506	24,457	24,601	104%	101%	4.1	3.5	3.4
看護	71,553	76,478	79,358	107%	104%	22,105	23,543	24,511	107%	104%	3.2	3.2	3.2
医療技術・他	66,053	66,371	67,316	100%	101%	21,601	22,579	23,498	105%	104%	3.1	2.9	2.9
生活科学	82,616	80,249	77,604	97%	97%	28,583	28,406	28,434	99%	100%	2.9	2.8	2.7
芸術・スポーツ科学	87,846	90,915	97,438	103%	107%	27,678	29,465	28,922	106%	98%	3.2	3.1	3.4
総合・環境・情報・人間	110,036	115,776	128,284	105%	111%	36,543	35,527	33,916	97%	95%	3.0	3.3	3.8
全体	3,016,965	3,131,003	3,366,940	104%	108%	931,274	938,571	921,661	101%	98%	3.2	3.3	3.7

②一般方式

学部系統	志願者数（A）					合格者数（B）					倍率（A／B）		
	15年度	16年度	17年度	16/15	17/16	15年度	16年度	17年度	16/15	17/16	15年度	16年度	17年度
文・人文	372,852	393,476	422,224	106%	107%	115,186	113,950	108,583	99%	95%	3.2	3.5	3.9
社会・国際	197,112	202,707	238,376	103%	118%	56,468	56,384	54,085	100%	96%	3.5	3.6	4.4
法・政治	148,321	165,376	176,421	111%	107%	45,838	44,916	40,513	98%	90%	3.2	3.7	4.4
経済・経営・商	384,885	416,595	478,508	108%	115%	108,153	107,622	102,866	100%	96%	3.6	3.9	4.7
理	83,525	81,331	79,278	97%	97%	26,092	27,049	26,463	104%	98%	3.2	3.0	3.0
工	348,419	364,791	384,277	105%	105%	94,158	99,701	101,582	106%	102%	3.7	3.7	3.8
農	69,105	65,011	72,260	94%	111%	16,209	15,906	16,583	98%	104%	4.3	4.1	4.4
医・歯・薬・保健	252,806	252,631	250,557	100%	99%	52,993	56,358	56,672	106%	101%	4.8	4.5	4.4
医	78,962	81,462	82,256	103%	101%	4,491	4,853	4,776	108%	98%	17.6	16.8	17.2
歯	4,890	4,855	4,406	99%	91%	1,486	1,528	1,536	103%	101%	3.3	3.2	2.9
薬	67,481	61,308	57,567	91%	94%	15,822	17,227	16,847	109%	98%	4.3	3.6	3.4
看護	54,135	57,294	58,685	106%	102%	16,379	17,202	17,574	105%	102%	3.3	3.3	3.3
医療技術・他	47,338	47,712	47,643	101%	100%	14,815	15,548	15,939	105%	103%	3.2	3.1	3.0
生活科学	57,241	56,311	53,900	98%	96%	17,983	18,275	18,021	102%	99%	3.2	3.1	3.0
芸術・スポーツ科学	57,262	60,243	64,361	105%	107%	17,120	18,962	18,619	111%	98%	3.3	3.2	3.5
総合・環境・情報・人間	74,761	77,930	85,223	104%	109%	21,953	21,135	19,559	96%	93%	3.4	3.7	4.4
全体	2,046,289	2,136,402	2,305,385	104%	108%	572,153	580,258	563,546	101%	97%	3.6	3.7	4.1

③センター方式

学部系統	志願者数（A）					合格者数（B）					倍率（A／B）		
	15年度	16年度	17年度	16/15	17/16	15年度	16年度	17年度	16/15	17/16	15年度	16年度	17年度
文・人文	188,458	195,112	194,709	104%	100%	76,653	76,485	70,468	100%	92%	2.5	2.6	2.8
社会・国際	94,817	96,709	111,367	102%	115%	37,802	38,028	37,482	101%	99%	2.5	2.5	3.0
法・政治	75,349	83,076	86,105	110%	104%	32,401	33,269	28,991	103%	87%	2.3	2.5	3.0
経済・経営・商	168,903	178,221	203,092	106%	114%	62,480	63,732	62,613	102%	98%	2.7	2.8	3.2
理	45,314	43,393	41,897	96%	97%	15,134	14,884	15,957	98%	107%	3.0	2.9	2.6
工	192,783	193,255	208,533	100%	108%	66,020	63,538	71,479	96%	112%	2.9	3.0	2.9
農	32,949	33,229	33,328	101%	100%	11,275	11,377	12,212	101%	107%	2.9	2.9	2.7
医・歯・薬・保健	80,869	79,150	82,682	98%	104%	21,608	21,974	23,840	102%	108%	3.7	3.6	3.5
医	14,938	14,299	14,955	96%	105%	719	709	788	99%	111%	20.8	20.2	19.0
歯	1,965	1,919	2,009	98%	105%	693	663	802	96%	121%	2.8	2.9	2.5
薬	27,833	25,089	25,372	90%	101%	7,684	7,230	7,754	94%	107%	3.6	3.5	3.3
看護	17,418	19,184	20,673	110%	108%	5,726	6,341	6,937	111%	109%	3.0	3.0	3.0
医療技術・他	18,715	18,659	19,673	100%	105%	6,786	7,031	7,559	104%	108%	2.8	2.7	2.6
生活科学	25,375	23,938	23,704	94%	99%	10,600	10,131	10,413	96%	103%	2.4	2.4	2.3
芸術・スポーツ科学	30,584	30,672	33,077	100%	108%	10,558	10,503	10,303	99%	98%	2.9	2.9	3.2
総合・環境・情報・人間	35,275	37,846	43,061	107%	114%	14,590	14,392	14,357	99%	100%	2.4	2.6	3.0
全体	970,676	994,601	1,061,555	102%	107%	359,121	358,313	358,115	100%	100%	2.7	2.8	3.0

河合塾
©Kawaijuku Educational Institution.

2017年度入試　私立大入試結果（主要大学グループ別）（5/19現在）

※数値は5/19現在、私立535大学の集計
※2015～17年度の志願者数・合格者数公表大学を集計（合格者数の未判明やいずれかの年度データが非公表の学部・学科等については集計対象から除く）
※過年度の集計には公立大学法人へ移行した大学の数値を含む
※大学グループ
早慶上理：早稲田・慶應義塾・上智・東京理科　　MARCH：明治・青山学院・立教・中央・法政　　日東駒専：日本・東洋・駒澤・専修
成成明國武：成蹊・成城・明治学院・國學院・武蔵　　首都圏理系10大学：千葉工業・北里・工学院・芝浦工業・東京工科・東京電機・東京都市・東京農業・麻布・神奈川工科
首都圏女子13大学：大妻女子・学習院女子・共立女子・白百合女子・実践女子・昭和女子・聖心女子・清泉女子・津田塾・東京女子・日本女子・東洋英和女学院
・フェリス女学院
関関同立：関西・関西学院・同志社・立命館　　産近甲龍：京都産業・近畿・甲南・龍谷

①全体（一般+センター）

大学グループ		志願者数（A）					合格者数（B）					倍率（A／B）		
		15年度	16年度	17年度	16/15	17/16	15年度	16年度	17年度	16/15	17/16	15年度	16年度	17年度
535大学　計		3,017,362	3,131,003	3,367,292	104%	108%	931,559	938,571	921,676	101%	98%	3.2	3.3	3.7
主な大学グループ	早慶上理	230,694	231,988	242,620	101%	105%	50,582	49,390	47,520	98%	96%	4.6	4.7	5.1
	MARCH	395,595	406,294	430,363	103%	106%	84,375	86,056	79,216	102%	92%	4.7	4.7	5.4
	日東駒専	240,818	264,728	299,891	110%	113%	73,582	74,762	73,468	102%	98%	3.3	3.5	4.1
	成成明國武	100,357	100,012	107,694	100%	108%	26,214	25,745	24,664	98%	96%	3.8	3.9	4.4
	首都圏理系10大学	215,837	233,821	248,322	108%	106%	52,176	53,814	61,905	103%	115%	4.1	4.3	4.0
	首都圏女子13大学	60,626	62,983	68,759	104%	109%	27,273	25,890	24,555	95%	95%	2.2	2.4	2.8
	関関同立	261,478	265,291	279,885	101%	106%	80,531	82,344	75,478	102%	92%	3.2	3.2	3.7
	産近甲龍	209,024	220,784	257,664	106%	117%	47,971	48,263	50,004	101%	104%	4.4	4.6	5.2
	北星学園・北海学園	9,376	9,156	9,086	98%	99%	5,017	5,703	5,461	114%	96%	1.9	1.6	1.7
	東北学院	8,819	9,336	10,541	106%	113%	4,226	4,297	4,023	102%	94%	2.1	2.2	2.6
	南山・愛知・中京・名城	106,148	109,244	120,601	103%	110%	37,383	35,692	34,963	95%	98%	2.8	3.1	3.4
	西南学院・福岡	63,317	69,463	70,626	110%	102%	20,328	20,041	19,268	99%	96%	3.1	3.5	3.7

②一般方式

大学グループ		志願者数（A）					合格者数（B）					倍率（A／B）		
		15年度	16年度	17年度	16/15	17/16	15年度	16年度	17年度	16/15	17/16	15年度	16年度	17年度
535大学　計		2,046,603	2,136,402	2,305,737	104%	108%	572,381	580,258	563,561	101%	97%	3.6	3.7	4.1
主な大学グループ	早慶上理	196,819	197,733	208,974	100%	106%	40,689	39,500	37,791	97%	96%	4.8	5.0	5.5
	MARCH	264,309	275,197	292,159	104%	106%	51,838	52,103	46,261	101%	89%	5.1	5.3	6.3
	日東駒専	144,970	162,044	183,812	112%	113%	41,380	40,953	38,947	99%	95%	3.5	4.0	4.7
	成成明國武	62,978	62,741	66,930	100%	107%	14,382	13,949	13,153	97%	94%	4.4	4.5	5.1
	首都圏理系10大学	136,196	149,639	160,745	110%	107%	27,907	30,415	33,213	109%	109%	4.9	4.9	4.8
	首都圏女子13大学	35,438	36,877	40,833	104%	111%	15,452	14,762	13,980	96%	95%	2.3	2.5	2.9
	関関同立	181,228	185,641	196,067	102%	106%	51,870	53,969	49,394	104%	92%	3.5	3.4	4.0
	産近甲龍	159,795	169,866	202,293	106%	119%	32,340	31,705	31,976	98%	101%	4.9	5.4	6.3
	北星学園・北海学園	5,933	5,891	6,027	99%	102%	2,956	3,684	3,544	125%	96%	2.0	1.6	1.7
	東北学院	5,536	5,580	6,707	101%	120%	2,503	2,646	2,445	106%	92%	2.2	2.1	2.7
	南山・愛知・中京・名城	63,425	66,115	73,450	104%	111%	17,777	17,785	17,177	100%	97%	3.6	3.7	4.3
	西南学院・福岡	43,503	47,493	48,186	109%	101%	13,372	12,848	11,805	96%	92%	3.3	3.7	4.1

③センター方式

大学グループ		志願者数（A）					合格者数（B）					倍率（A／B）		
		15年度	16年度	17年度	16/15	17/16	15年度	16年度	17年度	16/15	17/16	15年度	16年度	17年度
535大学　計		970,759	994,601	1,061,555	102%	107%	359,178	358,313	358,115	100%	100%	2.7	2.8	3.0
主な大学グループ	早慶上理	33,875	34,255	33,646	101%	98%	9,893	9,890	9,729	100%	98%	3.4	3.5	3.5
	MARCH	131,286	131,097	138,204	100%	105%	32,537	33,953	32,955	104%	97%	4.0	3.9	4.2
	日東駒専	95,848	102,684	116,079	107%	113%	32,202	33,809	34,521	105%	102%	3.0	3.0	3.4
	成成明國武	37,379	37,271	40,764	100%	109%	11,832	11,796	11,511	100%	98%	3.2	3.2	3.5
	首都圏理系10大学	79,641	84,182	87,577	106%	104%	24,269	23,399	28,692	96%	123%	3.3	3.6	3.1
	首都圏女子13大学	25,188	26,106	27,926	104%	107%	11,821	11,128	10,575	94%	95%	2.1	2.3	2.6
	関関同立	80,250	79,650	83,818	99%	105%	28,661	28,375	26,084	99%	92%	2.8	2.8	3.2
	産近甲龍	49,229	50,918	55,371	103%	109%	15,631	16,558	18,028	106%	109%	3.1	3.1	3.1
	北星学園・北海学園	3,443	3,265	3,059	95%	94%	2,061	2,019	1,917	98%	95%	1.7	1.6	1.6
	東北学院	3,283	3,756	3,834	114%	102%	1,723	1,651	1,578	96%	96%	1.9	2.3	2.4
	南山・愛知・中京・名城	42,723	43,129	47,151	101%	109%	19,606	17,907	17,786	91%	99%	2.2	2.4	2.7
	西南学院・福岡	19,814	21,970	22,440	111%	102%	6,956	7,193	7,463	103%	104%	2.8	3.1	3.0

©Kawaijuku Educational Institution.

資料2　立命館大学の志願者・合格者・入学者数の推移

学部名		2013年（平成25）年度	2014年（平成26）年度	2015年（平成27）年度	2016年（平成28）年度	2017年（平成29）年度
法学部	志願者	7,058	6,927	7,811	8,326	7,686
	合格者	3,160	3,625	3,512	3,357	2,890
	入学者（A）	815	1,014	903	832	750
	入学定員（B）	790	790	790	790	790
	A/B	1.03	1.28	1.14	1.05	0.95
経済学部	志願者	7,732	7,827	9,148	8,807	9,803
	合格者	3,572	3,850	3,827	3,854	3,608
	入学者（A）	752	855	752	847	873
	入学定員（B）	735	735	735	735	795
	A/B	1.02	1.16	1.02	1.15	1.10
経営学部	志願者	7,103	8,666	10,655	9,660	12,003
	合格者	2,569	3,007	2,886	2,887	2,562
	入学者（A）	815	873	834	854	859
	入学定員（B）	760	760	760	760	825
	A/B	1.07	1.15	1.10	1.12	1.04
産業社会学部	志願者	9,818	10,646	9,440	11,364	12,546
	合格者	2,708	2,857	2,904	2,814	2,675
	入学者（A）	972	969	946	943	962
	入学定員（B）	900	900	900	900	900
	A/B	1.08	1.08	1.05	1.05	1.07
文学部	志願者	11,253	11,836	12,167	11,424	11,105
	合格者	3,737	4,393	4,734	4,074	3,161
	入学者（A）	1,156	1,172	1,217	1,017	970
	入学定員（B）	1,105	1,105	1,105	905	980
	A/B	1.05	1.06	1.10	1.12	0.99
理工学部	志願者	17,758	19,160	17,638	18,381	18,887
	合格者	6,292	7,037	7,232	7,849	6,641
	入学者（A）	880	936	945	1,029	924
	入学定員（B）	872	872	872	872	959
	A/B	1.01	1.07	1.08	1.18	0.96
国際関係学部	志願者	2,615	2,867	2,715	3,381	2,952
	合格者	918	945	981	990	989
	入学者（A）	349	295	335	318	339
	入学定員（B）	305	305	305	305	335
	A/B	1.14	0.97	1.10	1.04	1.01
政策科学部	志願者	3,611	3,600	3,691	4,786	3,795
	合格者	1,306	1,296	1,296	1,309	1,123
	入学者（A）	398	377	407	392	393
	入学定員（B）	360	360	360	360	410
	A/B	1.11	1.05	1.13	1.09	0.96
情報理工学部	志願者	5,359	5,308	5,201	5,049	4,981
	合格者	1,916	1,951	2,009	2,031	1,944
	入学者（A）	446	458	455	477	513
	入学定員（B）	440	440	440	440	475
	A/B	1.01	1.04	1.03	1.08	1.08
映像学部	志願者	1,309	1,459	1,611	1,814	1,697
	合格者	380	419	397	351	372
	入学者（A）	166	164	176	151	160
	入学定員（B）	150	150	150	150	160
	A/B	1.11	1.09	1.17	1.01	1.00
薬学部	志願者	2,430	2,191	2,151	2,268	2,316
	合格者	581	653	880	971	1,010
	入学者（A）	108	99	149	163	197
	入学定員（B）	100	100	160	160	160
	A/B	1.08	0.99	0.93	1.02	1.23
生命科学部	志願者	7,669	7,243	6,701	6,035	6,415
	合格者	2,272	2,497	2,485	2,776	2,702
	入学者（A）	299	311	272	296	340
	入学定員（B）	280	280	280	280	325
	A/B	1.07	1.11	0.97	1.06	1.05
スポーツ健康科学部	志願者	2,607	2,568	2,561	2,541	2,495
	合格者	663	710	637	629	617
	入学者（A）	224	236	237	246	241
	入学定員（B）	220	220	220	220	235
	A/B	1.02	1.07	1.08	1.12	1.03
総合心理学部	志願者				5,048	3,606
	合格者				1,035	817
	入学者（A）				318	300
	入学定員（B）				280	280
	A/B				1.14	1.07
大学合計	志願者	86,322	90,298	91,490	98,884	100,287
	合格者	30,074	33,240	33,780	34,927	31,111
	入学者（A）	7,380	7,759	7,628	7,883	7,821
	入学定員（B）	7,017	7,017	7,077	7,157	7,629
	A/B	1.05	1.11	1.08	1.10	1.03

＊ 5月1日を基準日とするため、以下の入学者数比率には2017年度の9月入学者数は含まれていない。
・国際関係学部合計
・政策科学部合計
・大学合計

学校法人立命館 御中

資料3

食マネジメント学部　進学意向に関する
調査報告書

2017年5月

合同会社　オンサイドマーケティング

Copyright © 2017 Onside Marketing. All Rights Reserved

■調査概要

■調査目的	：	新設する食マネジメント学部に対する高校生のニーズを把握する。 ①食マネジメント学部は高校生の興味関心を得られるか。 ②高校生は、食マネジメント学部を受験・進学したいと感じるか。
■調査対象	：	マクロミルモニタ　15～18歳　男女
■調査地域	：	全国
■調査方法	：	インターネットリサーチ
■調査時期	：	【事前調査】　2017年4月24日（月）～4月25日（火） 【本調査】　2017年4月26日（水）～4月27日（木）
■有効回答数	：	【事前調査】　36,366サンプル （全国　15～18歳　男女） 【本調査】　309サンプル （2017年4月時点の新高校3年生で、大学進学希望者）
■調査実施機関	：	合同会社オンサイドマーケティング

Copyright © 2017 Onside Marketing. All Rights Reserved

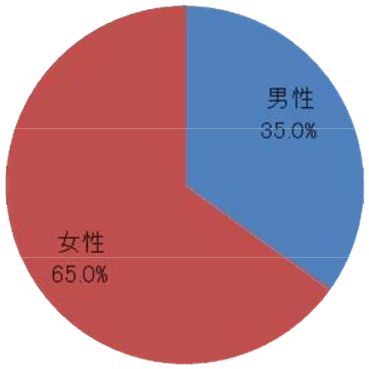
調査対象者属性

15

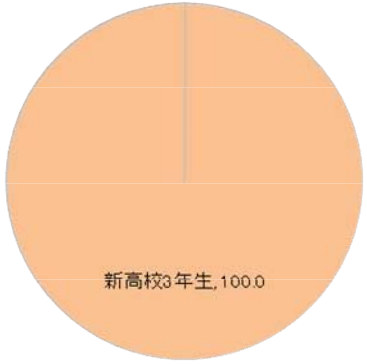
Copyright © 2017 Onside Marketing. All Rights Reserved

■本調査対象者（n=309）の属性①

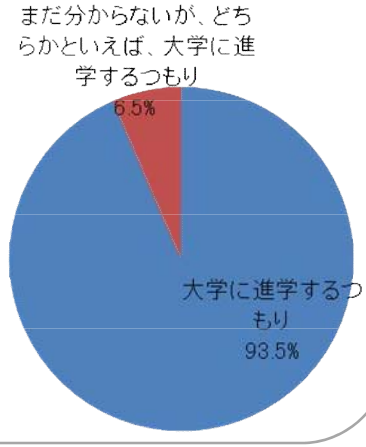
■ 性別



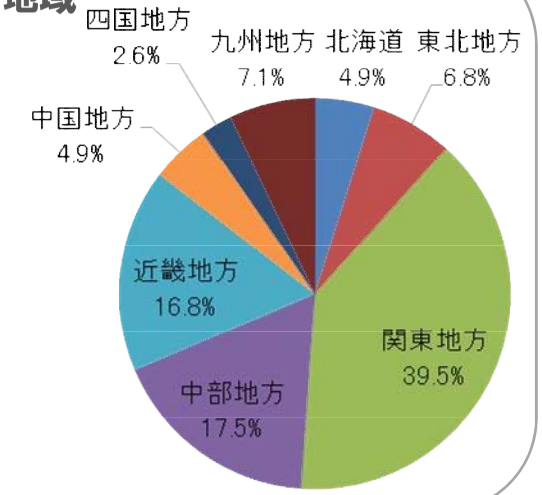
■ 職業



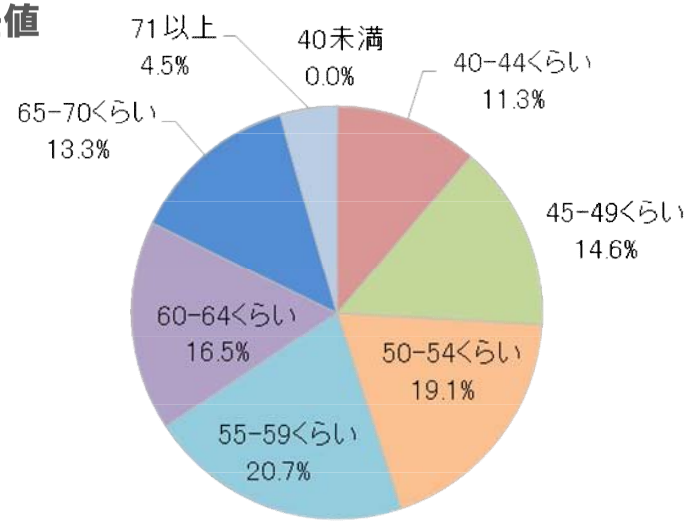
■ 進学希望



■ 地域



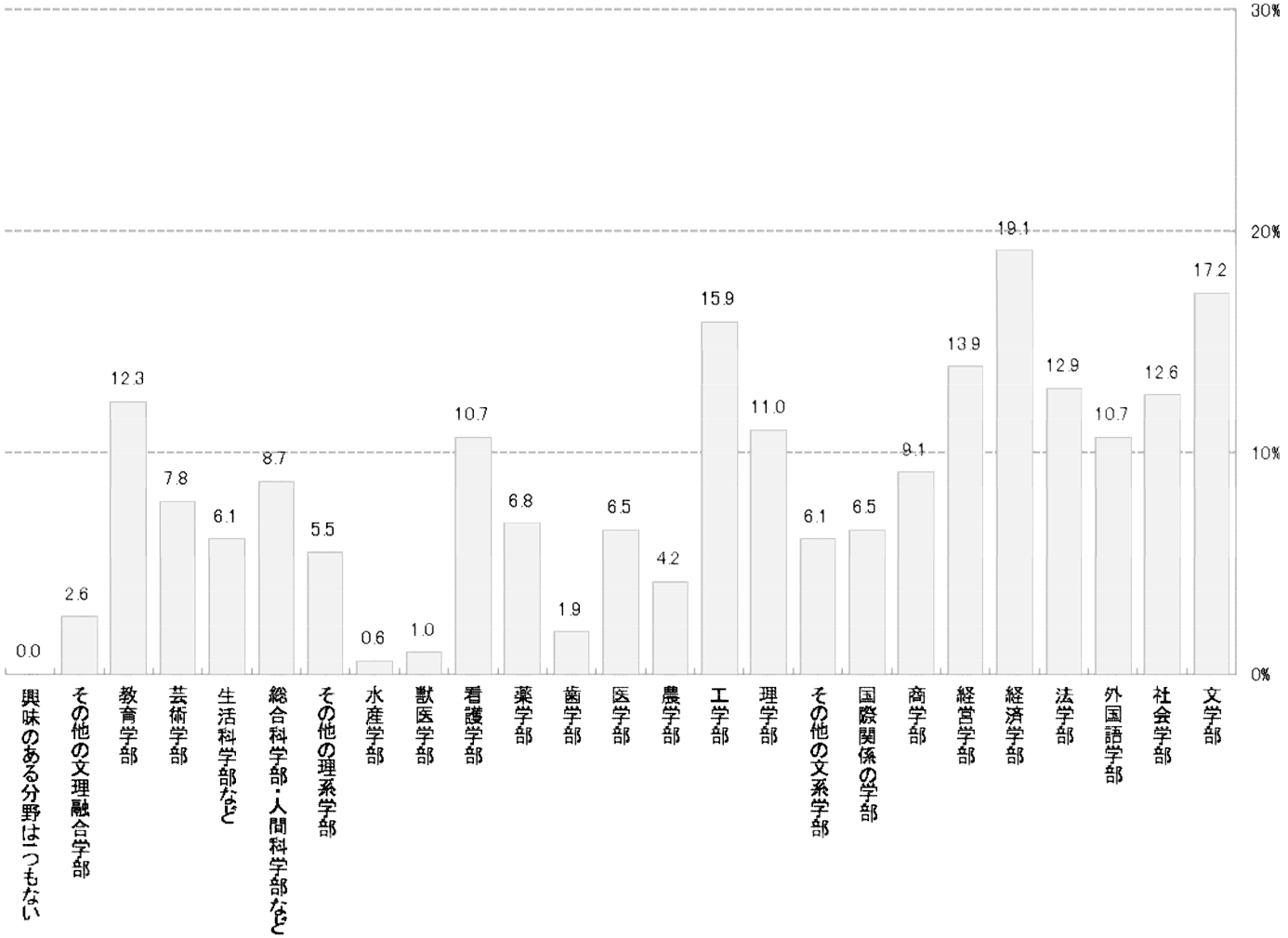
■ 高校偏差値



Copyright © 2017 Onside Marketing. All Rights Reserved

■本調査対象者（n=309）の属性②

■ 興味のある学問分野



Copyright © 2017 Onside Marketing. All Rights Reserved

調査結果【要約】

Copyright © 2017 Onside Marketing. All Rights Reserved

総括

食マネジメント学部に対する高校生のニーズについて検証すべく、外部機関である、合同会社オンサイドマーケティング（所在地：東京都三鷹市）が調査を実施した。

調査の方法は、前頁の通り2017年4月時点の新高校3年生で、大学進学希望者を対象としたインターネットリサーチによる。

調査期間について、
　事前調査：　2017年4月24日（月）～4月25日（火）
　本調査：　2017年4月26日（水）～4月27日（木）
に行った。

【高校生からの興味】
本調査回答者309名（属性は前頁）に対して本学部への興味を尋ねた結果、「興味が湧く」、「やや興味が湧く」を合わせ、**本学部への興味を41．1%が示している。**

【高校生受験意向について】
本調査回答者309名に対して本学部を受験する可能性を尋ねた結果、「候補の1つとして検討する」、「候補の1つとして検討する可能性がありそう」、「候補の1つとして検討する可能性がわずかにありそう」まで加え、**40．4%が受験意向を示している。**

【高校生進学意向について】
受験意向のある回答者125名に対して、仮に合格した場合、本学部に進学する可能性を尋ねた結果、「是非進学したい」、「進学を検討したい」、「どちらかと言えば、進学を検討したい」まで加え、**85．6%が進学意向を示している。**

Copyright © 2017 Onside Marketing. All Rights Reserved

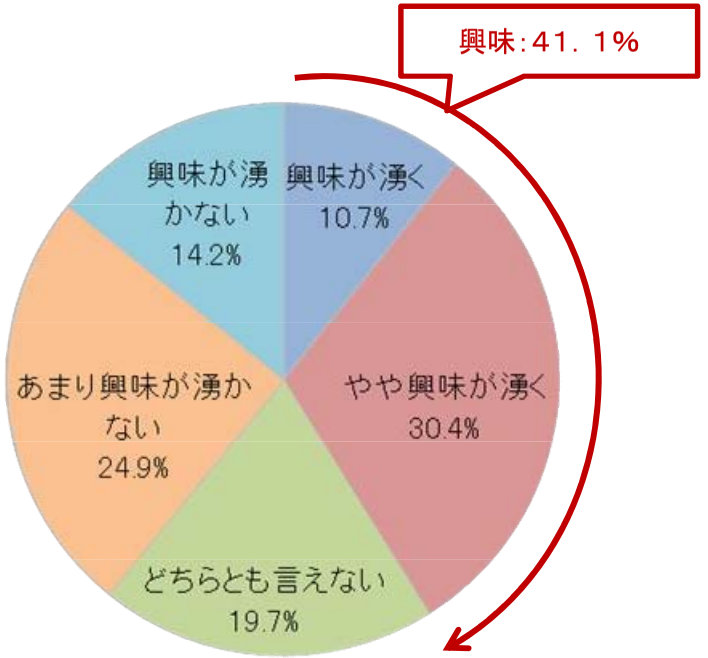
食マネジメント学部への興味

インターネットリサーチからみられる
食マネジメント学部に対する興味は、次の通りである。

■食マネジメント学部への興味

回答者309名（属性は前頁）全体で、「興味が湧く」、
「やや興味が湧く」を合わせ、**本学部への興味を
41．1%が示している。**

[Q2]あなたは、自分の進学先を考えるにあたって、この学部にどの程度興味が湧きますか。
(n=309)



Copyright © 2017 Onside Marketing. All Rights Reserved

食マネジメント学部への受験意向

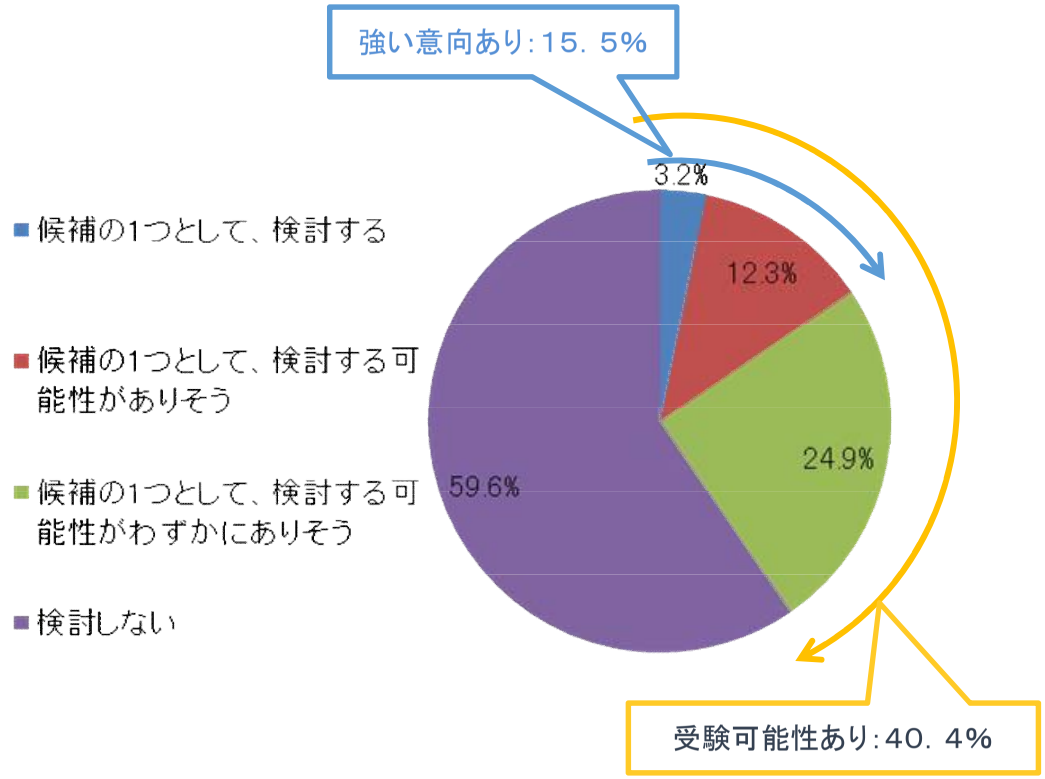
インターネットリサーチからみられる食マネジメント学部への受験意向は、次の通りである。

■食マネジメント学部への受験意向

回答者309名（属性は前頁）に対して本学部を受験する可能性を尋ねた結果、「候補の1つとして検討する」、「候補の1つとして検討する可能性がありそう」の**強い検討意向を15．5%が示した。**

また、「・・・わずかにありそう」まで**加えると、40．4%が受験の可能性を示している。**

[Q3]では、ご覧いただいた学部について、受験することを検討することはありそうですか。
(n=309)



Copyright © 2017 Onside Marketing. All Rights Reserved

食マネジメント学部への進学意向

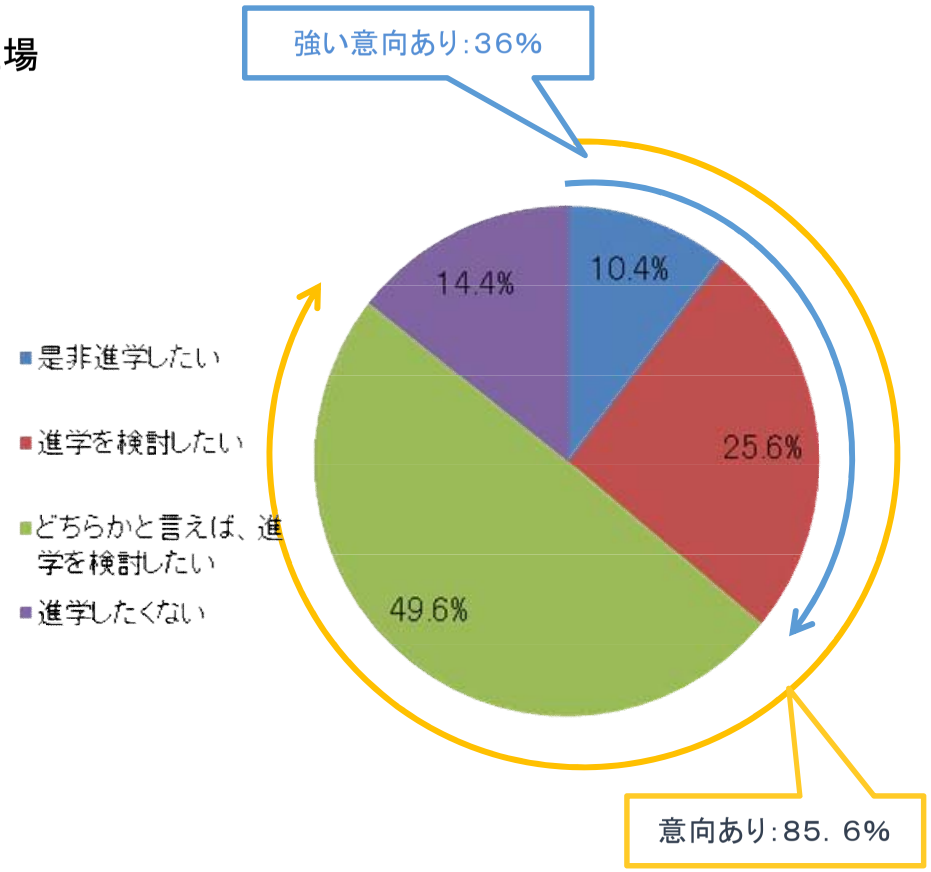
インターネットリサーチからみられる食マネジメントへの進学意向は、次の通りである。

■食マネジメント学部への進学意向

受験意向のある回答者125名に対して合格した場合、本学部に進学する可能性を尋ねた結果、
「是非進学したい」、
「進学を検討したい」、
の強い意向を36%が示した。

また「どちらかと言えば、進学を検討したい」を加えると、85．6%が進学意向を示している。

[Q4]ご覧いただいた学部にもし合格した場合、進学を検討しますか。(n=125)



Copyright © 2017 Onside Marketing. All Rights Reserved

調査結果【詳細】

Copyright © 2017 Onside Marketing. All Rights Reserved

１．食マネジメント学部への興味

＜クロス集計：　興味　x　偏差値＞

- 偏差値が60－64の層で、47．1%が興味が湧くと答えており、最も強く興味が示されている。
  食マネジメント学部の想定偏差値レンジであり、ニーズとマッチしている結果が出ている。
- 逆に最も興味が少ないのが偏差値71以上の層となっている（※n=14とサンプルが少ないことに注意）

		n=	興味が湧く	やや興味が湧く	どちらとも言えない	あまり興味が湧かない	興味が湧かない
全体		(309)	10.7	30.4	19.7	24.9	14.2
	40未満	(0)					
	40-44くらい	(35)	11.4	31.4	20.0	25.7	11.4
	45-49くらい	(45)	4.4	40.0	17.8	22.2	15.6
	50-54くらい	(59)	8.5	30.5	18.6	32.2	10.2
	55-59くらい	(64)	12.5	21.9	20.3	28.1	17.2
	60-64くらい	(51)	21.6	25.5	23.5	13.7	15.7
	65-70くらい	(41)	7.3	36.6	22.0	17.1	17.1
	71以上	(14)	35.7	7.1	50.0		7.1

Copyright © 2017 Onside Marketing.
All Rights Reserved

１．食マネジメント学部への興味

＜クロス集計：　興味　x　理系文系＞

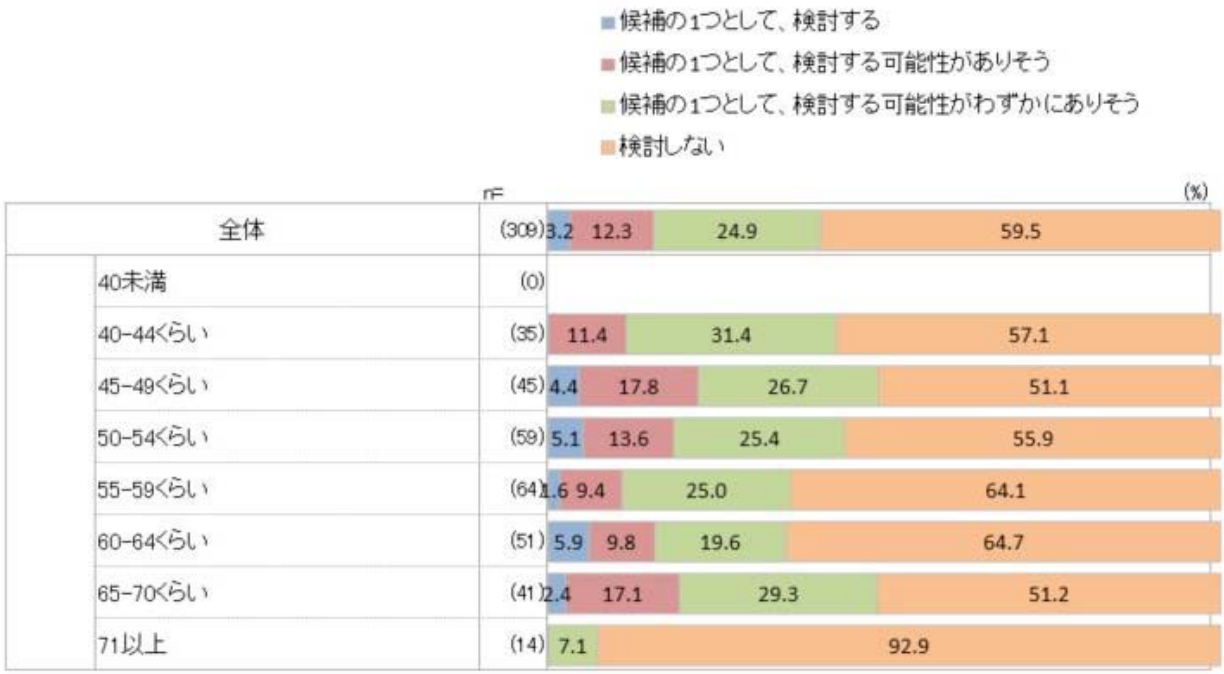
- 全体的には、文系と理系による大きな違いは見られない。
- 若干、理系のほうがTOP１回答者が多い。
- 「どちらかといえば、理系だ」回答者の、BOTTOM１回答が３％と非常に少ない。

Copyright © 2017 Onside Marketing.
All Rights Reserved

2．食マネジメント学部への受験意向

＜クロス集計： 受験意向 x 偏差値＞

- 偏差値による受験意向は、大きくは違いがないと言える。
- 偏差値40～54、65～70あたりの学生の受験意向が高い。



		n				
全体		(309)	3.2	12.3	24.9	59.5
	40未満	(0)				
	40-44くらい	(35)		11.4	31.4	57.1
	45-49くらい	(45)	4.4	17.8	26.7	51.1
	50-54くらい	(59)	5.1	13.6	25.4	55.9
	55-59くらい	(64)	1.6	9.4	25.0	64.1
	60-64くらい	(51)	5.9	9.8	19.6	64.7
	65-70くらい	(41)	2.4	17.1	29.3	51.2
	71以上	(14)		7.1		92.9

Copyright © 2017 Onside Marketing. All Rights Reserved

2．食マネジメント学部への受験意向

＜クロス集計： 受験意向 x 理系文系＞

- 文系の受験意向は、理系に比べやや下がっていると言える。
- 「どちらかといえば･･･」を含め、複合系の領域としてとらえられている。

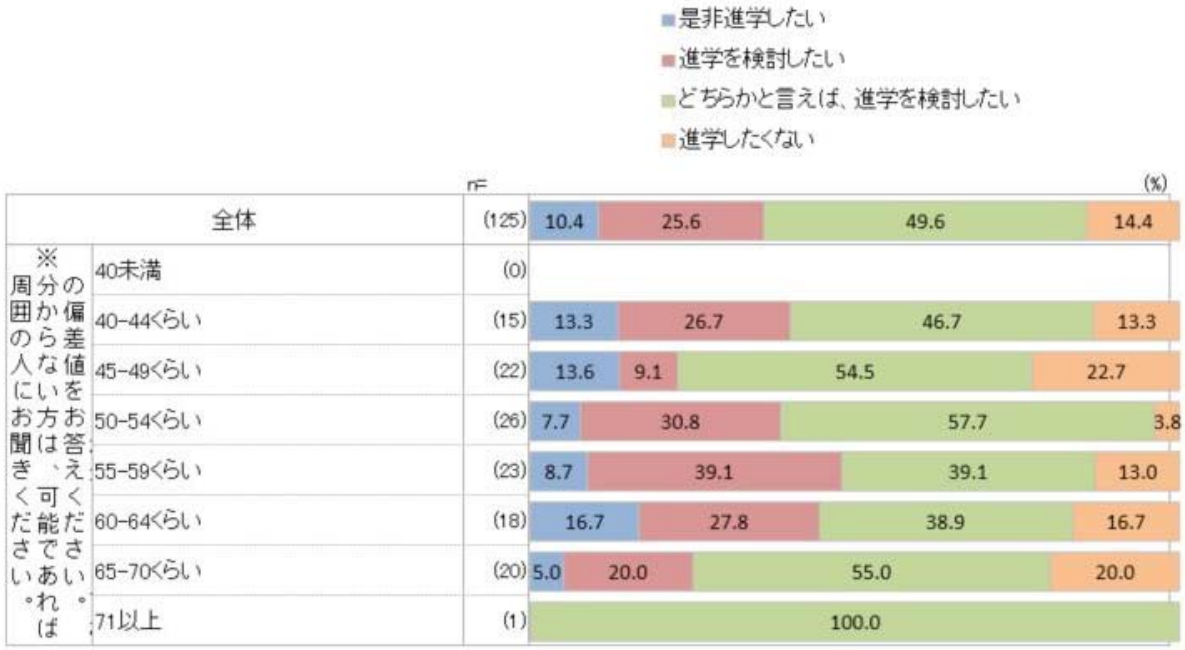
Copyright © 2017 Onside Marketing. All Rights Reserved

3．食マネジメント学部への進学意向

＜クロス集計：　進学意向　x　理系文系＞

- 仮に合格した場合、の進学意向はいずれも高い。
- TOP2で見た場合、偏差値50－64くらいの層で進学意向が強くでている傾向がみられる。

※n数が少ないため参考



		度				
全体		(125)	10.4	25.6	49.6	14.4
※分からない方は、可能であれば周囲の人にお聞きください。の偏差値をお答えください。	40未満	(0)				
	40-44くらい	(15)	13.3	26.7	46.7	13.3
	45-49くらい	(22)	13.6	9.1	54.5	22.7
	50-54くらい	(26)	7.7	30.8	57.7	3.8
	55-59くらい	(23)	8.7	39.1	39.1	13.0
	60-64くらい	(18)	16.7	27.8	38.9	16.7
	65-70くらい	(20)	5.0	20.0	55.0	20.0
	71以上	(1)			100.0	

Copyright © 2017 Onside Marketing. All Rights Reserved

3．食マネジメント学部への進学意向

＜クロス集計：　進学意向　x　理系文系＞

- 仮に合格した場合、の進学意向はいずれも高い。
- TOP2で見た場合、やはり複合系の層で進学意向が強くでている傾向がみられる。
- 一方、「理系だ」とする層ではTOP2回答が低い。

※n数が少ないため参考

		n	是非進学したい	進学を検討したい	どちらかと言えば、進学を検討したい	進学したくない
全体		(125)	10.4	25.6	49.6	14.4
Q6 あなたは、理系と文系のどちらですか。	理系だ	(42)	11.9	11.9	64.3	11.9
	どちらかといえば、理系だ	(15)	40.0		46.7	13.3
	理系と文系の複合系だ	(16)	18.8	31.3	43.8	6.3
	どちらかといえば、文系だ	(13)	15.4	23.1	53.8	7.7
	文系だ	(39)	7.7	33.3	35.9	23.1

Copyright © 2017 Onside Marketing. All Rights Reserved

４．食マネジメント学部の訴求点

＜クロス集計： 魅力に感じる点 x 興味＞

- 全体として、【A】の魅力が高い。続いて【E】、【F】となっている。この３領域は、興味が少ない層へも幅広く訴求している。
- 「興味が湧く」層に限っては、２番目に魅力が高いのが【C】。

(Q5) あなたは、食マネジメント学部のどのような点が魅力的だと思いますか。あてはまるものを全て、お選びください。

n=30以上の場合

[比率の差]
- 全体 +10 ポイント
- 全体 +5 ポイント
- 全体 -5 ポイント
- 全体 -10 ポイント

		n=	【A】フードマネジメント領域	【B】フードカルチャー領域	【C】フードテクノロジー領域	【D】食を総合的・包括的に捉える	【E】「食」を通じた、総合的・多面的な学び	【F】外国語教育とグローバルに広がる学び	【G】実社会と通じたアクティブな学び	魅力的だと思う点はない
全体		(309)	33.3	19.1	23.0	13.3	29.1	24.9	18.1	20.4
※興味が湧く…	興味が湧く	(33)	60.6	42.4	48.5	33.3	42.4	33.3	27.3	0.0
	やや興味が湧く	(94)	45.7	30.9	35.1	18.1	41.5	30.9	26.6	3.2
	どちらとも言えない	(61)	27.9	8.2	6.6	6.6	27.9	21.3	11.5	24.6
	あまり興味が湧かない	(77)	20.8	9.1	18.2	9.1	22.1	27.3	18.2	24.7
	興味が湧かない	(44)	15.9	9.1	9.1	4.5	6.8	6.8	2.3	59.1

Copyright © 2017 Onside Marketing. All Rights Reserved

４．食マネジメント学部の訴求点

＜クロス集計：　魅力に感じる点　x　理系文系＞

- 理系と文系では、訴求ポイントにばらつきがみられる。
- 理系になると人気が高いのが、【C】、【D】で、全体より比率が高い。
- 文系だと、【A】、【E】、【F】と高くでている。

(Q5) あなたは、食マネジメント学部のどのような点が魅力的だと思いますか。あてはまるものを全て、お選びください。

n=30以上の場合

[比率の差]
全体　+10 ポイント
全体　+5 ポイント
全体　-5 ポイント
全体　-10 ポイント

		n=	【A】フードマネジメント領域	【B】フードカルチャー領域	【C】フードテクノロジー領域	【D】食を総合的・包括的に捉える	【E】「食」を通じた、総合的・多面的な学び	【F】外国語教育とグローバルに広がる学び	【G】実社会と通じたアクティブな学び	魅力的だと思う点はない
全体		(309)	33.3	19.1	23.0	13.3	29.1	24.9	18.1	20.4
Q6 あなたは、理系と文系のどちらですか。	理系だ	(90)	28.9	13.3	28.9	7.8	28.9	22.2	17.8	16.7
	どちらかといえば、理系だ	(33)	24.2	18.2	21.2	24.2	27.3	27.3	15.2	21.2
	理系と文系の複合系だ	(30)	40.0	23.3	20.0	20.0	20.0	13.3	20.0	23.3
	どちらかといえば、文系だ	(36)	44.4	19.4	13.9	8.3	38.9	30.6	16.7	13.9
	文系だ	(120)	34.2	22.5	22.5	14.2	29.2	27.5	19.2	24.2

Copyright © 2017 Onside Marketing. All Rights Reserved

付録

Copyright © 2017 Onside Marketing. All Rights Reserved

■調査票　<事前調査>

あなたご自身に関するアンケート

下記アンケートにご協力お願いいたします。

当アンケートの回答者の皆様へお願い

マクロミルモニタの皆様にはモニタ規約にて「調査についての守秘義務」の徹底をお願いしています。
当アンケートの内容および当アンケートで知り得た情報については、決して第三者に口外しないよう(掲示板やホームページへの書き込みを含む)、ご協力お願いします。

Q1 現在のあなたにあてはまるものをお選びください。
【必須入力】

1. 中学生
2. 新高校1年生
3. 新高校2年生
4. 新高校3年生
5. 高専生
6. 大学生・短大生・専門大生
7. 社会人
8. 上記以外

Q2 あなたが通っている高校の偏差値をお答えください。
※分からない方は、可能であれば周囲の人にお聞きください。
※だいたいで構いません。
【必須入力】

1. 40未満
2. 40-44くらい
3. 45-49くらい
4. 50-54くらい
5. 55-59くらい
6. 60-64くらい
7. 65-70くらい
8. 71以上

Q3 あなたは、高校を卒業後のことをどのように考えていますか。
もっともあてはまるものを1つお選びください。
【必須入力】

1. 大学に進学するつもり
2. まだ分からないが、どちらかといえば、大学に進学するつもり
3. まだ分からないが、どちらかといえば、大学には進学せず働くつもり
4. 大学には進学せず、働くつもり
5. その他

Q4 あなたが興味がある・ありそうな分野を全て、お選びください。
※自分が文系・理系のどちらかを気にせず、名前を見て「興味がある」と思えば、選択してください。
【必須入力】

【文系の学部】

1. 文学部
2. 社会学部
3. 外国語学部
4. 法学部
5. 経済学部
6. 経営学部
7. 商学部
8. 国際関係の学部
9. その他の文系学部

【理系の学部】

10. 理学部
11. 工学部
12. 農学部
13. 医学部
14. 歯学部
15. 薬学部
16. 看護学部
17. 獣医学部
18. 水産学部
19. その他の理系学部

【文理を問わない学部】

20. 総合科学部・人間科学部など
21. 生活科学部など
22. 芸術学部
23. 教育学部
24. その他の文理融合学部

25. 興味のある分野は1つもない

Copyright © 2017 Onside Marketing. All Rights Reserved

■調査票　<本調査>

学部に関するアンケート

下記アンケートにご協力お願いいたします。

当アンケートの回答者の皆様へお願い

マクロミルモニタの皆様にはモニタ規約にて「調査についての守秘義務」の徹底をお願いしています。

当アンケートの内容および当アンケートで知り得た情報については、決して第三者に口外しないよう(掲示板やホームページへの書き込みを含む)、ご協力お願いします。

【調査内容についての守秘義務遵守のお願い】

当アンケートの内容および当アンケートで知り得た情報は、
決して第三者に開示または漏えいしないようお願いいたします。
また、調査で提示された内容や画像等を、掲示板やホームページへ
書き込む行為も固く禁止しております。

くれぐれもそのような行為の無いよう、改めてお願い申し上げます。

Q1 上記の内容にご同意いただき、本アンケートにご参加いただけますか。
【必須入力】
- 1. 同意する
- 2. 同意しない

◆まずは、下記リーフレットをご一読ください。
◆一通りご覧いただいた「食マネジメント学部」について、お伺いいたします。

▼ 以下のボタンをクリックすると別画面で画像表示されます。 ▼
必ず上から順にクリックして、別画面に表示される画像全体をよくご覧ください。
※転載、複製は固く禁じます。

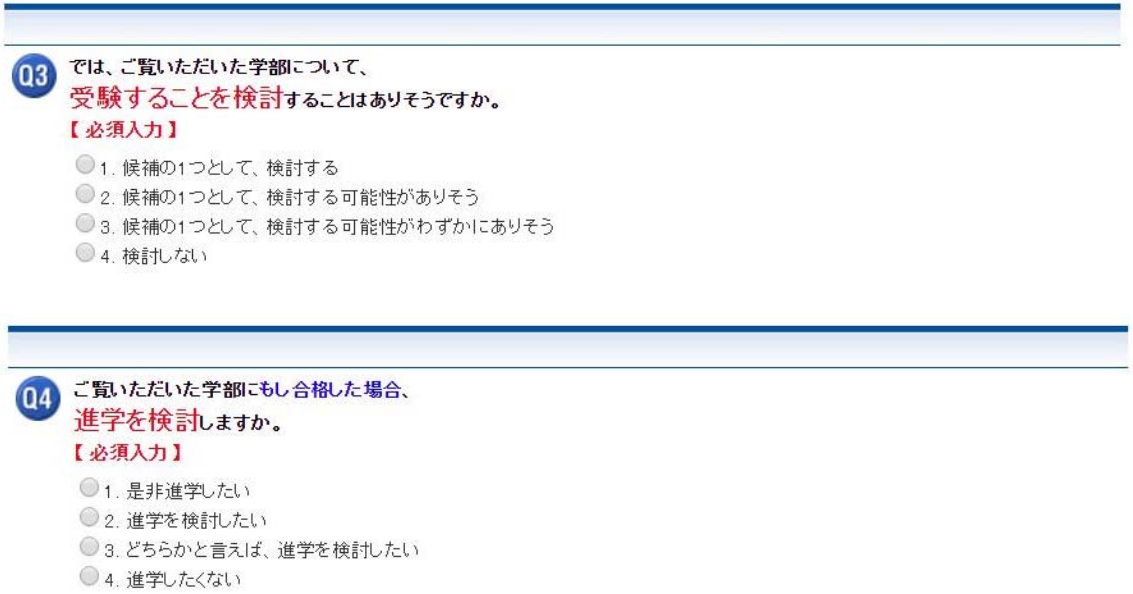
[1ページ目を表示]
[2ページ目を表示]

Q2 あなたは、自分の進学先を考えるにあたって、
この学部にどの程度興味が湧きますか。
※実際に進学したいと思うかどうかは問わず、まずは興味があるかを考えてください。
【必須入力】

1	2	3	4	5
興味が湧く	やや興味が湧く	どちらとも言えない	あまり興味が湧かない	興味が湧かない
○	○	○	○	○

Copyright © 2017 Onside Marketing. All Rights Reserved

■調査票　<本調査>



Q3 では、ご覧いただいた学部について、
受験することを検討することはありそうですか。
【必須入力】

1. 候補の1つとして、検討する
2. 候補の1つとして、検討する可能性がありそう
3. 候補の1つとして、検討する可能性がわずかにありそう
4. 検討しない

Q4 ご覧いただいた学部にもし合格した場合、
進学を検討しますか。
【必須入力】

1. 是非進学したい
2. 進学を検討したい
3. どちらかと言えば、進学を検討したい
4. 進学したくない

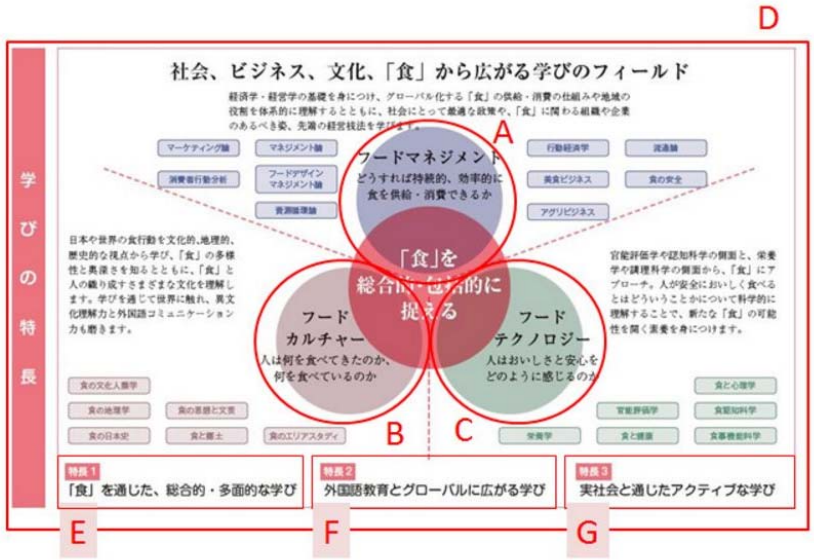
35

Copyright © 2017 Onside Marketing. All Rights Reserved

■調査票　<本調査>

◆以下は、リーフレットの一部を抜粋した画像です。

▼ 以下の画像をクリックすると別画面で拡大表示されます。 ▼
必ずクリックして、別画面に表示される画像全体をよくご覧ください。



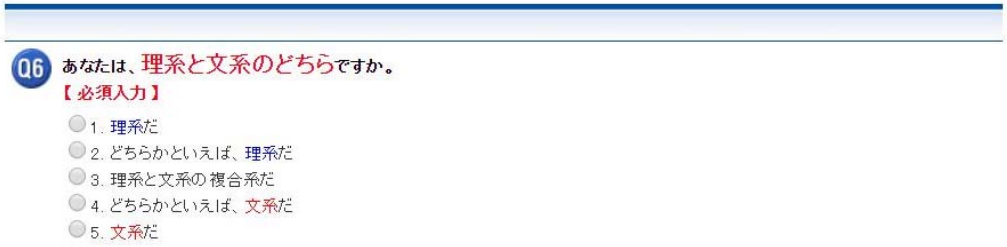
Q5 あなたは、食マネジメント学部の**どのような点が魅力的**だと思いますか。
あてはまるものを**全て**、お選びください。
【必須入力】

- ☐ 1.【A】フードマネジメント領域
- ☐ 2.【B】フードカルチャー領域
- ☐ 3.【C】フードテクノロジー領域
- ☐ 4.【D】食を総合的・包括的に捉える
- ☐ 5.【E】「食」を通じた、総合的・多面的な学び
- ☐ 6.【F】外国語教育とグローバルに広がる学び
- ☐ 7.【G】実社会と通じたアクティブな学び

- ☐ 8. 魅力的だと思う点はない

Copyright © 2017 Onside Marketing. All Rights Reserved

■調査票　<本調査>


Q6 あなたは、理系と文系のどちらですか。
【必須入力】
1. 理系だ
2. どちらかといえば、理系だ
3. 理系と文系の複合系だ
4. どちらかといえば、文系だ
5. 文系だ

37

Copyright © 2017 Onside Marketing. All Rights Reserved

資料4

提携校および附属校アンケート調査結果

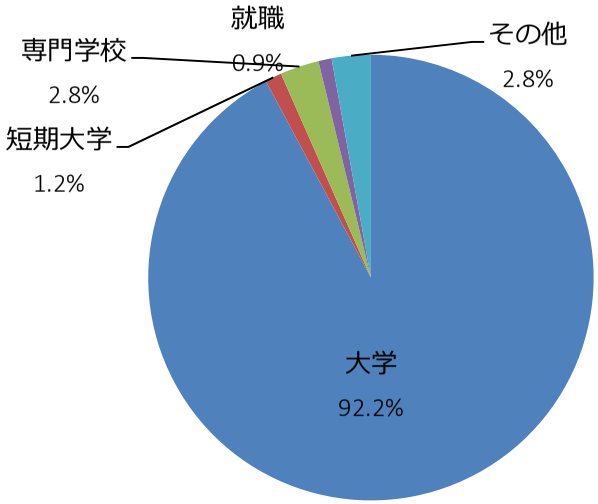
食マネジメント学部設置委員会事務局

提携校結果

アンケート概要

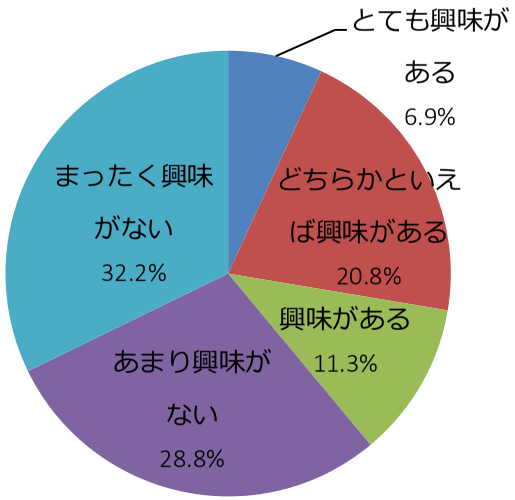
アンケート実施期間：2017年4月24日から5月12日
アンケート対象校：平安女学院高等学校、育英西高等学校、
初芝立命館高等学校、初芝橋本高等学校
アンケート対象生徒：各提携校在籍・高校3年生
アンケート方法：ペーパー配布の上、記入して返送
回答者数（有効回答数）：743名

問1：あなたの高校卒業後の希望進路についてお答えください。



	人数	比率
大学	684	92.2%
短期大学	9	1.2%
専門学校	21	2.8%
就職	7	0.9%
その他	21	2.8%
総計	742	100.0%

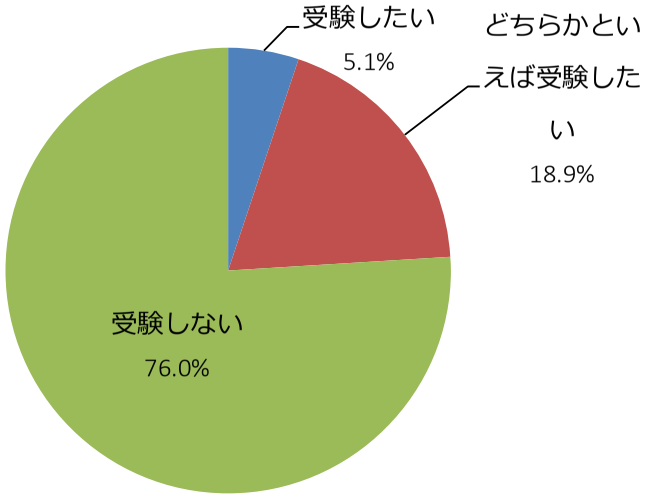
問2：あなたは立命館大学が設置構想中の「食マネジメント学部」に興味がありますか。



	人数	比率
とても興味がある	51	6.9%
どちらかといえば興味がある	154	20.8%
興味がある	84	11.3%
あまり興味がない	214	28.8%
まったく興味がない	239	32.2%
総計	742	100.0%

何らかの興味がある層は、39.0%存在する。

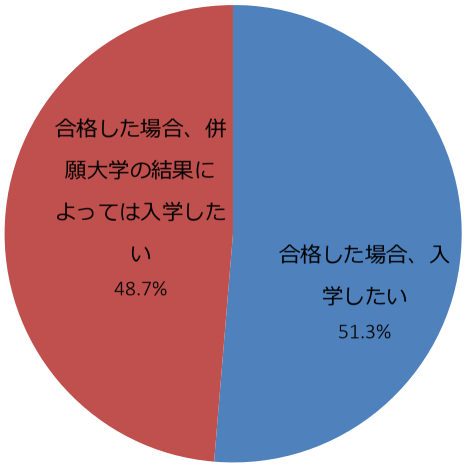
問3：あなたは立命館大学が設置構想中の「食マネジメント学部」を受験したいと思いますか。



	人数	比率
受験したい	38	5.1%
どちらかといえば受験したい	140	18.9%
受験しない	563	76.0%
総計	741	100.0%

積極的な受験希望は5.1%、消極的な受験層は18.9%であり、24.0%がなんらかの受験希望を持っている。

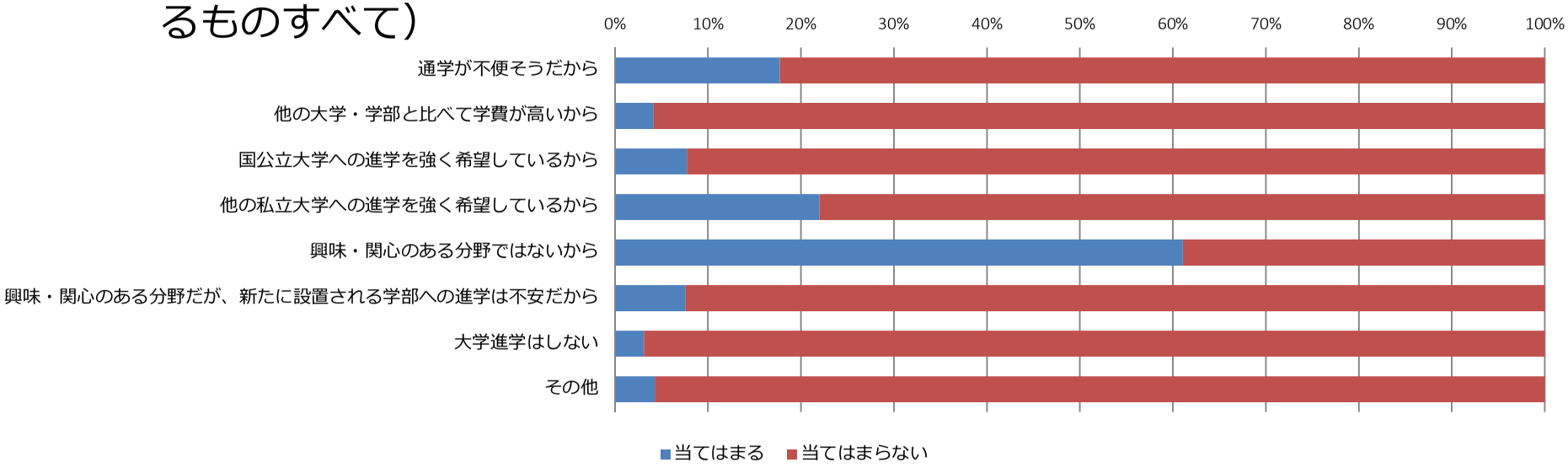
問4：あなたは立命館大学が設置構想中の「食マネジメント学部」に合格した場合、入学したいと思いますか。



	人数	比率
合格した場合、入学したい	137	51.3%
合格した場合、併願大学の結果によっては入学したい	130	48.7%
総計	267	100.0%

受験希望者数よりも回答者数が多くなっているが、積極的に入学を希望している第一希望者層が137名（51.3%、全体比18.5%）存在している。

問3：あなたが、立命館大学が設置構想中の「食マネジメント学部」を「受験しない」、または「合格した場合、併願大学の結果によっては入学したい」と回答された理由をお答えください。（あてはまるものすべて）



受験しない、第一志望ではない、という理由については、分野に興味がない、というのがもっとも多い（61.0%）理由である。

アンケート結論

大学へほとんどが進学を希望している（92.2%）提携校へのアンケート結果から見れば、**食マネジメント学部への興味は高く（39.0%）**、**受験希望層も24.0%**（受験したい5.1%、どちらかといえば受験したい18.9%）存在する。また進学に関して**合格した場合の入学希望は137名（全体比18.5%）**存在する。その上で進学を希望しない層の理由を見れば、その多くは食マネジメントという分野に興味のない層（61.0%）である。

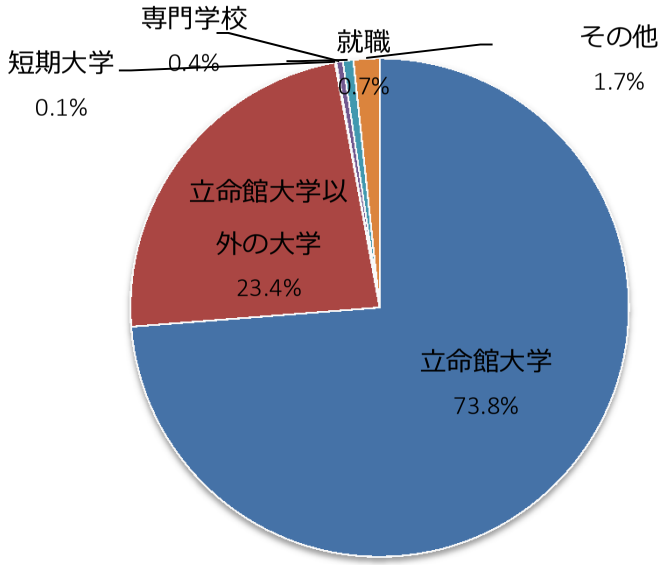
上記の事から、提携校生についても、充分な学生確保が可能であると言える。併せて、立命館大学への進学希望者の多い高等学校ではある点を差し引けば、社会的な志願状況を一定反映していると考えられ、分野への何らかの興味を抱く生徒にとって魅力ある学部であると結論付けられる。

附属校結果

アンケート概要

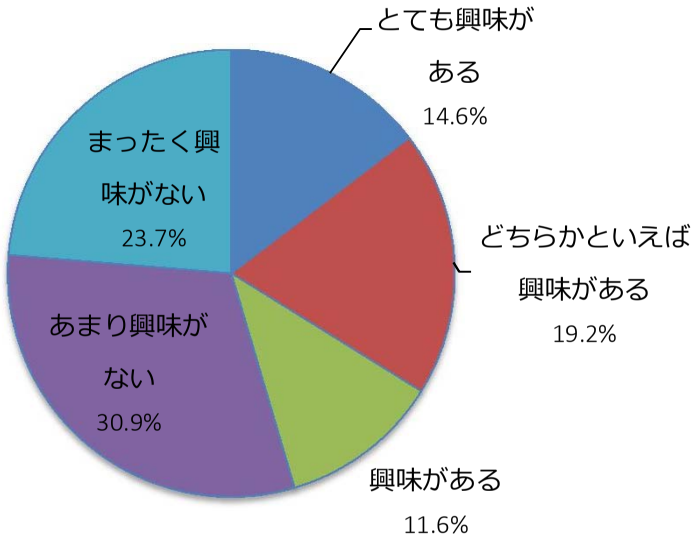
アンケート実施期間：2017年4月24日から5月12日
アンケート対象校：立命館高等学校、立命館宇治高等学校、
立命館慶祥高等学校、立命館守山高等学校
アンケート対象生徒：各附属校在籍・高校3年生
アンケート方法：ペーパー配布の上、記入して返送
回答者数（有効回答数）：1183名

問1：あなたの高校卒業後の希望進路についてお答えください。



	人数	比率
立命館大学	872	73.8%
立命館大学以外の大学	276	23.4%
短期大学	1	0.1%
専門学校	5	0.4%
就職	8	0.7%
その他	20	1.7%
総計	1182	100.0%

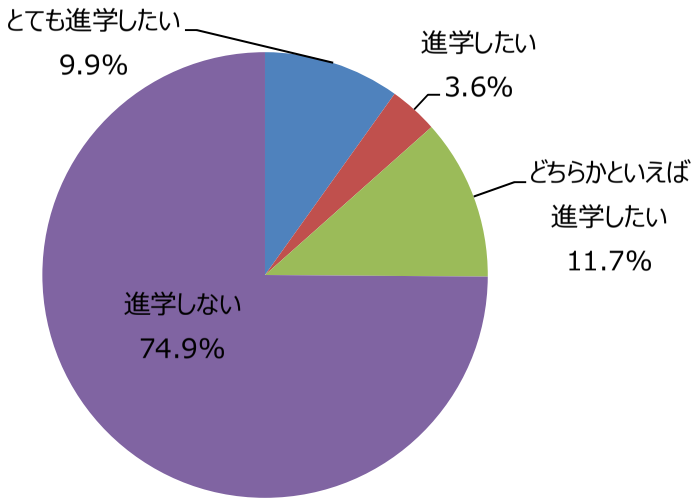
問2：あなたは立命館大学が設置構想中の「食マネジメント学部」に興味がありますか。



	人数	比率
とても興味がある	173	14.6%
どちらかといえば興味がある	227	19.2%
興味がある	137	11.6%
あまり興味がない	365	30.9%
まったく興味がない	280	23.7%
総計	1182	100.0%

何らかの興味がある層は、45.4%存在する。

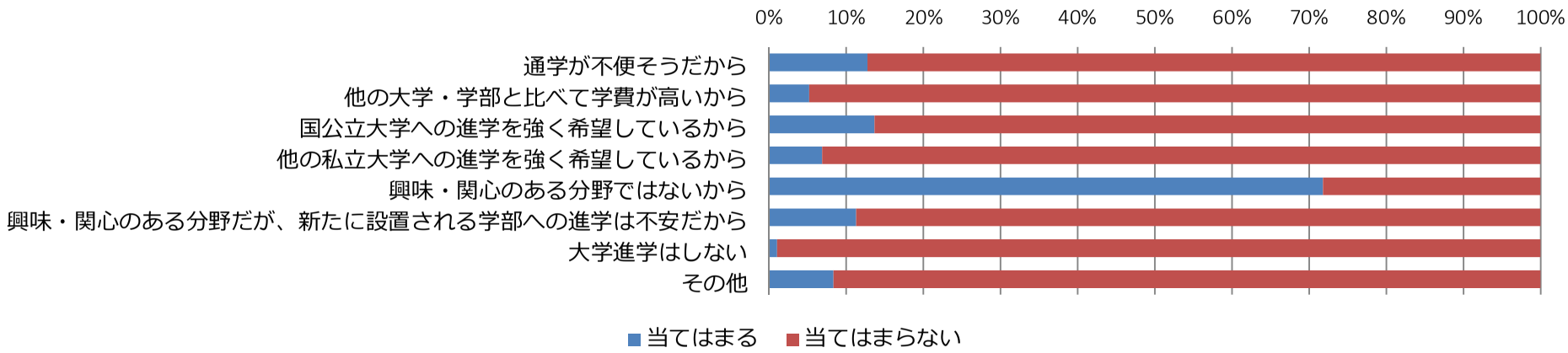
問3：あなたは立命館大学が設置構想中の「食マネジメント学部」に進学したいと思いますか。



	人数	比率
とても進学したい	117	9.9%
進学したい	42	3.6%
どちらかといえば進学したい	138	11.7%
進学しない	886	74.9%
総計	1183	100.0%

進学希望層（とても進学したい、進学したい）で、13.5%、興味を持つ層（どちらかといえば）まで含めば25.2%が進学への興味を有している。

問3：あなたが、立命館大学が設置構想中の「食マネジメント学部」に「進学しない」と回答された理由をお答えください。（あてはまるものすべて）



進学しない、という理由については、分野に興味がない、というのがほとんど（71.7%）である。

アンケート結論

立命館大学へほとんどが進学する（73.8%）附属校へのアンケート結果から見れば、**食マネジメント学部への興味は高く（45.4%）**、**進学希望層も13.5%**存在する。また進学に関して「どちらかといえば」という消極的希望を持つ層も含めれば**25.2%が食マネジメント学部への進学を意識**している。その上で進学を希望しない層の理由を見れば、そのほとんどは食マネジメントという分野に興味のない層（71.7%）である。

上記の事から、附属校生について、充分な学生確保が可能であると言える。

立命館大学「食科学部」
設置に係るニーズアセスメント調査
（高校生アンケート調査）
報告書

2016 年 9 月 13 日

株式会社　高等教育総合研究所

目　　次

学生確保の見通し調査（高校生アンケート調査）結果のポイント 3
学生確保の見通し調査（高校生アンケート調査）結果のポイント 4

資料①　全国の高校 128 校から回答を得た高校生アンケート調査　結果 １１
1. 全国の高校 128 校から回答を得た高校生アンケート調査　概要 １２
2. 全国の高校 128 校から回答を得た高校生アンケート調査　全質問項目の集計結果 １４
3. 全国の高校 128 校から回答を得た高校生アンケート調査　結果のまとめ １９

資料②　立命館大学の附属高校 4 校から回答を得た高校生アンケート調査　結果 ２５
1. 立命館大学の附属高校 4 校から回答を得た高校生アンケート調査　概要 ２６
2. 立命館大学の附属高校 4 校から回答を得た高校生アンケート調査　全質問項目の集計結果 ２７
3. 立命館大学の附属高校 4 校から回答を得た高校生アンケート調査　結果のまとめ ３１

別添①　全国の高校 128 校にて実施した高校生アンケート調査　用紙 ３７
別添②　立命館大学の附属高校 4 校にて実施した高校生アンケート調査　用紙 ４３

学生確保の見通し調査
(高校生アンケート調査)
結果のポイント

学生確保の見通し調査（高校生アンケート調査）結果のポイント

※高校生アンケート調査は全国の高校 128 校、立命館大学の附属高校 4 校の計 132 校で実施。20,865 人から回答を得た。
※本文中、アンケート調査結果の出展元として、①は全国の高校 128 校、②は立命館大学の附属高校 4 校のアンケート調査結果を表す。（①の調査結果詳細は 11～24 ページ、②の調査結果詳細は 25～35 ページを参照）
※「構成比」（%）は、小数点第二位を四捨五入した。

◆ 回答を得た高校生の基本情報（①②「問 1」～「問 5」結果より）

今回、132 の高校（①全国の高校 128 校、②立命館大学の附属高校 4 校）を対象に実施した「設置構想についての高校生アンケート調査」において、①②の「問 1」結果の合計として **1-1** で示す通り、**高校生が居住する都道府県として最も回答数が多かったのは「大阪府」で全回答者 20,865 人のうち 4,156 人（全体の 19.9%）**であった。他に「滋賀県」2,231 人（同 10.7%）、「京都府」1,850 人（同 8.9%）、「兵庫県」1,438 人（同 6.9%）、「奈良県・和歌山県」503 人（同 2.4%）で、**近畿地方の居住者の合計は 10,178 人（同 48.8%）**であった。また、「北海道・東北」1,911 人（同 9.2%）、「関東」850 人（同 4.1%）、「北陸・甲信越」1,099 人（同 5.3%）、「東海」2,791 人（同 13.4%）、「中国・四国」1,443 人（同 6.9%）、「九州・沖縄」2,520 人（同 12.1%）で、**近畿地方以外の居住者の合計は 10,614 人（同 50.9%）**であった。このように、近畿地方をはじめ、全国の幅広い地域の高校生から回答を得た。

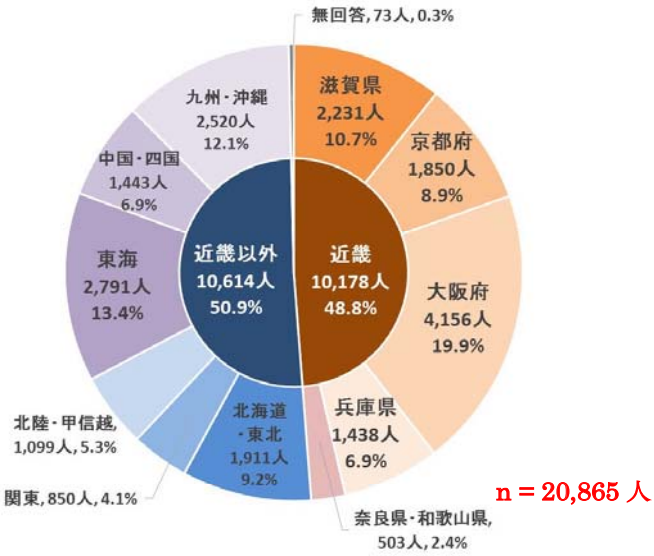
①②の「問 2」結果の合計として **1-2** で示す通り、性別は**「男性」10,441 人（同 50.0%）、「女性」10,280 人（同 49.3%）**であった。

①②の「問 3」結果の合計として **1-3** で示す通り、高校生が興味のある学問分野として最も回答数が多かったのは、「経済・経営・商学」4,181 人（同 20.0%）であった（複数回答の結果）。**高校生の 2 割が「経済・経営・商学」に興味を持っている**ことが分かった。

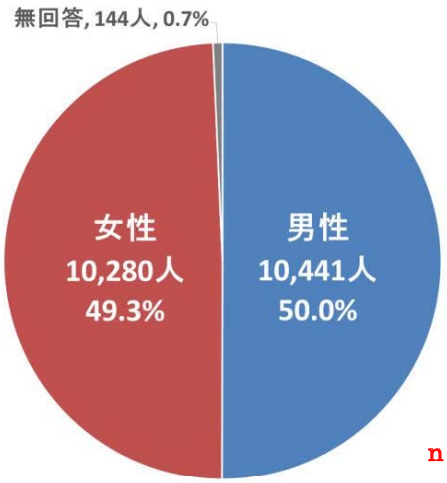
①②の「問 4」結果の合計として **1-4** で示す通り、高校卒業後の希望進路としては、**最も回答数が多かったのは「大学」19,646 人（同 94.2%）**であった（複数回答の結果）。

①②の「問 5」結果の合計として **1-5** で示す通り、将来の希望進路（就職先）については、回答数が多い順に「一般企業」7,357 人（同 35.3%）、「資格を活かす職業」6,033 人（同 28.9%）、「まだ決めていない」5,217 人（同 25.0%）であった（いずれも複数回答の結果）。

1-1 回答を得た高校生の居住地（①②「問 1」結果より）

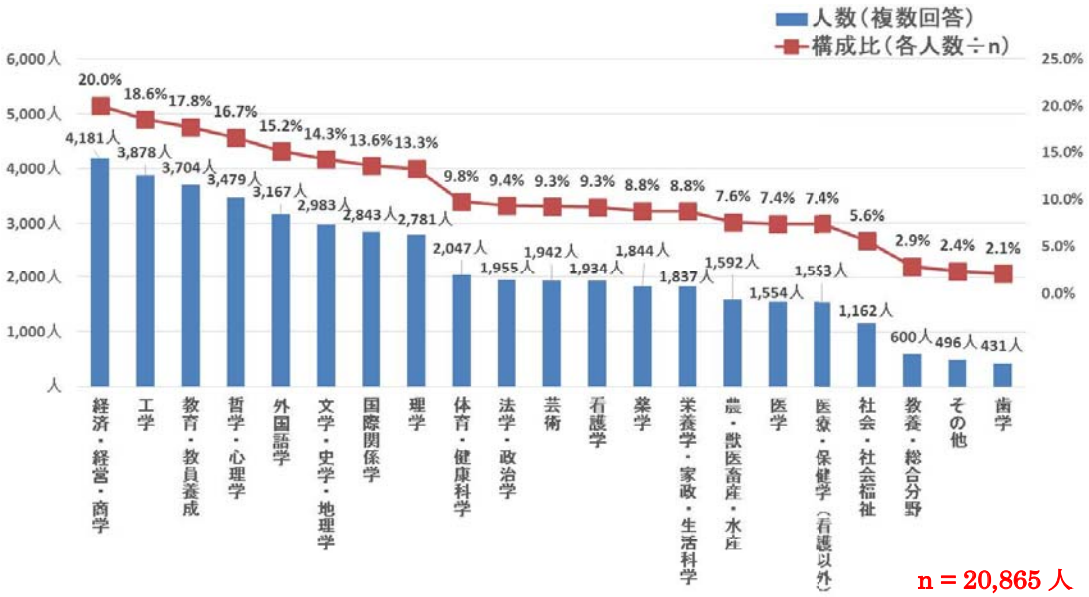


1-2　回答を得た高校生の性別（①②「問 2」結果より）



n = 20,865 人

1-3　回答を得た高校生の興味のある学問分野（①②「問 3」結果より／左より回答数の多い順）

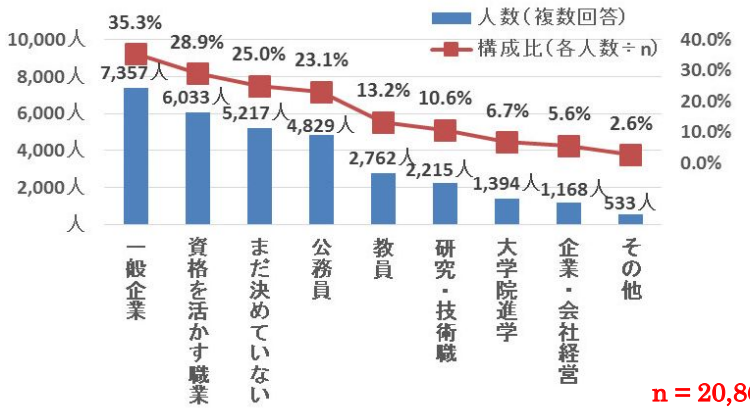


n = 20,865 人

1-4　回答を得た高校生の高校卒業後の希望進路（①②「問 4」結果より／左より回答数の多い順）

n = 20,865 人

1-5　回答を得た高校生の将来の希望進路（①②「問 5」結果より／左より回答数の多い順）



n = 20,865 人

◆「食科学部」への興味および受験・入学・進学意欲等（①「問 6」～「問 10」・②「問 6」～「問 9」結果より）

今回、132 の高校（①全国の高校 128 校、②立命館大学の附属高校 4 校）を対象に実施した「設置構想についての高校生アンケート調査」では、立命館大学が設置を予定する「食科学部」の概要を示した上で、興味の有無、①の場合は入学意欲の有無（受験意欲を示した 1,422 人が回答対象）、②の場合は進学意欲の有無について回答を求めた。その結果、①②の「問 6」結果の合計として **2-1** で示す通り、1,750 人（全体の 8.4%）が「興味がある」、5,727 人（同 27.4%）が「少し興味がある」と回答した。合計すると **7,477 人（同 35.8%）が「食科学部」に興味を示す結果**となった。これらを男女別でみた場合、「興味がある」は「男性」700 人（「興味がある」とした 5,727 人の 40.0%）、「女性」1,035 人（同 59.1%）であった。「少し興味がある」は「男性」2,236 人（「少し興味がある」とした 5,727 人の 39.0%）、「女性」3,461 人（同 60.4%）であった。合計すると「男性」2,936 人（「興味がある」「少し興味～」の合計 7,477 人の 39.3%）、「女性」4,496 人（同 60.1%）が「食科学部」に興味を示す結果となった。

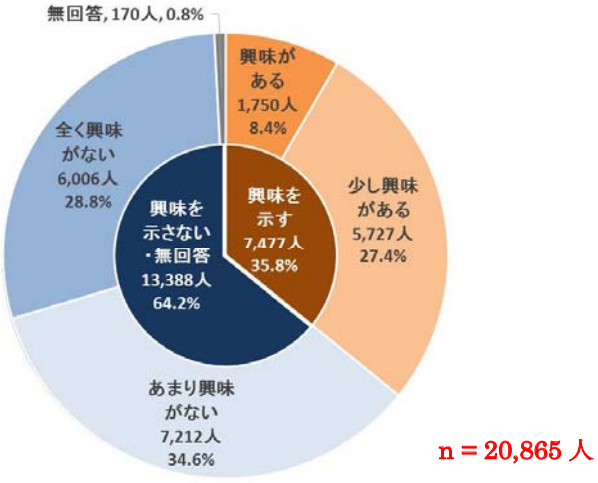
また、①の「問 7」結果として **2-2** で示す通り、全国の高校 128 校の回答者のうち **1,422 人（19,800 人の 7.2%）が「受験したい」と回答**した。男女別でみた場合、「男性」524 人（「受験したい」とした 1,422 人の 36.8%）、「女性」888 人（同 62.7%）であった。

さらに、①の「問 8」結果および②の「問 7」結果として **2-3** で示す通り、全国の高校 128 校と立命館大学の附属高校 4 校の回答者のうち、他大学の受験結果等と関係なく**「食科学部」への入学・進学の意欲を示す者は合計 733 人（「食科学部」が予定する入学定員 320 名の 2.3 倍）**いた。さらに、**「併願大学の結果によっては入学したい」とした 870 人を加えると合計 1,603 人（同 5.0 倍）**いた。これらを男女別でみた場合、①の「問 8」で「入学したい」とした 541 人は、「男性」237 人（541 人の 43.8%）、「女性」300 人（同 55.5%）であった。②の「問 7」で「進学したい」とした 192 人は、「男性」76 人（192 人の 39.6%）、「女性」115 人（同 59.9%）であった。①の「問 8」で「併願大学の～」とした 870 人は、「男性」282 人（870 人の 32.4%）、「女性」582 人（同 66.9%）であった。

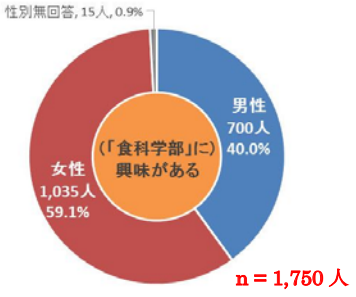
加えて、①全国の高校 128 校で受験意欲を示した 1,422 人②立命館大学の附属高校 4 校で進学意欲を

示した 192 人（①②の合計 1,614 人）に対し、「食科学部」で設定される 3 つの学びの領域のうち、興味のあるものについて回答を求めた結果、①の「問 9」および②の「問 8」結果として **2-4** で示す通り、「フードテクノロジー」が 801 人（回答対象者 1,614 人の 49.6%）、「フードマネジメント」が 785 人（同 48.6%）、「フードカルチャー」が 537 人（同 33.3%）であった（いずれも複数回答の結果）。

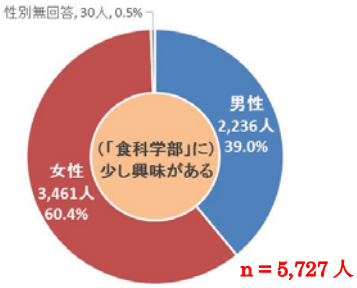
2-1　立命館大学「食科学部」への興味について（①②「問 6」結果より）



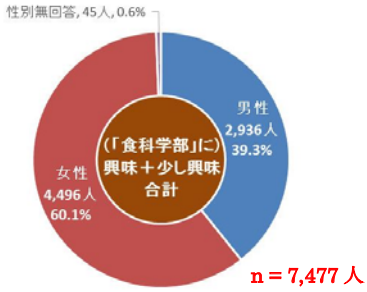
「興味がある」男女別



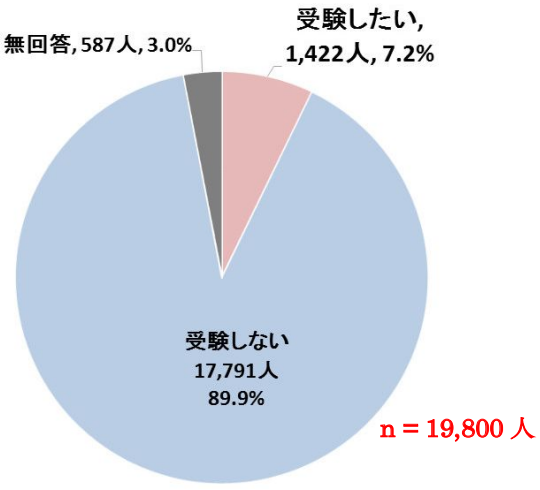
「少し興味がある」男女別



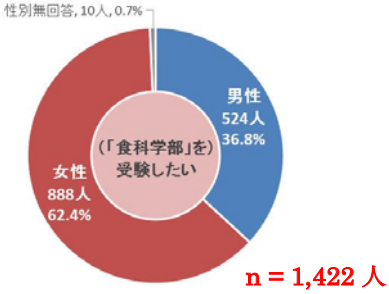
「興味がある」「少し興味」合計　男女別



2-2　立命館大学「食科学部」への受験について（①「問 7」結果より　※全国の高校 128 校のみ対象の設問）



「受験したい」男女別

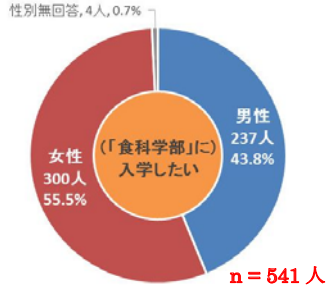


2-3　立命館大学「食科学部」への入学・進学について（①「問 8」②「問 7」結果より）

n = 1,614 人（①問 7 で「受験したい」とした 1,422 人と②問 7 で「進学したい」とした 192 人の合計）

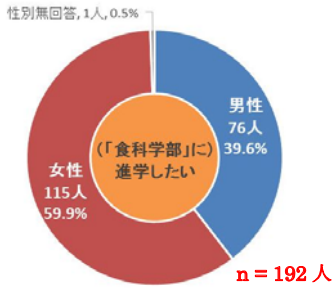
※①問 7 で「受験したい」とした 1,422 人のうち 11 人は①「問 8」無回答のため、入学・進学意欲を示した高校生の合計は 1,603 人となっている。

①問 8 で「入学したい」男女別（全国の高校の生徒）



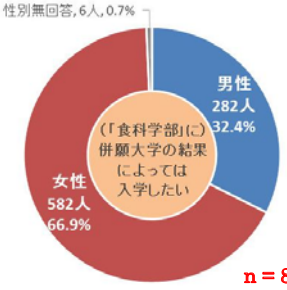
n = 541 人

②問 7 で「進学したい」男女別（立命館大学の附属高校の生徒）



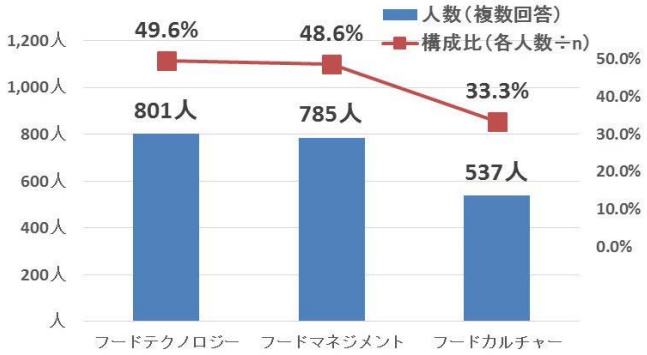
n = 192 人

①問 8 で「併願大学の～」男女別（全国の高校の生徒）



n = 870 人

2-4　立命館大学「食科学部」で興味のある領域（①「問 9」②「問 8」結果より）

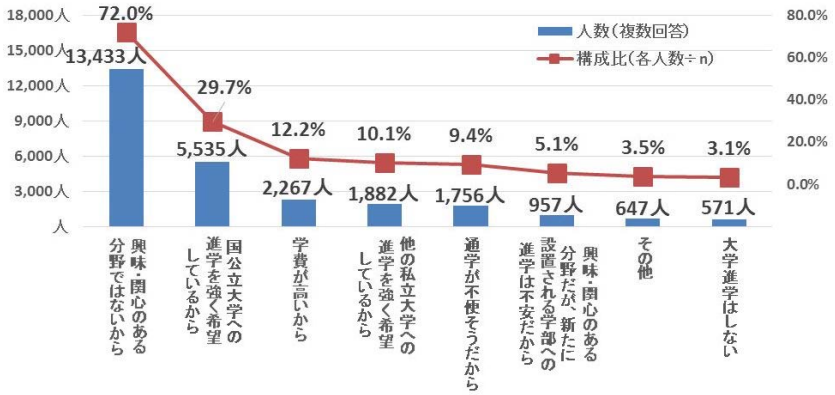


n = 1,614 人（①問 7 で「受験したい」とした 1,422 人と②問 7 で「進学したい」とした 192 人の合計）

◆「食科学部」を受験・進学しない理由（①「問 11」・②「問 10」結果より）

立命館大学が設置を予定する「食科学部」に現時点で①全国の高校 128 校で受験意欲を示さなかった 17,791 人②立命館大学の附属高校で進学意欲を示さなかった 853 人（①②の合計 18,644 人）に対し、その理由について回答を求めた。その結果、①の「問 11」および②の「問 10」結果として **3-1** で示す通り、「（食科学部）は興味・関心のある分野だが、新たに設置される学部への進学は不安だから」と回答した者が 957 人（回答対象者 18,644 人の 5.1%）いた（複数回答の結果）。これらの高校生は**今後の広報活動を通じて立命館大学の「食科学部」への志願者になりえる層**と推察される。

3-1　立命館大学「食科学部」を受験・進学しない理由（①「問 11」②「問 10」結果より）



n = 18,644 人（①問 7 で「受験しない」とした 17,791 人と②問 7 で「進学したい」とした 853 人の合計）

資料①

全国の高校 128 校から

回答を得た高校生アンケート調査

結　果

１．全国の高校 128 校から回答を得た高校生アンケート調査　概要

◆ **調査内容：** 立命館大学が平成 30 年度に設置を予定する「食科学部」における学生確保の見通しを測定するため、全国の高校 128 校にて「設置構想についての高校生アンケート」を実施した。

アンケート項目は全 12 問で、全て選択肢式とした。

主な質問内容は、以下である。

＜回答者本人について＞

問　１　居住地
問　２　性別
問　３　興味のある学問分野
問　４　高校卒業後の希望進路
問　５　将来の希望進路（就職先）

＜立命館大学の「食科学部」への進学意欲について＞

問　６　興味の有無
問　７　受験意欲の有無
問　８（受験したい場合）「食科学部」への入学意欲（専願・併願別）
問　９（受験したい場合）「食科学部」が設ける 3 つの領域のうち、興味ある領域
問１０（受験したい場合）最も興味のある第 2 外国語
問１１（受験したくない場合）理由
問１２（受験したくない場合）立命館大学において現時点で受験したい他学部

→ *詳細は 37 ページ・別添①「全国の高校 128 校にて実施した高校生アンケート調査　用紙」参照。*

◆ **調査時期：** 平成 28 年 6 月～7 月

◆ **調査対象：** 平成 30 年度の大学入試を受験する可能性が最も高い**高校 2 年生**（平成 28 年 3 月卒業予定者）をアンケートの対象とした。

◆ **調査方法：** アンケート実施の了承が得られた高校に高校生アンケート用紙（必要部数）を送付。各校の教職員から調査対象者（高校 2 年生）にアンケート用紙を配布の上、10 分程度の回答時間を設け、その場で回収頂いた。

◆ **実施高校：** 立命館大学への志願者が多い近畿地方を中心に、全国の高校（大学進学率が高い高校）を対象に高校生アンケート調査の実施依頼を行い、**38 都道府県の 128 校**よりご協力頂いた。

→*「都道府県別の実施高校数」は 13 ページ表を参照。*

◆ **実施人数：** **19,800 人**（有効回答数）

→*「在学高校所在地別の実施人数」は 13 ページ表を参照。*

→ *回答者の居住地別の実施人数一覧は 14 ページ表（「問 1」結果）を参照。*

都道府県別の実施高校数

	公立	私立	合計	構成比
北海道	4	0	4	3.1%
青森県	2	0	2	1.6%
岩手県	0	1	1	0.8%
宮城県	1	1	2	1.6%
福島県	1	0	1	0.8%
茨城県	1	0	1	0.8%
栃木県	1	0	1	0.8%
埼玉県	0	1	1	0.8%
千葉県	0	1	1	0.8%
東京都	0	3	3	2.3%
神奈川県	0	1	1	0.8%
新潟県	0	1	1	0.8%
富山県	2	0	2	1.6%
石川県	1	0	1	0.8%
福井県	0	1	1	0.8%
山梨県	1	0	1	0.8%
長野県	2	0	2	1.6%
岐阜県	6	1	7	5.5%
静岡県	4	1	5	3.9%
愛知県	2	3	5	3.9%
三重県	3	1	4	3.1%
滋賀県	6	2	8	6.3%
京都府	2	7	9	7.0%
大阪府	6	9	15	11.7%
兵庫県	9	3	12	9.4%
奈良県	1	2	3	2.3%
和歌山県	1	2	3	2.3%
島根県	0	1	1	0.8%
岡山県	1	0	1	0.8%
広島県	4	0	4	3.1%
山口県	1	1	2	1.6%
香川県	1	1	2	1.6%
愛媛県	0	2	2	1.6%
福岡県	6	4	10	7.8%
佐賀県	2	1	3	2.3%
長崎県	0	1	1	0.8%
大分県	1	0	1	0.8%
宮崎県	1	3	4	3.1%
合計	73	55	128	100.0%
構成比	57.0%	43.0%	100.0%	

在学高校所在地別の実施人数

	公立	私立	合計	構成比
北海道	520	0	520	2.6%
青森県	418	0	418	2.1%
岩手県	0	104	104	0.5%
宮城県	168	364	532	2.7%
福島県	45	0	45	0.2%
茨城県	78	0	78	0.4%
栃木県	85	0	85	0.4%
埼玉県	0	40	40	0.2%
千葉県	0	169	169	0.9%
東京都	0	310	310	1.6%
神奈川県	0	163	163	0.8%
新潟県	0	89	89	0.4%
富山県	302	0	302	1.5%
石川県	74	0	74	0.4%
福井県	0	213	213	1.1%
山梨県	265	0	265	1.3%
長野県	157	0	157	0.8%
岐阜県	1,126	65	1,191	6.0%
静岡県	457	133	590	3.0%
愛知県	235	346	581	2.9%
三重県	302	129	431	2.2%
滋賀県	1,555	368	1,923	9.7%
京都府	458	1,204	1,662	8.4%
大阪府	1,854	2,040	3,894	19.7%
兵庫県	1,015	446	1,461	7.4%
奈良県	81	184	265	1.3%
和歌山県	38	232	270	1.4%
島根県	0	52	52	0.3%
岡山県	109	0	109	0.6%
広島県	527	0	527	2.7%
山口県	236	64	300	1.5%
香川県	79	175	254	1.3%
愛媛県	0	202	202	1.0%
福岡県	704	490	1,194	6.0%
佐賀県	339	89	428	2.2%
長崎県	0	293	293	1.5%
大分県	232	0	232	1.2%
宮崎県	38	339	377	1.9%
合計	11,497	8,303	19,800	100.0%
構成比	58.1%	41.9%	100.0%	

※回答者の居住地別の実施人数一覧は 6 ページ表（「問 1」結果）を参照。

２．全国の高校 128 校から回答を得た高校生アンケート調査　全質問項目の集計結果

※「構成比」（%）はいずれも、小数点第二位を四捨五入した。

問１　あなたが現在お住まいの都道府県をお答えください。

選択項目	回答数	構成比
１．北海道	534	2.7%
２．青森県	419	2.1%
３．岩手県	108	0.5%
４．宮城県	527	2.7%
５．秋田県	2	0.0%
６．山形県	1	0.0%
７．福島県	46	0.2%
８．茨城県	76	0.4%
９．栃木県	93	0.5%
１０．群馬県	2	0.0%
１１．埼玉県	50	0.3%
１２．千葉県	193	1.0%
１３．東京都	261	1.3%
１４．神奈川県	173	0.9%
１５．新潟県	90	0.5%
１６．富山県	299	1.5%
１７．石川県	76	0.4%
１８．福井県	210	1.1%
１９．山梨県	265	1.3%
２０．長野県	159	0.8%
２１．岐阜県	1,187	6.0%
２２．静岡県	590	3.0%
２３．愛知県	581	2.9%
２４．三重県	432	2.2%
２５．滋賀県	2,049	10.3%
２６．京都府	1,424	7.2%
２７．大阪府	4,023	20.3%
２８．兵庫県	1,433	7.2%
２９．奈良県	302	1.5%
３０．和歌山県	163	0.8%

選択項目	回答数	構成比
３１．鳥取県	2	0.0%
３２．島根県	49	0.2%
３３．岡山県	110	0.6%
３４．広島県	524	2.6%
３５．山口県	304	1.5%
３６．徳島県	1	0.0%
３７．香川県	250	1.3%
３８．愛媛県	203	1.0%
３９．高知県	0	0.0%
４０．福岡県	1,250	6.3%
４１．佐賀県	360	1.8%
４２．長崎県	293	1.5%
４３．熊本県	3	0.0%
４４．大分県	231	1.2%
４５．宮崎県	375	1.9%
４６．鹿児島県	0	0.0%
４７．沖縄県	8	0.0%
（無回答）	69	0.3%
合計	19,800	100.0%

問２　あなたの性別をお答えください。

選択項目	回答数	構成比
１．男性	9,875	49.9%
２．女性	9,793	49.5%
（無回答）	132	0.7%
合計	19,800	100.0%

問３　あなたの興味のある学問分野をお答えください。

選択項目	回答数	構成比
１．文学・史学・地理学	2,833	14.3%
２．哲学・心理学	3,280	16.6%
３．外国語学	3,017	15.2%
４．国際関係学	2,646	13.4%
５．教育・教員養成	3,578	18.1%
６．法学・政治学	1,810	9.1%
７．経済・経営・商学	3,848	19.4%
８．社会・社会福祉	1,088	5.5%
９．教養・総合分野	564	2.8%
１０．理学	2,608	13.2%
１１．工学	3,740	18.9%
１２．農・獣医畜産・水産	1,539	7.8%
１３．医学	1,432	7.2%
１４．歯学	403	2.0%
１５．薬学	1,722	8.7%
１６．看護学	1,890	9.5%
１７．医療・保健学（看護以外）	1,493	7.5%
１８．栄養学・家政・生活科学	1,744	8.8%
１９．体育・健康科学	1,915	9.7%
２０．芸術	1,865	9.4%
２１．その他	475	2.4%

※ 問３は複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 各構成比 ＝ 回答数 ÷ 19,800 人（全回答者の人数）

問４　高校卒業後の希望進路についてお答えください。

選択項目	回答数	構成比
１．大学	18,593	93.9%
２．短期大学	878	4.4%
３．専門学校	1,728	8.7%
４．就職	681	3.4%
５．その他	169	0.9%

※ 問４は複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 各構成比 ＝ 回答数 ÷ 19,800 人（全回答者の人数）

問５　あなたが将来、希望する進路をお答えください。

選択項目	回答数	構成比
１．一般企業	6,928	35.0%
２．公務員	4,614	23.3%
３．教員	2,633	13.3%
４．研究・技術職	2,121	10.7%
５．資格を活かす職業	5,725	28.9%
６．企業・会社経営	1,111	5.6%
７．大学院進学	1,308	6.6%
８．まだ決めていない	4,962	25.1%
９．その他	505	2.6%

※ 問５は複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 各構成比 ＝ 回答数 ÷ 19,800 人（全回答者の人数）

問６　あなたは立命館大学が設置構想中の「食科学部」に興味がありますか。

選択項目	回答数	構成比
１．興味がある	1,545	7.8%
２．少し興味がある	5,339	27.0%
３．あまり興味がない	6,922	35.0%
４．全く興味がない	5,837	29.5%
（無回答）	157	0.8%
合計	19,800	100.0%

問７　あなたは立命館大学が設置構想中の「食科学部」を受験したいと思いますか。

選択項目	回答数	構成比
１．受験したい	1,422	7.2%
２．受験しない	17,791	89.9%
（無回答）	587	3.0%
合計	19,800	100.0%

次の問８・９・１０は、問７で「１．受験したい」を選択した高校生（1,422 人）が回答対象

問８　あなたは立命館大学が設置構想中の「食科学部」に合格した場合、入学したいと思いますか。

選択項目	回答数	構成比
１．合格した場合、入学したい	541	38.0%
２．合格した場合、併願大学の結果によっては入学したい	870	61.2%
（無回答）	11	0.8%
合計	1,422	100.0%

（問８で）２の方は、検討中の併願先をお答えください。

選択項目	回答数	構成比
１．国公立大学	479	55.1%
２．立命館大学以外の私立大学	338	38.9%
３．立命館大学の他学部・学科	65	7.5%
４．その他	18	2.1%

※ 複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 各構成比 ＝ 回答数 ÷ 870 人（回答委対象者：問８で２を選択した者）

問９　立命館大学が設置構想中の「食科学部」では「食」を総合的・包括的に捉えるため、以下の３つの学びの領域を設ける予定です。あなたが興味のある領域をすべてお選びください。

選択項目	回答数	構成比
１．フードマネジメント	680	47.8%
２．フードカルチャー	466	32.8%
３．フードテクノロジー	730	51.3%

※ 問 9 は複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 各構成比 ＝ 回答数 ÷ 1,422 人（回答対象者：問７で１を選択した者）

問 10　立命館大学が設置構想中の「食科学部」では「食」に関するグローバルな視点を養うため、第一外国語（英語）のほか、以下の科目を第二外国語として設ける予定です。あなたが最も興味のある科目をお選びください。

選択項目	回答数	構成比
１．イタリア語	400	28.1%
２．フランス語	535	37.6%
３．中国語	212	14.9%
４．スペイン語	133	9.4%
５．朝鮮語	56	3.9%
（無回答）	86	6.0%
合計	1,422	100.0%

次の問１１・１２は、問７で「２．受験しない」を選択した高校生（17,791 人）が回答対象

問 11　あなたが立命館大学が設置構想中の「食科学部」を「受験しない」と回答された理由をお答えください。

選択項目	回答数	構成比
１．興味・関心のある分野ではないから	12,836	72.1%
２．国公立大学への進学を強く希望しているから	5,392	30.3%
３．他の私立大学への進学を強く希望しているから	1,837	10.3%
４．興味・関心のある分野だが、新たに設置される学部への進学は不安だから	868	4.9%
５．通学が不便そうだから	1,691	9.5%
６．学費が高いから	2,210	12.4%
７．大学進学はしない（短期大学・専門学校に進学、就職を希望）	566	3.2%
８．その他	597	3.4%

※ 問 11 は複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 各構成比 ＝ 回答数 ÷ 17,791 人（回答対象者：問７で２を選択した者）

問 12　**立命館大学において、あなたが現時点で受験したい学部があればお答えください。**

選択項目		回答数	構成比
びわこ・くさつ キャンパス	１．経済学部	1,763	9.9%
	２．理工学部	2,305	13.0%
	３．情報理工学部	959	5.4%
	４．生命科学部	765	4.3%
	５．薬学部	1,037	5.8%
	６．スポーツ健康科学部	1,298	7.3%
大阪いばらき キャンパス	７．経営学部	1,500	8.4%
	８．政策科学部	310	1.7%
	９．総合心理学部	1,411	7.9%
衣笠 キャンパス	１０．法学部	1,134	6.4%
	１１．産業社会学部	294	1.7%
	１２．国際関係学部	1,582	8.9%
	１３．文学部	1,511	8.5%
	１４．映像学部	669	3.8%

※ 問 12 は複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 各構成比 ＝ 回答数 ÷ 17,791 人（回答対象者：問 7 で 2 を選択した者）

３．全国の高校 128 校から回答を得た高校生アンケート調査　結果のまとめ

※「構成比」（%）はいずれも、小数点第二位を四捨五入した。

◆ 回答を得た高校生の基本情報（「問 1」～「問 5」結果より）

今回、全国の高校 128 校にて実施した「設置構想についての高校生アンケート調査」において、「問 1」結果として **1-1** で示す通り、**高校生が居住する都道府県として最も回答数が多かったのは「大阪府」で全回答者 19,800 人のうち 4,023 人（全体の 20.3%）**であった。他に「滋賀県」2,049 人（同 10.3%）、「京都府」1,424 人（同 7.2%）、「兵庫県」1,433 人（同 7.2%）、「奈良県・和歌山県」465 人（同 2.3%）で、**近畿地方の居住者の合計は 9,394 人（同 47.4%）**であった。また、「北海道・東北」1,637 人（同 8.3%）、「関東」848 人（同 4.3%）、「北陸・甲信越」1,099 人（同 5.6%）、「東海」2,790 人（同 14.1%）、「中国・四国」1,443 人（同 7.3%）、「九州・沖縄」2,520 人（同 12.7%）で、**近畿地方以外の居住者の合計は 10,337 人（同 52.2%）**であった。このように、近畿地方をはじめ、全国の幅広い地域の高校生から回答を得た。

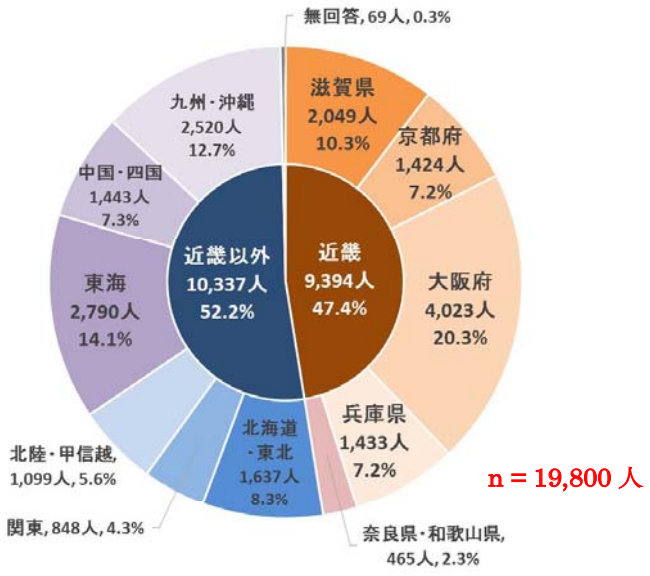
「問 2」結果として **1-2** で示す通り、性別は**「男性」9,875 人（同 49.9%）、「女性」9,793 人（同 49.5%）**であった。

「問 3」結果として **1-3** で示す通り、高校生が興味のある学問分野として最も回答数が多かったのは、「経済・経営・商学」3,848 人（同 19.4%）であった（複数回答の結果）。**高校生のおよそ 2 割が「経済・経営・商学」に興味を持っている**ことが分かった。

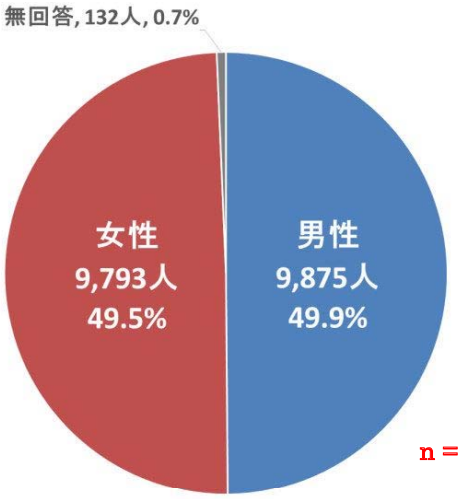
「問 4」結果として **1-4** で示す通り、高校卒業後の希望進路としては、**最も回答数が多かったのは「大学」18,593 人（同 93.9%）**であった（複数回答の結果）。

「問 5」結果として **1-5** で示す通り、将来の希望進路（就職先）については、回答数が多い順に「一般企業」6,928 人（同 35.0%）、「資格を活かす職業」5,725 人（同 28.9%）、「まだ決めていない」4,962 人（同 25.1%）であった（いずれも複数回答の結果）。

1-1　回答を得た高校生の居住地（「問 1」結果より）

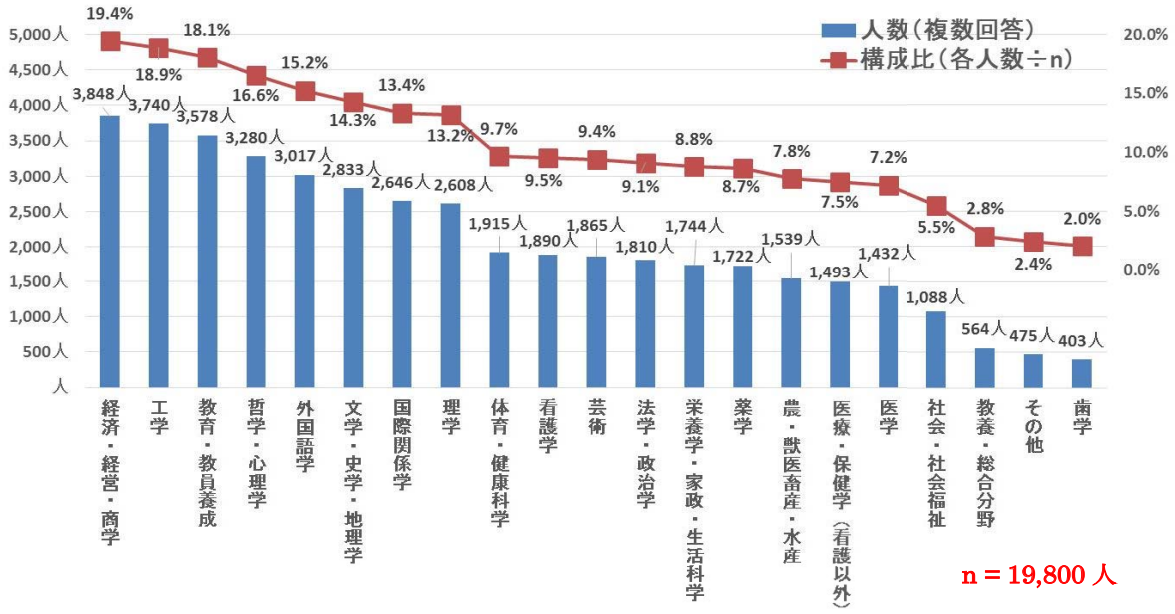


1-2　回答を得た高校生の性別（「問 2」結果より）



n = 19,800 人

1-3　回答を得た高校生の興味のある学問分野（「問 3」結果より／左より回答数の多い順）

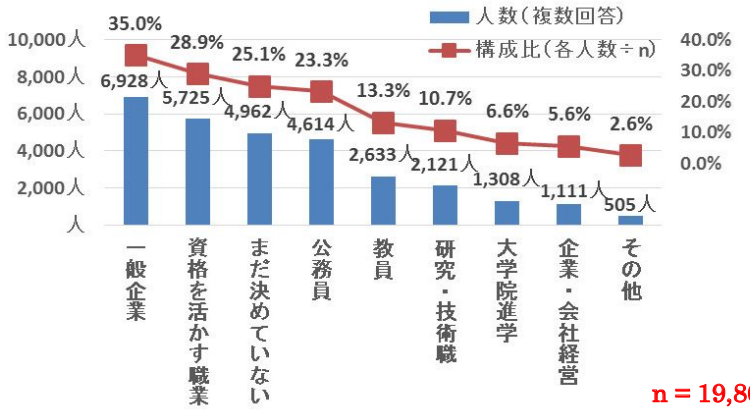


n = 19,800 人

1-4　回答を得た高校生の高校卒業後の希望進路（「問 4」結果より／左より回答数の多い順）

n = 19,800 人

1-5　回答を得た高校生の将来の希望進路（「問 5」結果より／左より回答数の多い順）



n = 19,800 人

◆「食科学部」への興味および受験・入学意欲等（「問 6」～「問 10」結果より）

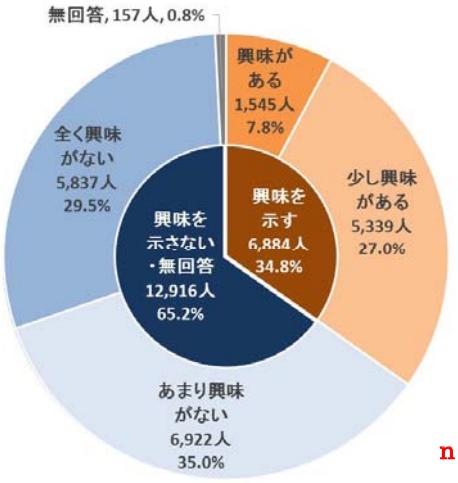
今回、全国の高校 128 校にて実施した「設置構想についての高校生アンケート調査」では、立命館大学が設置を予定する「食科学部」の概要を示した上で、興味の有無ならびに受験・入学意欲について回答を求めた。その結果、「問 6」結果として **2-1** で示す通り、1,545 人（全体の 7.8%）が「興味がある」、5,339 人（同 27.0%）が「少し興味がある」と回答した。合計すると **6,884 人（同 34.8%）が「食科学部」に興味を示す結果**となった。これらを男女別でみた場合、「興味がある」は「男性」605 人（「興味がある」とした 1,545 人の 39.2%）、「女性」927 人（同 60.0%）であった。「少し興味がある」は「男性」2,064 人（「少し興味がある」とした 5,339 人の 38.7%）、「女性」3,248 人（同 60.8%）であった。合計すると「男性」2,669 人（「興味がある」「少し興味～」の合計 6,884 人の 38.8%）、「女性」4,175 人（同 60.6%）が「食科学部」に興味を示す結果となった。

また、「問 7」結果として **2-2** で示す通り、**1,422 人（全体の 7.2%）が「受験したい」と回答**した。男女別でみた場合、「男性」524 人（「受験したい」とした 1,422 人の 36.8%）、「女性」888 人（同 62.7%）であった。

さらに、「問 8」結果として **2-3** が示す通り、これらの 1,422 人のうち **541 人が「食科学部」に「合格した場合、入学したい」**、870 人が「合格した場合、併願大学の結果によっては入学したい」と答えた。これらを男女別でみた場合、「入学したい」は「男性」237 人（「入学したい」とした 541 人の 43.8%）、「女性」300 人（同 55.5%）であった。「併願大学の結果によっては入学したい」は「男性」282 人（「併願大学の結果～」とした 870 人の 32.4%）、「女性」582 人（同 66.9%）であった。

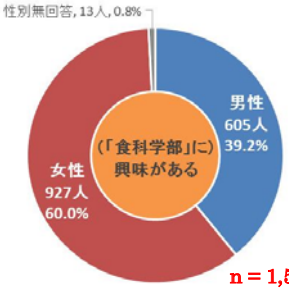
加えて、「受験したい」とした 1,422 人に対し、「食科学部」で設定される 3 つの学びの領域のうち、興味のあるものについて回答を求めた結果、「問 9」結果として **2-4** で示す通り、「フードテクノロジー」が 730 人（回答対象者 1,422 人の 51.3%）、「フードマネジメント」が 680 人（同 47.8%）、「フードカルチャー」が 466 人（同 32.8%）であった（いずれも複数回答の結果）。

2-1　立命館大学「食科学部」への興味について（「問 6」結果より）



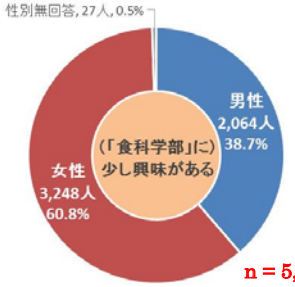
n = 19,800 人

「興味がある」男女別



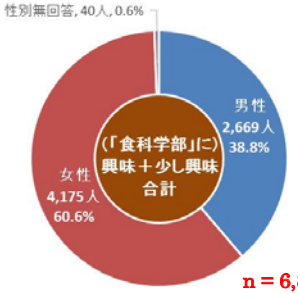
n = 1,545 人

「少し興味がある」男女別



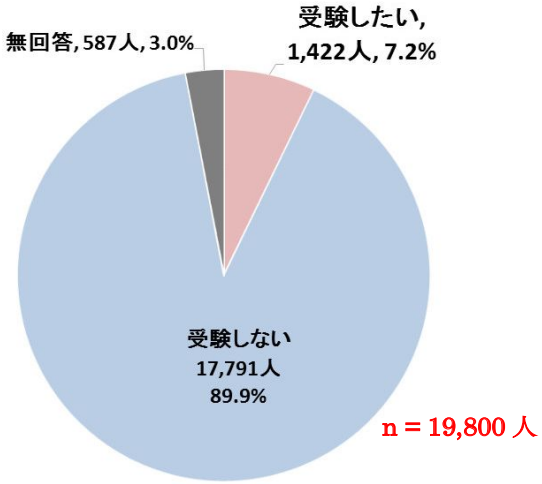
n = 5,339 人

「興味がある」「少し興味」合計　男女別



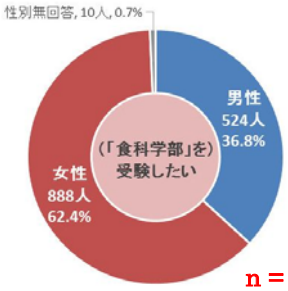
n = 6,884 人

2-2　立命館大学「食科学部」への受験について（「問 7」結果より）



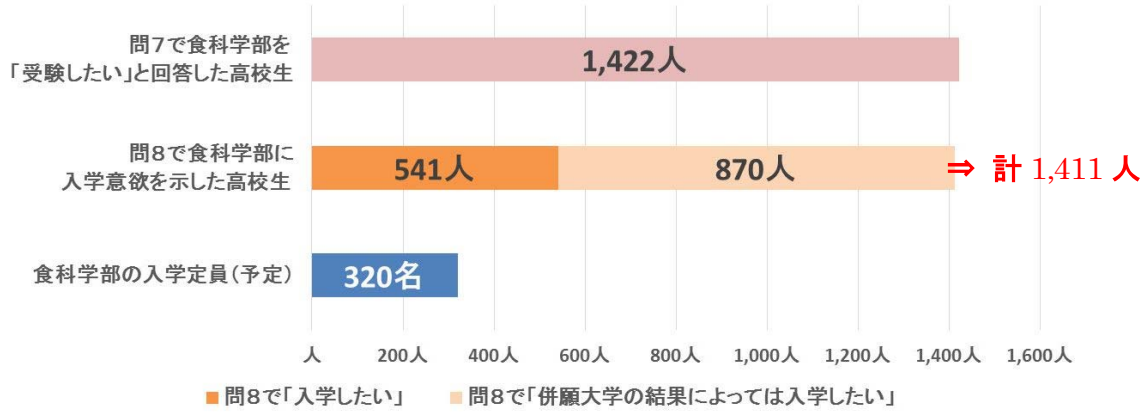
n = 19,800 人

「受験したい」男女別



n = 1,422 人

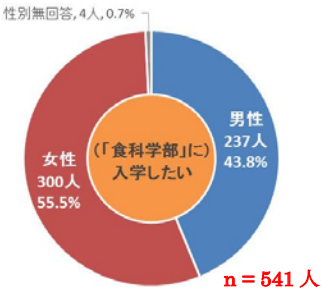
2-3　立命館大学「食科学部」への入学について（「問 8」結果より）



※問 7 で「受験したい」とした 1,422 人のうち 11 人は「問 8」無回答。

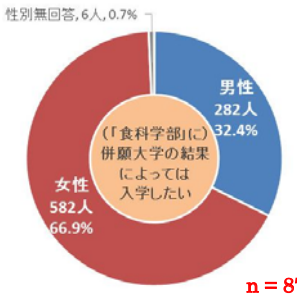
n = 1,422 人
（問 7 で「受験したい」）

「入学したい」男女別



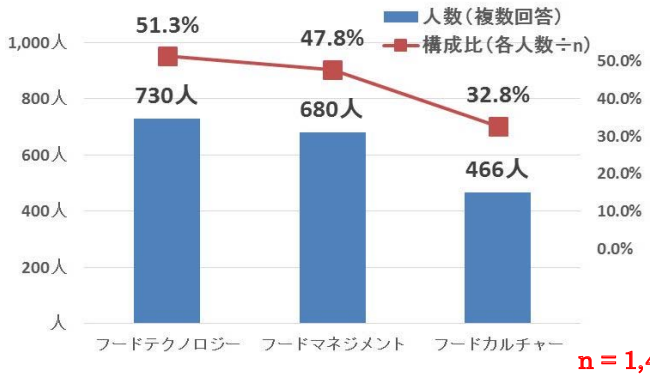
n = 541 人

「併願大学の～」男女別



n = 870 人

2-4　立命館大学「食科学部」で興味のある領域（「問 9」結果より）

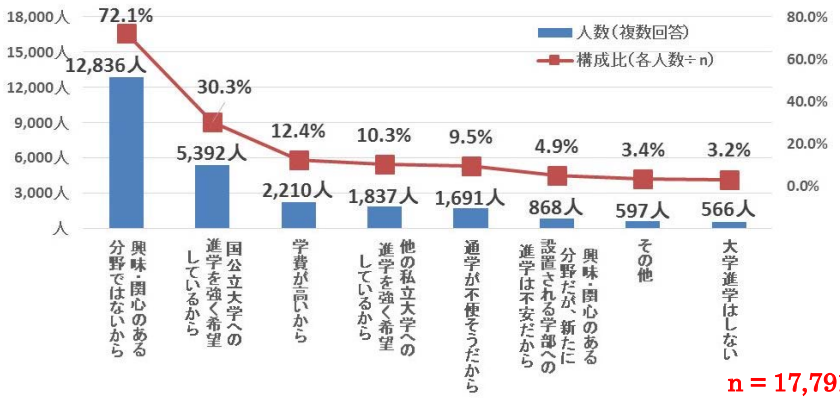


n = 1,422 人
（問 7 で「受験したい」）

◆「食科学部」を受験しない理由（「問 11」結果より）

立命館大学が設置を予定する「食科学部」に現時点で「受験しない」との意志を示した 17,791 人に、その理由について回答を求めた。その結果、「問 11」結果として **3-1** で示す通り、「（食科学部）は興味・関心のある分野だが、新たに設置される学部への進学は不安だから」と回答した者が 868 人（回答対象者 17,791 人の 4.9%）いた（複数回答の結果）。これらの高校生は**今後の広報活動を通じて立命館大学の「食科学部」への志願者になりえる層**と推察される。

3-1　立命館大学「食科学部」を受験しない理由（「問 11」結果より）



n＝17,791 人
（問 7 で「受験しない」）

資料②

立命館大学の附属高校 4 校から

回答を得た高校生アンケート調査

結　果

１．附属高校４校から回答を得た高校生アンケート調査　概要

◆ **調査内容：** 立命館大学が平成 30 年度に設置を予定する「食科学部」における学生確保の見通しを測定するため、立命館大学の附属高校 4 校（立命館高等学校、立命館宇治高等学校、立命館慶祥高等学校、立命館守山高等学校）に「設置構想についての高校生アンケート」を実施した。

アンケート項目は全 11 問で、全て選択肢式とした。

主な質問内容は、以下である。

＜回答者本人について＞

問　１　居住地

問　２　性別

問　３　興味のある学問分野

問　４　高校卒業後の希望進路

問　５　将来の希望進路（就職先）

＜立命館大学の「食科学部」への進学意欲について＞

問　６　興味の有無

問　７　進学意欲の有無

問　８（進学したい場合）「食科学部」が設ける 3 つの領域のうち、興味ある領域

問　９（進学したい場合）最も興味のある第 2 外国語

問１０（進学したくない場合）理由

問１１（進学したくない場合）立命館大学において現時点で進学したい他学部

→ 詳細は 43 ページ・別添②「立命館大学の附属高校 4 校にて実施した高校生アンケート調査　用紙」参照。

◆ **調査時期：** 平成 28 年 6 月～7 月

◆ **調査対象：** 平成 30 年度に大学進学時期を迎える高校 2 年生（平成 30 年 3 月卒業予定者）をアンケートの対象とした。

◆ **調査方法：** 立命館大学の附属高校 4 校に高校生アンケート用紙（必要部数）を送付。
各校の教職員から調査対象者（高校 2 年生）にアンケート用紙を配布の上、10 分程度の回答時間を設け、その場で回収頂いた。

◆ **実施高校：** 立命館高等学校（京都府）、立命館宇治高等学校（京都府）、
立命館慶祥高等学校（北海道）、立命館守山高等学校（滋賀県）

◆ **実施人数：** 1,065 人（有効回答数）

２．立命館大学の附属高校４校から回答を得た高校生アンケート調査　全質問項目の集計結果

※「構成比」（%）はいずれも、小数点第二位を四捨五入した。

問１　あなたが現在お住まいの都道府県をお答えください。

選択項目	回答数	構成比
１．北海道	273	25.6%
２．青森県	1	0.1%
３．岩手県	0	0.0%
４．宮城県	0	0.0%
５．秋田県	0	0.0%
６．山形県	0	0.0%
７．福島県	0	0.0%
８．茨城県	0	0.0%
９．栃木県	0	0.0%
１０．群馬県	1	0.1%
１１．埼玉県	0	0.0%
１２．千葉県	0	0.0%
１３．東京都	1	0.1%
１４．神奈川県	0	0.0%
１５．新潟県	0	0.0%
１６．富山県	0	0.0%
１７．石川県	0	0.0%
１８．福井県	0	0.0%
１９．山梨県	0	0.0%
２０．長野県	0	0.0%
２１．岐阜県	1	0.1%
２２．静岡県	0	0.0%
２３．愛知県	0	0.0%
２４．三重県	0	0.0%
２５．滋賀県	182	17.1%
２６．京都府	426	40.0%
２７．大阪府	133	12.5%
２８．兵庫県	5	0.5%
２９．奈良県	37	3.5%
３０．和歌山県	1	0.1%

選択項目	回答数	構成比
３１．鳥取県	0	0.0%
３２．島根県	0	0.0%
３３．岡山県	0	0.0%
３４．広島県	0	0.0%
３５．山口県	0	0.0%
３６．徳島県	0	0.0%
３７．香川県	0	0.0%
３８．愛媛県	0	0.0%
３９．高知県	0	0.0%
４０．福岡県	0	0.0%
４１．佐賀県	0	0.0%
４２．長崎県	0	0.0%
４３．熊本県	0	0.0%
４４．大分県	0	0.0%
４５．宮崎県	0	0.0%
４６．鹿児島県	0	0.0%
４７．沖縄県	0	0.0%
（無回答）	4	0.4%
合計	1,065	100.0%

問２　あなたの性別をお答えください。

選択項目	回答数	構成比
１．男性	566	53.1%
２．女性	487	45.7%
（無回答）	12	1.1%
合計	1,065	100.0%

問３　あなたの興味のある学問分野をお答えください。

選択項目	回答数	構成比
１．文学・史学・地理学	150	14.1%
２．哲学・心理学	199	18.7%
３．外国語学	150	14.1%
４．国際関係学	197	18.5%
５．教育・教員養成	126	11.8%
６．法学・政治学	145	13.6%
７．経済・経営・商学	333	31.3%
８．社会・社会福祉	74	6.9%
９．教養・総合分野	36	3.4%
１０．理学	173	16.2%
１１．工学	138	13.0%
１２．農・獣医畜産・水産	53	5.0%
１３．医学	122	11.5%
１４．歯学	28	2.6%
１５．薬学	122	11.5%
１６．看護学	44	4.1%
１７．医療・保健学（看護以外）	60	5.6%
１８．栄養学・家政・生活科学	93	8.7%
１９．体育・健康科学	132	12.4%
２０．芸術	77	7.2%
２１．その他	21	2.0%

※ 問３は複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 各構成比 ＝ 回答数 ÷1,065 人（全回答者の人数）

問４　高校卒業後の希望進路についてお答えください。

選択項目	回答数	構成比
１．大学	1,053	98.9%
２．短期大学	6	0.6%
３．専門学校	20	1.9%
４．就職	12	1.1%
５．その他	7	0.7%

※ 問４は複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 各構成比 ＝ 回答数 ÷1,065 人（全回答者の人数）

問５　**あなたが将来、希望する進路をお答えください。**

選択項目	回答数	構成比
１．一般企業	429	40.3%
２．公務員	215	20.2%
３．教員	94	8.8%
４．研究・技術職	129	12.1%
５．資格を活かす職業	255	23.9%
６．企業・会社経営	86	8.1%
７．大学院進学	57	5.4%
８．まだ決めていない	308	28.9%
９．その他	28	2.6%

※ 問５は複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 各構成比 ＝ 回答数 ÷1,065 人（全回答者の人数）

問６　**あなたは立命館大学が設置構想中の「食科学部」に興味がありますか。**

選択項目	回答数	構成比
１．興味がある	205	19.2%
２．少し興味がある	388	36.4%
３．あまり興味がない	290	27.2%
４．全く興味がない	169	15.9%
（無回答）	13	1.2%
合計	1,065	100.0%

問７　**あなたは立命館大学が設置構想中の「食科学部」に進学したいと思いますか。**

選択項目	回答数	構成比
１．進学したい	192	18.0%
２．進学しない	853	80.1%
（無回答）	20	1.9%
合計	1,065	100.0%

次の問８・９は、問７で「１．進学したい」を選択した高校生（192 人）が回答対象

問８　**立命館大学が設置構想中の「食科学部」では「食」を総合的・包括的に捉えるため、以下の３つの学びの領域を設ける予定です。あなたが興味のある領域をすべてお選びください。**

選択項目	回答数	構成比
１．フードマネジメント	105	54.7%
２．フードカルチャー	71	37.0%
３．フードテクノロジー	71	37.0%

※ 問８は複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 各構成比 ＝ 回答数 ÷192 人（回答対象者：問７で１を選択した者）

問９　**立命館大学が設置構想中の「食科学部」では「食」に関するグローバルな視点を養うため、第一外国語（英語）のほか、以下の科目を第二外国語として設ける予定です。あなたが最も興味のある科目をお選びください。**

選択項目	回答数	構成比
１．イタリア語	57	29.7%
２．フランス語	63	32.8%
３．中国語	37	19.3%
４．スペイン語	20	10.4%
５．朝鮮語	12	6.3%
（無回答）	3	1.6%
合計	192	100.0%

次の問１０・１１は、問７で「２．進学しない」を選択した高校生（853 人）が回答対象

問 10　**あなたが立命館大学が設置構想中の「食科学部」を「受験しない」と回答された理由をお答えください。**

選択項目	回答数	構成比
１．興味・関心のある分野ではないから	597	70.0%
２．国公立大学への進学を強く希望しているから	143	16.8%
３．他の私立大学への進学を強く希望しているから	45	5.3%
４．興味・関心のある分野だが、新たに設置される学部への進学は不安だから	89	10.4%
５．通学が不便そうだから	65	7.6%
６．学費が高いから	57	6.7%
７．大学進学はしない（短期大学・専門学校に進学、就職を希望）	5	0.6%
８．その他	50	5.9%

※ 問 10 は複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 各構成比 ＝ 回答数 ÷853 人（回答対象者：問７で２を選択した者）

問 11　**立命館大学において、あなたが現時点で受験したい学部があればお答えください。**

選択項目		回答数	構成比
びわこ・くさつ キャンパス	１．経済学部	102	12.0%
	２．理工学部	131	15.4%
	３．情報理工学部	62	7.3%
	４．生命科学部	48	5.6%
	５．薬学部	81	9.5%
	６．スポーツ健康科学部	66	7.7%
大阪いばらき キャンパス	７．経営学部	229	26.8%
	８．政策科学部	60	7.0%
	９．総合心理学部	105	12.3%
衣笠 キャンパス	１０．法学部	106	12.4%
	１１．産業社会学部	91	10.7%
	１２．国際関係学部	96	11.3%
	１３．文学部	80	9.4%
	１４．映像学部	32	3.8%

※ 問 11 は複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 各構成比 ＝ 回答数 ÷853 人（回答対象者：問７で２を選択した者）

３．立命館大学の附属高校 4 校から回答を得た高校生アンケート調査　結果のまとめ

※「構成比」（%）はいずれも、小数点第二位を四捨五入した。

◆ 回答を得た高校生の基本情報（「問 1」～「問 5」結果より）

今回、立命館大学の附属高校 4 校を対象に実施した「設置構想についての高校生アンケート調査」において、「問 1」結果として **1-1** で示す通り、**附属高校生が居住する都道府県として最も回答数が多かったのは「京都府」で全回答者 1,065 人のうち 426 人（全体の 40.0%）**であった。他に「滋賀県」182 人（同 17.1%）、「大阪府」133 人（同 12.5%）、「兵庫県・奈良県・和歌山県」43 人（同 4.0%）で、**近畿地方の居住者の合計は 784 人（同 73.6%）**であった。また、近畿地方以外の居住地として回答が多かったのは、「北海道」273 人（25.6%）であった

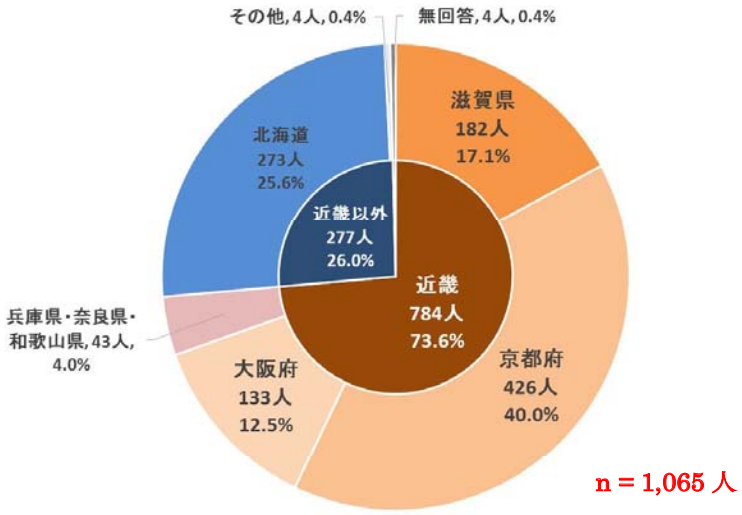
「問 2」結果として **1-2** で示す通り、性別は**「男性」566 人（同 53.1%）、「女性」487 人（同 45.7%）**であった。

「問 3」結果として **1-3** で示す通り、附属高校生が興味のある学問分野として最も回答数が多かったのは、「経済・経営・商学」333 人（同 31.3%）であった（複数回答の結果）。**附属高校生の 3 割以上が「経済・経営・商学」に興味を持っている**ことが分かった。

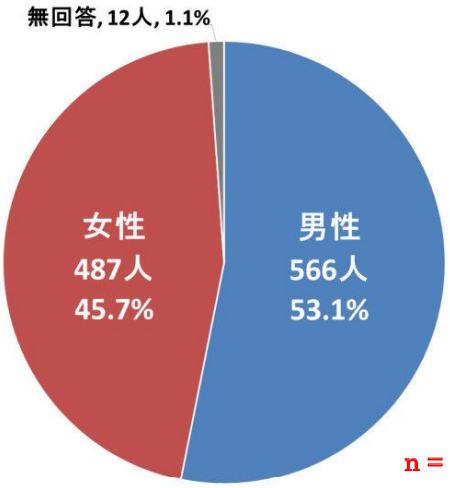
「問 4」結果として **1-4** で示す通り、附属高校卒業後の希望進路としては、**最も回答数が多かったのは「大学」1,053 人（同 98.9%）**であった（複数回答の結果）。

「問 5」結果として **1-5** で示す通り、将来の希望進路（就職先）については、回答数が多い順に「一般企業」429 人（同 40.3%）、「まだ決めていない」308 人（同 28.9%）、「資格を活かす職業」255 人（同 23.9%）であった（いずれも複数回答の結果）。

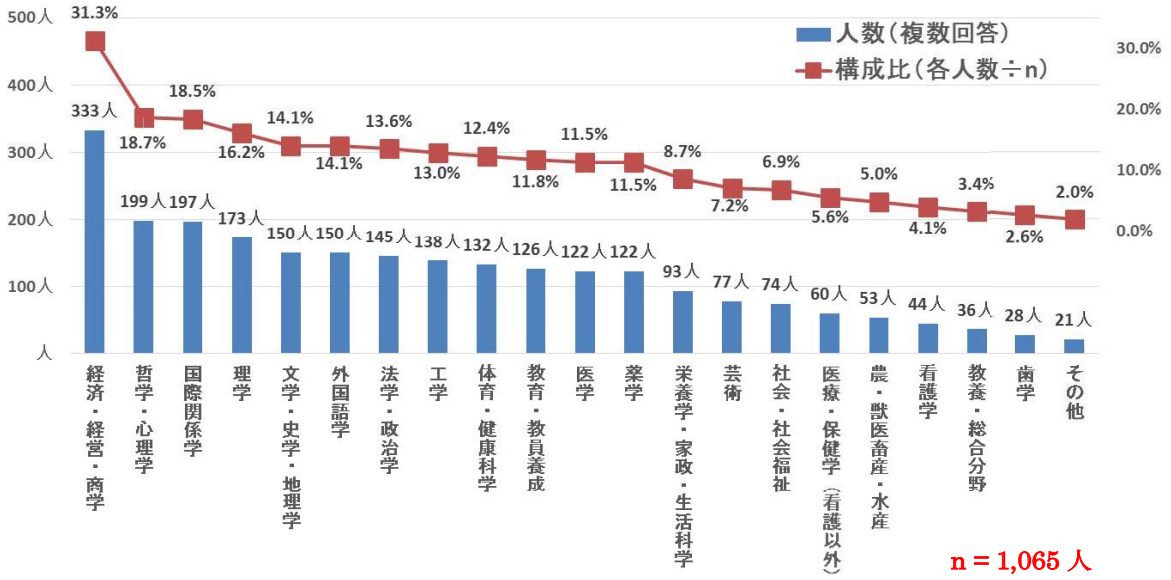
1-1　回答を得た立命館大学の附属高校生の居住地（「問 1」結果より）



1-2　回答を得た立命館大学の附属高校生の性別（「問 2」結果より）

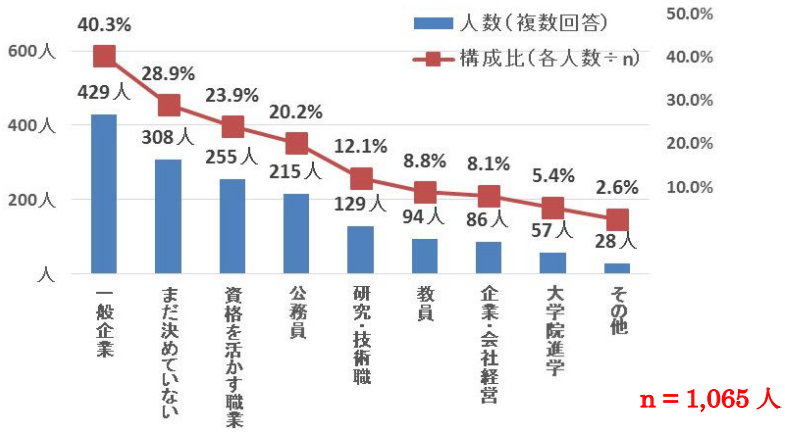


1-3　回答を得た立命館大学の附属高校生の興味のある学問分野（「問 3」結果より／左より回答数の多い順）



1-4　回答を得た立命館大学の附属高校生の高校卒業後の希望進路（「問 4」結果より／左より回答数の多い順）

1-5　回答を得た立命館大学の附属高校生の将来の希望進路（「問 5」結果より／左より回答数の多い順）



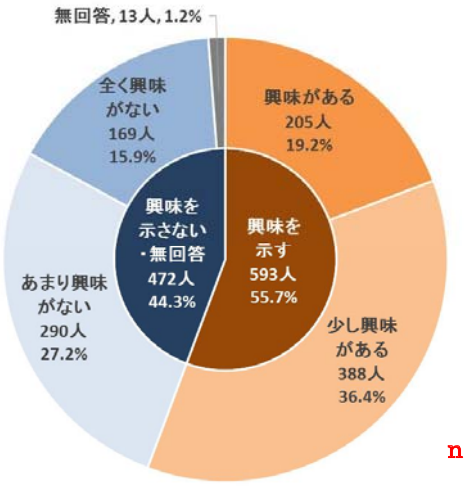
◆「食科学部」への興味および進学意欲等（「問 6」～「問 9」結果より）

今回、立命館大学の附属高校生向けに実施した「設置構想についての高校生アンケート調査」では、立命館大学が設置を予定する「食科学部」の概要を示した上で、興味の有無ならびに進学意欲について回答を求めた。その結果、「問 6」結果として **2-1** で示す通り、205 人（全体の 19.2%）が「興味がある」、388 人（同 36.4%）が「少し興味がある」と回答した。合計すると**過半数の 593 人（同 55.7%）が「食科学部」に興味を示す結果**となった。これらを男女別でみた場合、「興味がある」は「男性」95 人（「興味がある」とした 205 人の 46.3%）、「女性」108 人（同 52.7%）であった。「少し興味がある」は「男性」172 人（「少し興味がある」とした 388 人の 44.3%）、「女性」213 人（同 54.9%）であった。合計すると「男性」267 人（「興味がある」「少し興味～」の合計 593 人の 45.0%）、「女性」321 人（同 54.1%）が「食科学部」に興味を示す結果となった。

また、「問 7」結果として **2-2** で示す通り、**192 人（全体の 18.0%）が「進学したい」と回答**した。男女別にみた場合、「男性」76 人（「進学したい」とした 192 人の 39.6%）、「女性」115 人（同 59.9%）であった。

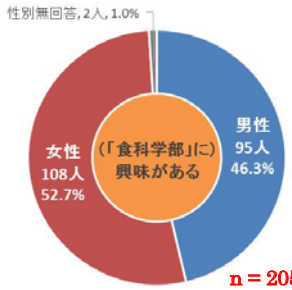
さらに、これらの 192 人に対し、「食科学部」で設定される 3 つの学びの領域のうち、興味のあるものについて回答を求めた結果、「問 8」結果として **2-3** で示す通り、「フードマネジメント」が 105 人（回答対象者 192 人の 54.7%）、「フードカルチャー」「フードテクノロジー」が各 71 人（同各 37.0%）であった（いずれも複数回答の結果）。

2-1　立命館大学「食科学部」への興味について（「問 6」結果より）



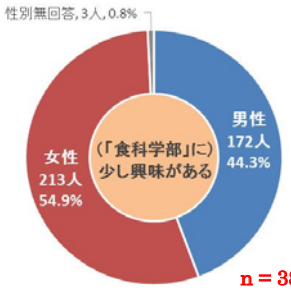
n = 1,065 人

「興味がある」男女別



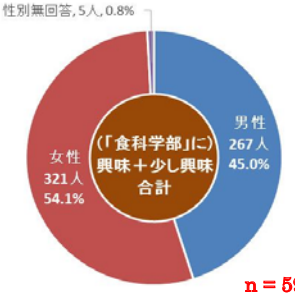
n = 205 人

「少し興味がある」男女別



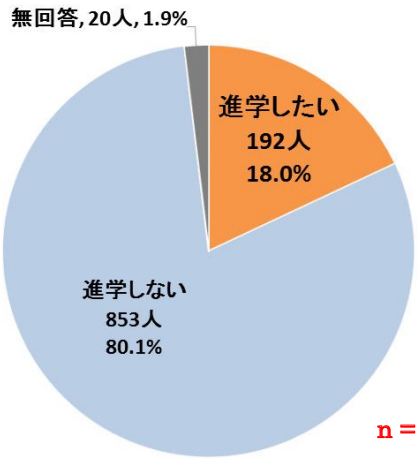
n = 388 人

「興味がある」「少し興味」合計　男女別



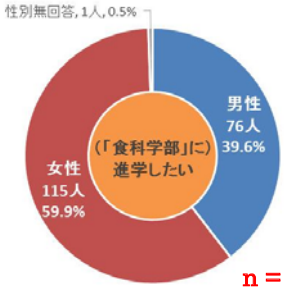
n = 593 人

2-2　立命館大学「食科学部」への進学について（「問 7」結果より）



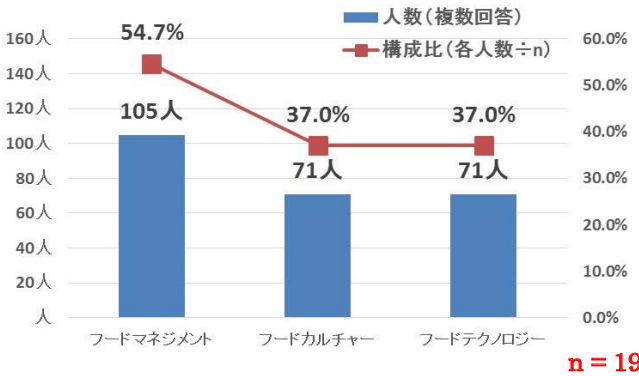
n = 1,065 人

「進学したい」男女別



n = 192 人

2-3　立命館大学「食科学部」で興味のある領域（「問 8」結果より）

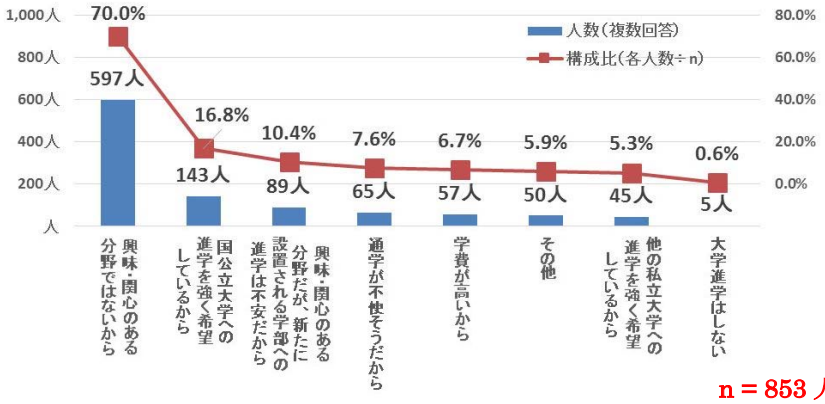


n＝192 人
（問 7 で「進学したい」）

◆「食科学部」に進学しない理由（「問 10」結果より）

立命館大学が設置を予定する「食科学部」に現時点で「進学しない」との意志を示した 853 人に、その理由について回答を求めた。その結果、「問 10」結果として **3-1** で示す通り、「（食科学部）は興味・関心のある分野だが、新たに設置される学部への進学は不安だから」と回答した者が 89 人（回答対象者 853 人の 10.4%）いた（複数回答の結果）。これらの附属高校生は**今後の広報活動を通じて立命館大学の「食科学部」への志願者になりえる層**と推察される。

3-1　立命館大学「食科学部」に進学しない理由（「問 10」結果より／一部項目を抜粋）



n＝853 人
（問 7 で「進学しない」）

別添①

「全国の高校 128 校にて実施した

高校生アンケート調査　用紙」

立命館大学 食科学部

びわこ・くさつキャンパス

2018年4月開設に向け **設置構想中**

設置構想についての高校生アンケート調査

（対象：2016年度現在、高校2年生の皆さん）

立命館大学（本部：京都府京都市中京区西ノ京朱雀町１）は2018年4月、びわこ・くさつキャンパス（滋賀県草津市）に食科学部（入学定員320名）の設置を構想しています。本学ではこのアンケート調査を通して、2018年に大学進学時期を迎える現・高校２年生の皆さんからさまざまなご意見をお聞きし、構想内容に少しでも反映したいと考えています。

なお、回答いただいた皆さんから得られた情報は立命館大学の食科学部の設置構想に係る統計資料としてのみ活用いたします。

高校生の皆さんのアンケート調査へのご協力を、よろしくお願いいたします。

※このアンケート調査は立命館大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。

問1 あなたが現在お住まいの都道府県をお答えください。（あてはまる番号を記入）

番号記入欄 [　　]

【北海道・東北】　１．北海道　２．青森県　３．岩手県　４．宮城県　５．秋田県　６．山形県　７．福島県
【関東】　８．茨城県　９．栃木県　１０．群馬県　１１．埼玉県　１２．千葉県　１３．東京都　１４．神奈川県
【北陸・甲信越】　１５．新潟県　１６．富山県　１７．石川県　１８．福井県　１９．山梨県　２０．長野県
【東海】　２１．岐阜県　２２．静岡県　２３．愛知県　２４．三重県
【近畿】　２５．滋賀県　２６．京都府　２７．大阪府　２８．兵庫県　２９．奈良県　３０．和歌山県
【中国】　３１．鳥取県　３２．島根県　３３．岡山県　３４．広島県　３５．山口県
【四国】　３６．徳島県　３７．香川県　３８．愛媛県　３９．高知県
【九州・沖縄】　４０．福岡県　４１．佐賀県　４２．長崎県　４３．熊本県　４４．大分県　４５．宮崎県　４６．鹿児島県　４７．沖縄県

問2 あなたの性別をお答えください。（あてはまるものに○）

１．男性　　２．女性

問3 あなたの興味のある学問分野をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

１．文学・史学・地理学	２．哲学・心理学	３．外国語学
４．国際関係学	５．教育・教員養成	６．法学・政治学
７．経済・経営・商学	８．社会・社会福祉	９．教養・総合分野
１０．理学	１１．工学	１２．農・獣医畜産・水産
１３．医学	１４．歯学	１５．薬学
１６．看護学	１７．医療・保健学（看護以外）	１８．栄養学・家政・生活科学
１９．体育・健康科学	２０．芸術	２１．その他（　　）

問4 あなたの<u>高校卒業後</u>の希望進路についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

１．大学	２．短期大学	３．専門学校
４．就職	５．その他（　　）	

問5 あなたが<u>将来</u>、希望する進路をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

１．一般企業	２．公務員	３．教員
４．研究・技術職	５．資格を活かす職業	６．企業・会社経営
７．大学院進学	８．まだ決めていない	９．その他（　　）

問６以降に答える前に、以下の「立命館大学 食科学部の概要」をお読みください。

「食」を俯瞰的に捉え、「食」に関する人文科学、社会科学、自然科学を総合的に関連づけて理解することで、食科学および社会に関する深い知見と教養と倫理的な態度を備え、社会において実践的な行動力を発揮できる人材を育成。

立命館大学 びわこ・くさつキャンパス 食科学部 設置構想中

学部の概要

開設時期：　2018年4月（予定）
開設場所：　立命館大学 びわこ・くさつキャンパス（滋賀県草津市野路東1丁目1-1）
修業年限：　4年
入学定員：　320名 ※予定（収容定員：1,280名 ※予定）
取得学位：　学士（食科学）

養成する人材

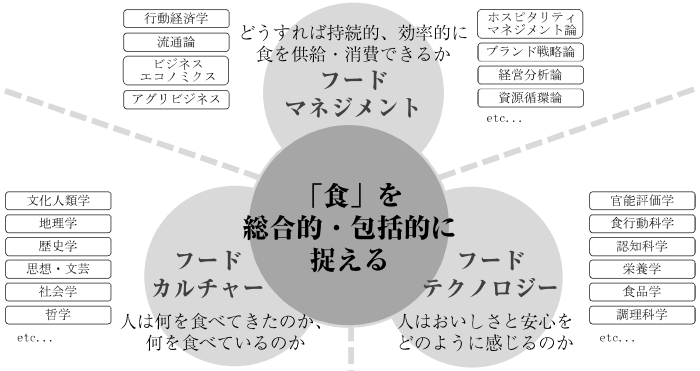
食科学部の人材育成目的を実現するため、「食」に関わる生産から消費に至る一連の現象を相互に関連付け、総合的な視点で課題を設定し、その解決に向けて他者と協働しながら、主体的に取り組むことができる能力を養成するという教育目標を設定する。具体的には以下の観点である。

①「食」に関する国内外の諸事象にたいする広い関心から、それらを相互に関連付けようとする意欲と態度を持つ（関心・意欲・態度）。
②　経済学・経営学、人文科学、自然科学の視点から「食」に関する国内外の諸事象を関連付けて理解できる（知識・理解）。
③「食」に関する国内外の課題を発見・設定し、その課題に向けて社会での実践的な行動に移すことができる（技能・表現）。
④「食」に関する国内外の課題解決のために、倫理的な態度と責任感を持って、他者とコミュニケーションを取りながら協働できる（技能・表現）。
⑤「食」に関する多様な考え方を関連付けて理解・分析した上で、自分の考えを明確にして発信することができる（思考・判断）。

学びの特長

社会、ビジネス、文化、「食」から広がる学びのフィールド

経済学・経営学の基礎を身につけ、グローバル化する「食」の供給・消費の仕組みや地域の役割を体系的に理解するとともに、社会にとって最適な政策や、「食」に関する組織や企業のあるべき姿、先端の経営技法を学びます。



日本や世界の食行動を文化的、地理的、歴史的な視点から学び、食の多様性と奥深さを知るとともに、「食」と人の織り成すさまざまな文化を理解します。学びを通じて世界に触れ、異文化理解力と外国語コミュニケーション力も磨きます。

官能評価学や認知科学の側面と、栄養学や調理科学の側面から、「食」にアプローチ。人が安全においしく食べるとはどういうことか について科学的に理解することで、新たな「食」の可能性を開く素養を身につけます。

特長1　グローバルに広がる学び

英語に加えて、イタリア語やフランス語、中国語など充実した外国語教育を展開。ヨーロッパやオーストラリアなどの提携大学も含めて、海外で学ぶ機会を豊富に用意しています。

特長2　社会での学び

自治体やJA、商店、食関連の企業、地域住民と現実の問題解決に挑むプロジェクト科目を用意。実践を通じてアクティブに学びます。

特長3　アクティブな学び

問題発見・課題解決の力を養うプロジェクト・ベースト・ラーニング（PBL）教育を展開。プレゼン力やディスカッション力も鍛えます。

想定される進路

海外キャリアの道
- 企業の海外展開部門
- 商社の海外ビジネス部門
- 外資系企業
- 北米、欧州、豪州のMBA

商品開発・経営企画・マネージャーへの道
- 商品開発部門
- 経営企画部門
- シンクタンク
- コンサルティング企業
- ホスピタリティ産業（観光、宿泊、飲食、運輸等）におけるマネジメント職

公務員、公的機関への道
- 国家公務員
- 地方公務員
- 国内外NPO・NGO
- 協同組合
- 業界団体

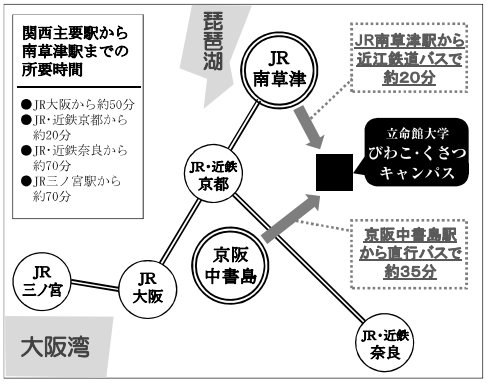
初年次学費（他大学含む）

（円）

大学名／学部名（所在地）	初年次納付金（入学金・授業料等の合計）
立命館大学／食科学部（滋賀県草津市野路東1丁目1-1）	1,250,000～1,400,000 程度を予定
公立大学法人　宮城大学／食産業学部（仙台市太白区旗立二丁目2番1号）	1,155,860（県外生の場合）
日本大学／生物資源科学部 食品ビジネス学科（神奈川県藤沢市亀井野1866）	1,380,000

※ 立命館大学 食科学部の学費は予定のものです。
※ 他大学の学費は各大学ホームページ掲載情報です（平成28年5月時点）。
※ いずれの大学も諸会費を含みません。

主要駅からのアクセス



※2016年5月1日時点の構想内容です（今後変更となる場合があります）。

以下の問６～７は、2ページの「立命館大学 食科学部の概要」をご覧の上でお答えください。

問6 **あなたは立命館大学が設置構想中の「食科学部」に興味がありますか。**
（あてはまるもの１つに○）

1．興味がある
2．少し興味がある
3．あまり興味がない
4．全く興味がない

問7 **あなたは立命館大学が設置構想中の「食科学部」を受験したいと思いますか。**
（あてはまるもの１つに○）

1．受験したい ⟶ １の方は **問8** **問9** **問10** にお答えください。
2．受験しない ⟶ ２の方は **問11** **問12** にお答えください。

以下の問８～10は、問７で「１．受験したい」を選択した方がお答えください。

問8 **あなたは立命館大学が設置構想中の「食科学部」に合格した場合、入学したいと思いますか。**
（あてはまるもの１つに○）

1．合格した場合、入学したい
2．合格した場合、併願大学の結果によっては入学したい

２の方は、検討中の併願先をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

1．国公立大学　　2．立命館大学以外の私立大学
3．立命館大学の他学部・学科（ 学部・学科名：　　）
※学部の一覧を確認したい場合、問12をご覧ください。
4．その他（　　）

問9 **立命館大学が設置構想中の「食科学部」では「食」を総合的・包括的に捉えるため、以下の３つの学びの領域を設ける予定です。あなたが興味のある領域をすべてお選びください。**
（あてはまるものすべてに○）

1．フードマネジメント　　2．フードカルチャー　　3．フードテクノロジー

問10 **立命館大学が設置構想中の「食科学部」では「食」に関するグローバルな視点を養うため、第一外国語（英語）のほか、以下の科目を第二外国語として設ける予定です。あなたが最も興味のある科目をお選びください。**
（あてはまるもの１つに○）

1．イタリア語　　2．フランス語　　3．中国語
4．スペイン語　　5．朝鮮語

以下の問11～12は、問7で「2．受験しない」を選択した方がお答えください。

問11 **あなたが立命館大学が設置構想中の「食科学部」を「受験しない」と回答された理由をお答えください。（あてはまるものすべてに○）**

1．興味・関心のある分野ではないから
2．国公立大学への進学を強く希望しているから
3．他の私立大学への進学を強く希望しているから
4．興味・関心のある分野だが、新たに設置される学部への進学は不安だから
5．通学が不便そうだから
6．学費が高いから
7．大学進学はしない（短期大学・専門学校に進学、就職を希望）
8．その他、理由があればお書きください。

〔　　〕

問12 **立命館大学において、あなたが現時点で受験したい学部があればお答えください。（あてはまるものすべてに○）**

【びわこ・くさつキャンパス】（草津市）

1．経済学部	2．理工学部	3．情報理工学部
4．生命科学部	5．薬学部	6．スポーツ健康科学部

【大阪いばらきキャンパス】（茨木市）

7．経営学部	8．政策科学部	9．総合心理学部

【衣笠キャンパス】（京都市）

10．法学部	11．産業社会学部	12．国際関係学部
13．文学部	14．映像学部	

質問は以上となります。ご協力いただきありがとうございました。

別添②

「立命館大学の附属高校４校にて実施した

高校生アンケート調査　用紙」

（附）

立命館大学 びわこ・くさつキャンパス 食科学部

2018年4月開設に向け **設置構想中**

設置構想についての高校生アンケート調査

（対象：2016年度現在、高校2年生の皆さん）

立命館大学（本部：京都府京都市中京区西ノ京朱雀町１）は2018年4月、びわこ・くさつキャンパス（滋賀県草津市）に食科学部（入学定員320名）の設置を構想しています。本学ではこのアンケート調査を通して、2018年に大学進学時期を迎える現・高校２年生の皆さんからさまざまなご意見をお聞きし、構想内容に少しでも反映したいと考えています。

なお、回答いただいた皆さんから得られた情報は立命館大学の食科学部の設置構想に係る統計資料としてのみ活用いたします。

高校生の皆さんのアンケート調査へのご協力を、よろしくお願いいたします。

※このアンケート調査は立命館大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。

問1 あなたが現在お住まいの都道府県をお答えください。（あてはまる番号を記入）

番号記入欄 [　　]

【北海道・東北】 １．北海道　２．青森県　３．岩手県　４．宮城県　５．秋田県　６．山形県　７．福島県
【関東】 ８．茨城県　９．栃木県　１０．群馬県　１１．埼玉県　１２．千葉県　１３．東京都　１４．神奈川県
【北陸・甲信越】 １５．新潟県　１６．富山県　１７．石川県　１８．福井県　１９．山梨県　２０．長野県
【東海】 ２１．岐阜県　２２．静岡県　２３．愛知県　２４．三重県
【近畿】 ２５．滋賀県　２６．京都府　２７．大阪府　２８．兵庫県　２９．奈良県　３０．和歌山県
【中国】 ３１．鳥取県　３２．島根県　３３．岡山県　３４．広島県　３５．山口県
【四国】 ３６．徳島県　３７．香川県　３８．愛媛県　３９．高知県
【九州・沖縄】 ４０．福岡県　４１．佐賀県　４２．長崎県　４３．熊本県　４４．大分県　４５．宮崎県　４６．鹿児島県　４７．沖縄県

問2 あなたの性別をお答えください。（あてはまるものに○）

１．男性　　２．女性

問3 あなたの興味のある学問分野をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

１．文学・史学・地理学	２．哲学・心理学	３．外国語学
４．国際関係学	５．教育・教員養成	６．法学・政治学
７．経済・経営・商学	８．社会・社会福祉	９．教養・総合分野
１０．理学	１１．工学	１２．農・獣医畜産・水産
１３．医学	１４．歯学	１５．薬学
１６．看護学	１７．医療・保健学（看護以外）	１８．栄養学・家政・生活科学
１９．体育・健康科学	２０．芸術	２１．その他（　　）

問4 あなたの<u>高校卒業後</u>の希望進路についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

１．大学	２．短期大学	３．専門学校
４．就職	５．その他（　　）	

問5 あなたが<u>将来</u>、希望する進路をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

１．一般企業	２．公務員	３．教員
４．研究・技術職	５．資格を活かす職業	６．企業・会社経営
７．大学院進学	８．まだ決めていない	９．その他（　　）

問６以降に答える前に、以下の「立命館大学 食科学部の概要」をお読みください。

「食」を俯瞰的に捉え、「食」に関する人文科学、社会科学、自然科学を総合的に関連づけて理解することで、食科学および社会に関する深い知見と教養と倫理的な態度を備え、社会において実践的な行動力を発揮できる人材を育成。

立命館大学 びわこ・くさつキャンパス 食科学部 設置構想中

学部の概要

開設時期：　2018年4月（予定）
開設場所：　立命館大学 びわこ・くさつキャンパス（滋賀県草津市野路東1丁目1-1）
修業年限：　4年
入学定員：　320名 ※予定（収容定員：1,280名 ※予定）
取得学位：　学士（食科学）

養成する人材

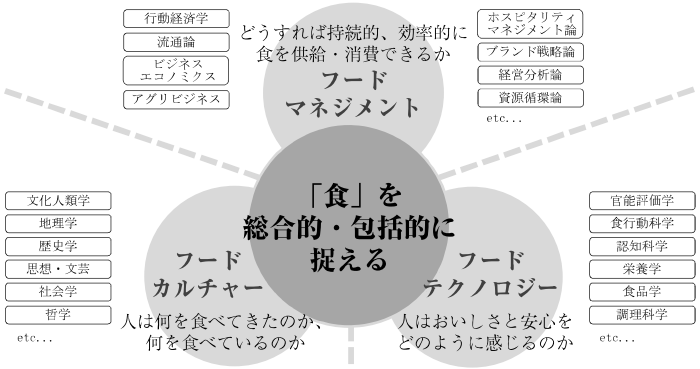
食科学部の人材育成目的を実現するため、「食」に関わる生産から消費に至る一連の現象を相互に関連付け、総合的な視点で課題を設定し、その解決に向けて他者と協働しながら、主体的に取り組むことができる能力を養成するという教育目標を設定する。具体的には以下の観点である。

①「食」に関する国内外の諸事象にたいする広い関心から、それらを相互に関連付けようとする意欲と態度を持つ（関心・意欲・態度）。
② 経済学・経営学、人文科学、自然科学の視点から「食」に関する国内外の諸事象を関連付けて理解できる（知識・理解）。
③「食」に関する国内外の課題を発見・設定し、その課題に向けて社会での実践的な行動に移すことができる（技能・表現）。
④「食」に関する国内外の課題解決のために、倫理的な態度と責任感を持って、他者とコミュニケーションを取りながら協働できる（技能・表現）。
⑤「食」に関する多様な考え方を関連付けて理解・分析した上で、自分の考えを明確にして発信することができる（思考・判断）。

学びの特長

社会、ビジネス、文化、「食」から広がる学びのフィールド

経済学・経営学の基礎を身につけ、グローバル化する「食」の供給・消費の仕組みや地域の役割を体系的に理解するとともに、社会にとって最適な政策や、「食」に関する組織や企業のあるべき姿、先端の経営技法を学びます。



日本や世界の食行動を文化的、地理的、歴史的な視点から学び、食の多様性と奥深さを知るとともに、「食」と人の織り成すさまざまな文化を理解します。学びを通じて世界に触れ、異文化理解力と外国語コミュニケーション力も磨きます。

官能評価学や認知科学の側面と、栄養学や調理科学の側面から、「食」にアプローチ。人が安全においしく食べるとはどういうことか について科学的に理解することで、新たな「食」の可能性を開く素養を身につけます。

特長1 グローバルに広がる学び

英語に加えて、イタリア語やフランス語、中国語など充実した外国語教育を展開。ヨーロッパやオーストラリアなどの提携大学も含めて、海外で学ぶ機会を豊富に用意しています。

特長2 社会での学び

自治体やJA、商店、食関連の企業、地域住民と現実の問題解決に挑むプロジェクト科目を用意。実践を通じてアクティブに学びます。

特長3 アクティブな学び

問題発見・課題解決の力を養うプロジェクト・ベースト・ラーニング（PBL）教育を展開。プレゼン力やディスカッション力も鍛えます。

想定される進路

海外キャリアの道

- 企業の海外展開部門
- 商社の海外ビジネス部門
- 外資系企業
- 北米、欧州、豪州のMBA

商品開発・経営企画・マネージャーへの道

- 商品開発部門
- 経営企画部門
- シンクタンク
- コンサルティング企業
- ホスピタリティ産業（観光、宿泊、飲食、運輸等）におけるマネジメント職

公務員、公的機関への道

- 国家公務員
- 地方公務員
- 国内外NPO・NGO
- 協同組合
- 業界団体

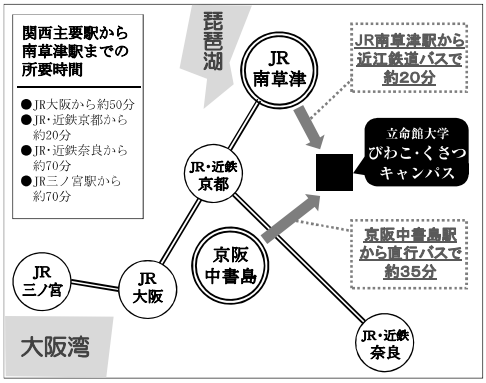
初年次学費（他大学含む）

（円）

大学名／学部名（所在地）	初年次納付金（入学金・授業料等の合計）
立命館大学／食科学部（滋賀県草津市野路東1丁目1-1）	1,250,000～1,400,000 程度を予定
公立大学法人 宮城大学／食産業学部（仙台市太白区旗立二丁目2番1号）	1,155,860（県外生の場合）
日本大学／生物資源科学部 食品ビジネス学科（神奈川県藤沢市亀井野1866）	1,380,000

※ 立命館大学 食科学部の学費は予定のものです。
※ 他大学の学費は各大学ホームページ掲載情報です（平成28年5月時点）。
※ いずれの大学も諸会費を含みません。

主要駅からのアクセス



※2016年5月1日時点の構想内容です（今後変更となる場合があります）。

以下の問６～７は、2ページの「立命館大学 食科学部の概要」をご覧の上でお答えください。

問6 **あなたは立命館大学が設置構想中の「食科学部」に興味がありますか。**
（あてはまるもの１つに○）

1. 興味がある
2. 少し興味がある
3. あまり興味がない
4. 全く興味がない

問7 **あなたは立命館大学が設置構想中の「食科学部」に進学したいと思いますか。**
（あてはまるもの１つに○）

1. 進学したい ⟶ １の方は **問8** **問9** にお答えください。
2. 進学しない ⟶ ２の方は **問10** **問11** にお答えください。

以下の問８～９は、問７で「１．進学したい」を選択した方がお答えください。

問8 **立命館大学が設置構想中の「食科学部」では「食」を総合的・包括的に捉えるため、以下の３つの学びの領域を設ける予定です。あなたが興味のある領域をすべてお選びください。**
（あてはまるものすべてに○）

1. フードマネジメント　　2. フードカルチャー　　3. フードテクノロジー

問9 **立命館大学が設置構想中の「食科学部」では「食」に関するグローバルな視点を養うため、第一外国語（英語）のほか、以下の科目を第二外国語として設ける予定です。あなたが最も興味のある科目をお選びください。**
（あてはまるもの１つに○）

1. イタリア語　　2. フランス語　　3. 中国語
4. スペイン語　　5. 朝鮮語

以下の問10、４ページの問11は、問７で「２．進学しない」を選択した方がお答えください。

問10 **あなたが立命館大学が設置構想中の「食科学部」に「進学しない」と回答された理由をお答えください。（あてはまるものすべてに○）**

1. 興味・関心のある分野ではないから
2. 国公立大学への進学を強く希望しているから
3. 他の私立大学への進学を強く希望しているから
4. 興味・関心のある分野だが、新たに設置される学部への進学は不安だから
5. 通学が不便そうだから
6. 学費が高いから
7. 大学進学はしない（短期大学・専門学校に進学、就職を希望）
8. その他、理由があればお書きください。

〔　　〕

問11　**立命館大学において、あなたが現時点で進学したい学部があればお答えください。**
（あてはまるものすべてに○）

【びわこ・くさつキャンパス】（草津市）

１．　経済学部	２．　理工学部	３．　情報理工学部
４．　生命科学部	５．　薬学部	６．　スポーツ健康科学部

【大阪いばらきキャンパス】（茨木市）

７．　経営学部	８．　政策科学部	９．　総合心理学部

【衣笠キャンパス】（京都市）

１０．　法学部	１１．　産業社会学部	１２．　国際関係学部
１３．　文学部	１４．　映像学部	

質問は以上となります。ご協力いただきありがとうございました。

Ⅰ．　１．書類等の題名

「学生の確保の見通し等を記載した書類　資料」　102 ページから 131 ページ

２．出典

経済解析室（経済産業省）飲食関連産業の動向（FBI：2016 年第４四半期）

３．引用範囲

http://www.meti.go.jp/statistics/toppage/report/minikeizai/pdf/h2amini074j.pdf

（１ページから 29 ページ）

学校法人立命館 御中

資料7

食マネジメント学部卒業生に対する企業採用意向
調査報告書

2017年5月

合同会社　オンサイドマーケティング

Copyright © 2017 Onside Marketing. All Rights Reserved

■調査概要

■調査目的	：	新設する食マネジメント学部に対する企業側の必要性を把握する。 ①食マネジメント学部は企業から必要だと感じられるか。 ②食マネジメント学部出身者を企業は採用したいと感じるか。
■調査対象	：	マクロミルモニタ　20～59歳　男女
■調査地域	：	全国
■調査方法	：	インターネットリサーチ
■調査時期	：	【事前調査】　2017年4月24日（月）～4月25日（火） 【本調査】　2017年4月26日（水）～4月27日（木）
■有効回答数	：	【事前調査】　138,856サンプル （全国　20～59歳　男女） 【本調査】　412サンプル （規模が50名以上の企業で、人事・労務に所属する採用従事者）
■調査実施機関	：	合同会社オンサイドマーケティング

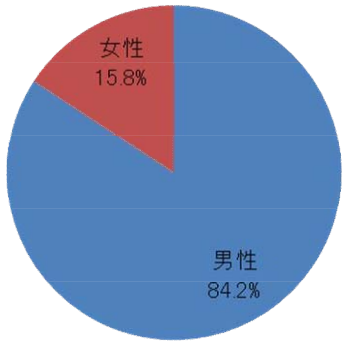
Copyright © 2017 Onside Marketing. All Rights Reserved

調査対象者属性

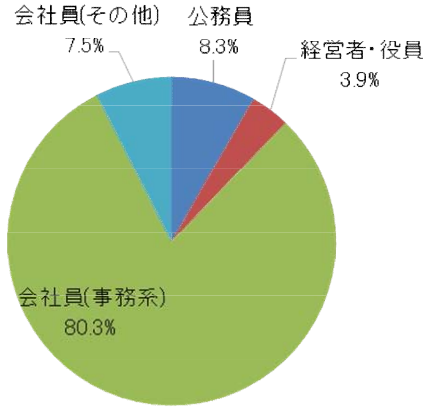
Copyright © 2017 Onside Marketing. All Rights Reserved

■本調査対象者（n=412）の属性①

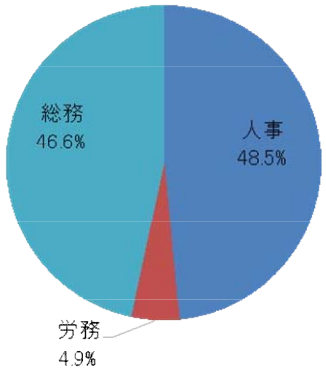
■ 性別



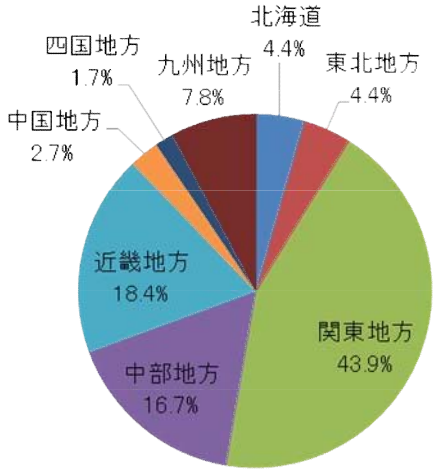
■ 職業



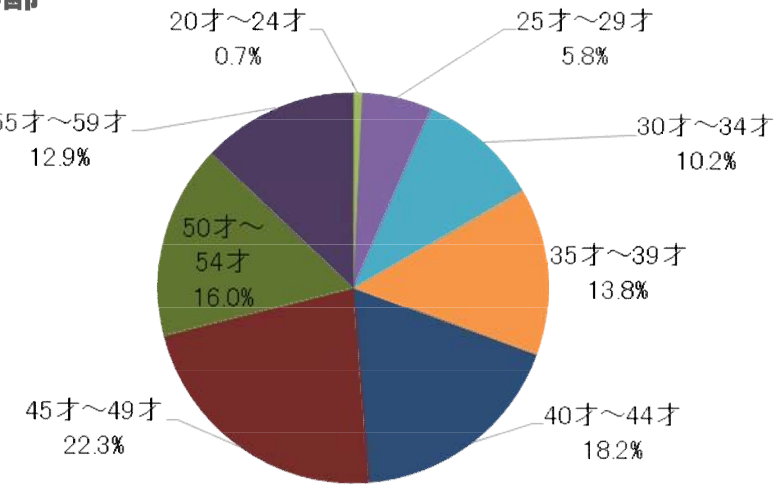
■ 職種



■ 地域



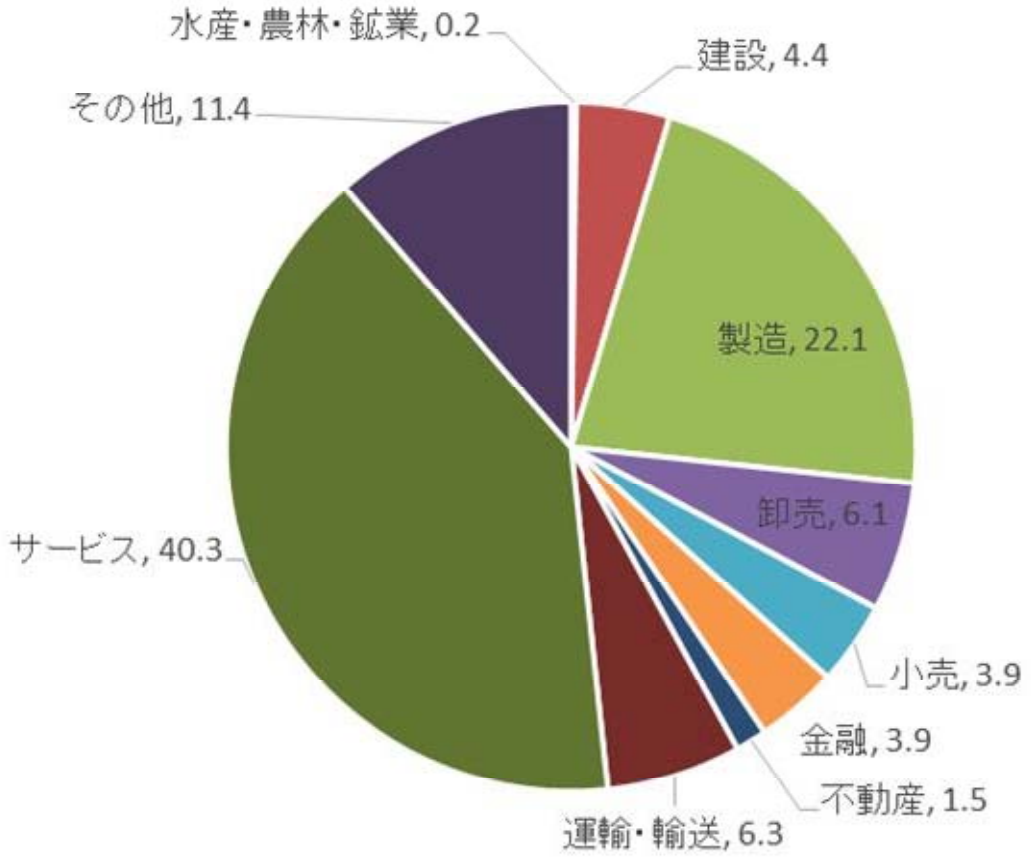
■ 年齢



Copyright © 2017 Onside Marketing. All Rights Reserved

■本調査対象者（n=412）の属性②

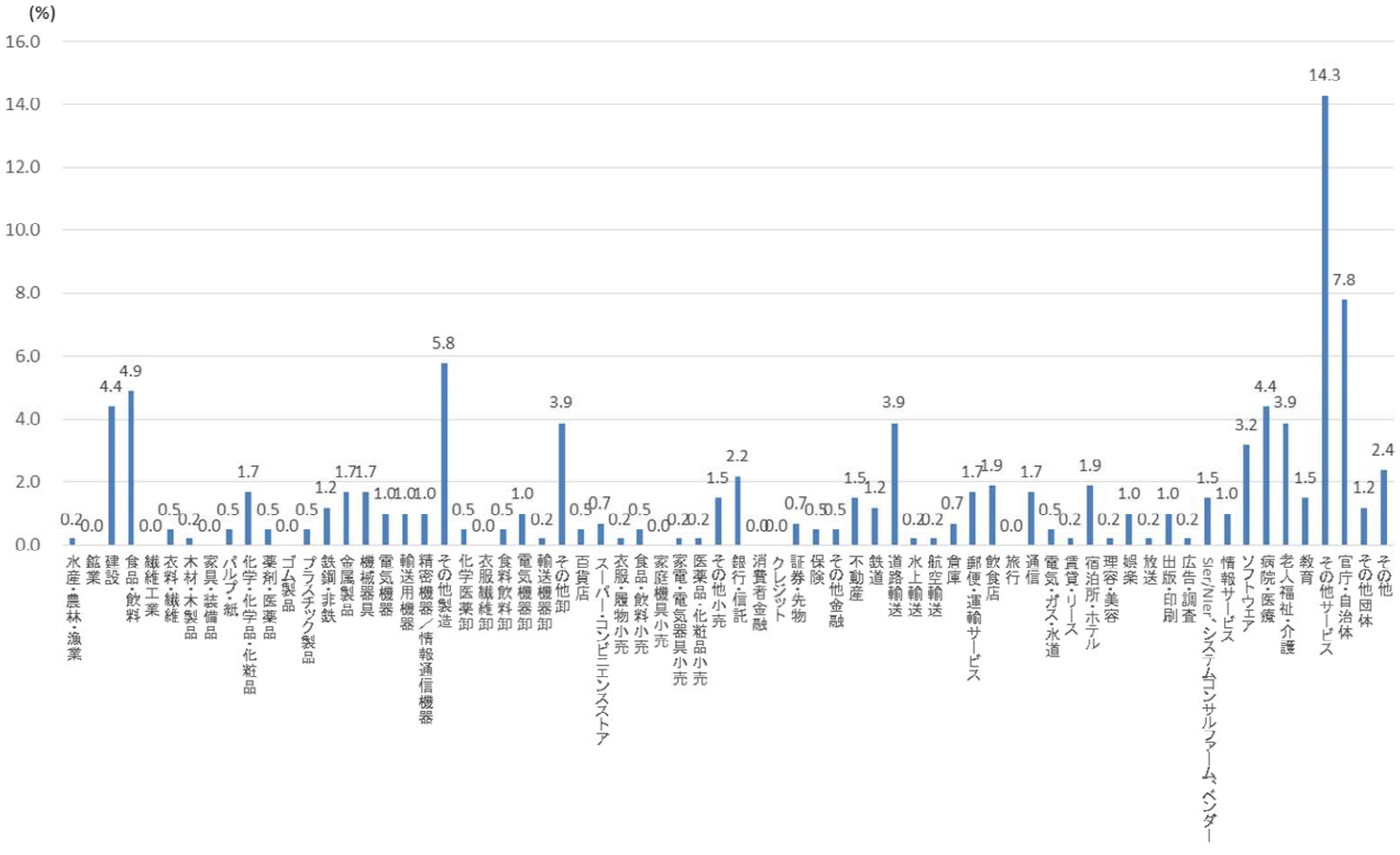
■ 業種
※大分類による集計表示



Copyright © 2017 Onside Marketing. All Rights Reserved

■本調査対象者（n=412）の属性③

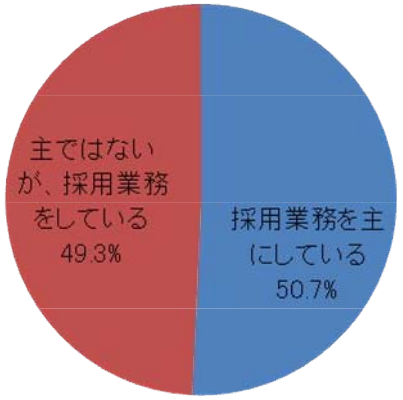
■ 業種（中分類）
※全体に対するパーセンテージをグラフ表示



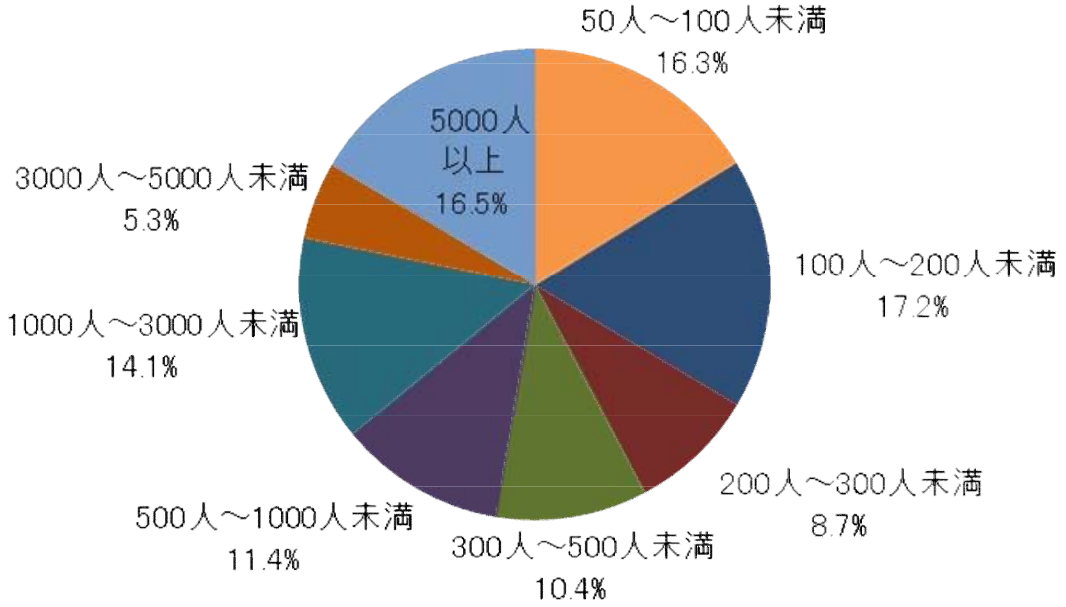
Copyright © 2017 Onside Marketing. All Rights Reserved

■本調査対象者（n=412）の属性④

■ 採用業務への関与度



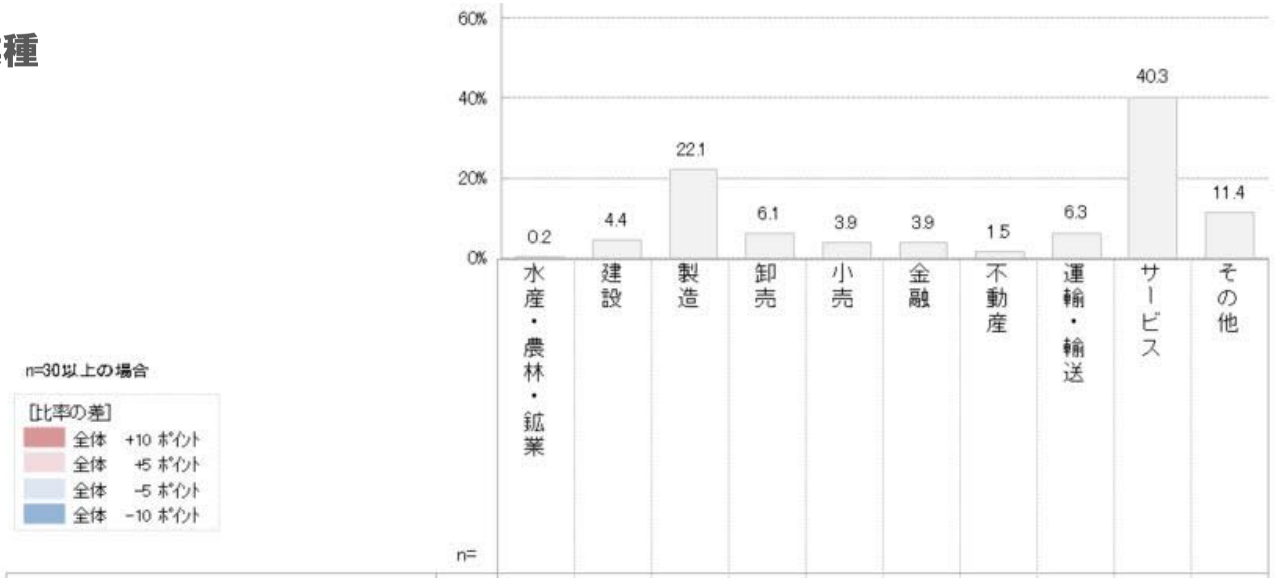
■ 勤務先企業の従業員数



Copyright © 2017 Onside Marketing. All Rights Reserved

■本調査対象者（n=412）の属性⑤

■ 従業員数X業種



		n=	水産・農林・鉱業	建設	製造	卸売	小売	金融	不動産	運輸・輸送	サービス	その他
全体		(412)	0.2	4.4	22.1	6.1	3.9	3.9	1.5	6.3	40.3	11.4
	50人～100人未満	(67)	1.5	7.5	14.9	3.0	7.5	0.0	1.5	9.0	44.8	10.4
	100人～200人未満	(71)	0.0	5.6	26.8	8.5	4.2	1.4	0.0	5.6	38.0	9.9
	200人～300人未満	(36)	0.0	8.3	19.4	11.1	2.8	2.8	0.0	5.6	44.4	5.6
	300人～500人未満	(43)	0.0	7.0	16.3	7.0	4.7	2.3	2.3	7.0	46.5	7.0
	500人～1000人未満	(47)	0.0	2.1	29.8	4.3	2.1	2.1	6.4	4.3	31.9	17.0
	1000人～3000人未満	(58)	0.0	0.0	17.2	8.6	5.2	10.3	0.0	1.7	46.6	10.3
	3000人～5000人未満	(22)	0.0	4.5	31.8	0.0	0.0	4.5	0.0	4.5	50.0	4.5
	5000人以上	(68)	0.0	1.5	25.0	4.4	1.5	7.4	1.5	10.3	29.4	19.1

Copyright © 2017 Onside Marketing. All Rights Reserved

調査結果【要約】

Copyright © 2017 Onside Marketing. All Rights Reserved

総括

食マネジメント学部に対する社会的必要性、また卒業生に対する採用意向について検証すべく、外部機関である、合同会社オンサイドマーケティング（所在地：東京都三鷹市）が調査を実施した。

調査の方法は、前頁の通り規模が50名以上の企業で、人事・総務に所属する採用担当者を対象としたインターネットリサーチによる。
調査期間について、
　事前調査：　2017年4月24日（月）～4月25日（火）
　本調査：　2017年4月26日（水）～4月27日（木）
に行った。

【社会的必要性について】
本調査回答者412名（属性は前頁）のうち、本学部の社会的必要性について「必要だと思う」、「どちらかといえば必要だと思う」が過半数の51．7%。また、300人以上の企業規模を持つ採用担当者に限定して集計すると、57．38%が本学部の設置を必要としている。ここから食マネジメント学部の社会的な必要性は認められている、といえる。

【卒業生の採用意向について】
食マネジメント学部を卒業した学生を採用する可能性を尋ねた結果、「是非採用したい」、「採用を検討したい」を合わせ、本学部の必要性について36．4%が必要と考えている。さらに、300人以上の企業規模を持つ採用担当者に限定して集計すると、43．02%が本学部の設置を必要としている。よって食マネジメント学部卒業生の社会的採用意向は高いといえる。

Copyright © 2017 Onside Marketing. All Rights Reserved

食マネジメント学部の社会的必要性

インターネットリサーチからみられる食マネジメント学部に対する社会的必要性は、次の通りである。

■社会的必要性について

回答者412名（属性は前頁）全体で、「必要だと思う」、「どちらかといえば必要だと思う」を合わせ、**本学部の必要性について51．7%が必要と考えている。**

さらに、300人以上の企業規模を持つ採用担当者に限定して集計すると、57．38%が本学部の設置を必要としており、規模の大きい企業からの評価が高い。

n=30以上の場合

［比率の差］
全体　+10 ポイント
全体　+5 ポイント
全体　-5 ポイント
全体　-10 ポイント

		n=	必要だと思う	どちらかといえば、必要だと思う	どちらかといえば、必要ではないと思う	必要ではないと思う	どちらとも言えない／分からない
全体		(412)	17.0	34.7	19.7	12.4	16.3
全体	5人未満	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5人～10人未満	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	10人～20人未満	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20人～30人未満	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30人～50人未満	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50人～100人未満	(67)	14.9	29.9	23.9	9.0	22.4
	100人～200人未満	(71)	9.9	32.4	22.5	14.1	21.1
	200人～300人未満	(36)	13.9	44.4	13.9	5.6	22.2
	300人～500人未満	(43)	11.6	46.5	14.0	14.0	14.0
	500人～1000人未満	(47)	25.5	23.4	25.5	10.6	14.9
	1000人～3000人未満	(58)	15.5	32.8	22.4	15.5	13.8
	3000人～5000人未満	(22)	31.8	40.9	13.6	9.1	4.5
	5000人以上	(68)	22.1	36.8	14.7	16.2	10.3
	わからない／答えたくない	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

57.38%

Copyright © 2017 Onside Marketing. All Rights Reserved

食マネジメント学部の卒業生採用意向

インターネットリサーチからみられる食マネジメント学部の卒業生採用意向は、次の通りである。

■卒業生採用意向について

回答者412名（属性は前頁）に対して本学部を卒業した学生を採用する可能性を尋ねた結果、「是非採用したい」、「採用を検討したい」を合わせ、**本学部の必要性について36．4%が必要と考えている。**

さらに、300人以上の企業規模を持つ採用担当者に限定して集計すると、43．02%が本学部の設置を必要としており、やはり規模の大きい企業からの評価が高い。

以上の通り、食マネジメント学部卒業生に対する採用意向は高いといえる。

なお、「どちらとも言えない／わからない」および「採用は検討しない」のうち、人物本位の方針をとり、学部の評価と採用意向の関連が低い回答者が、過半数を超える58．4%であった。（次頁参照）

n=30以上の場合

[比率の差]
全体 +10 ポイント
全体 +5 ポイント
全体 -5 ポイント
全体 -10 ポイント

		n=	是非採用したい	採用を検討したい	どちらとも言えない／分からない	採用は検討しない
全体		(412)	6.8	29.6	43.9	19.7
全体	5人未満	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
	5人～10人未満	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
	10人～20人未満	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
	20人～30人未満	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
	30人～50人未満	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
	50人～100人未満	(67)	3.0	23.9	50.7	22.4
	100人～200人未満	(71)	2.8	26.8	43.7	26.8
	200人～300人未満	(36)	8.3	27.8	52.8	11.1
	300人～500人未満	(43)	7.0	34.9	44.2	14.0
	500人～1000人未満	(47)	8.5	31.9	40.4	19.1
	1000人～3000人未満	(58)	6.9	34.5	41.4	17.2
	3000人～5000人未満	(22)	9.1	45.5	36.4	9.1
	5000人以上	(68)	11.8	25.0	39.7	23.5
	わからない／答えたくない	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0

43.02%

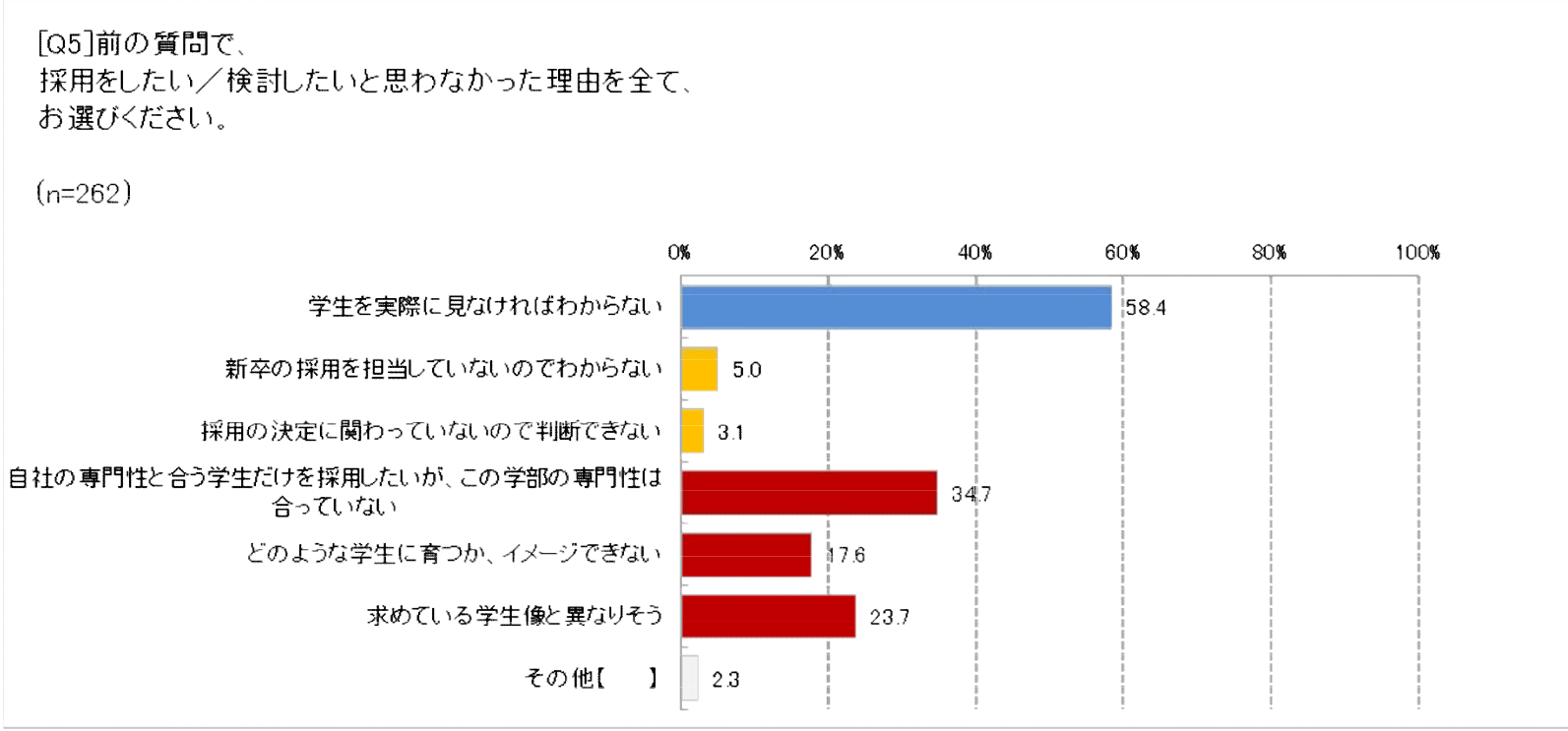
Copyright © 2017 Onside Marketing. All Rights Reserved

食マネジメント学部の卒業生採用意向　（補足）

■「どちらとも言えない／わからない」および「採用は検討しない」の理由

本学部を卒業した学生を採用する可能性について「どちらとも言えない／わからない」および「採用は検討しない」と答えた回答者に理由を聴取したところ、下記の通りとなった。

グラフ中、「学生を実際に見なければわからない」と答えた58．4%は、人物本位の採用を行っているため、そもそも採用意向に関して学部の専門性を問わない方針であった。



Copyright © 2017 Onside Marketing. All Rights Reserved

調査結果【詳細】

Copyright © 2017 Onside Marketing. All Rights Reserved

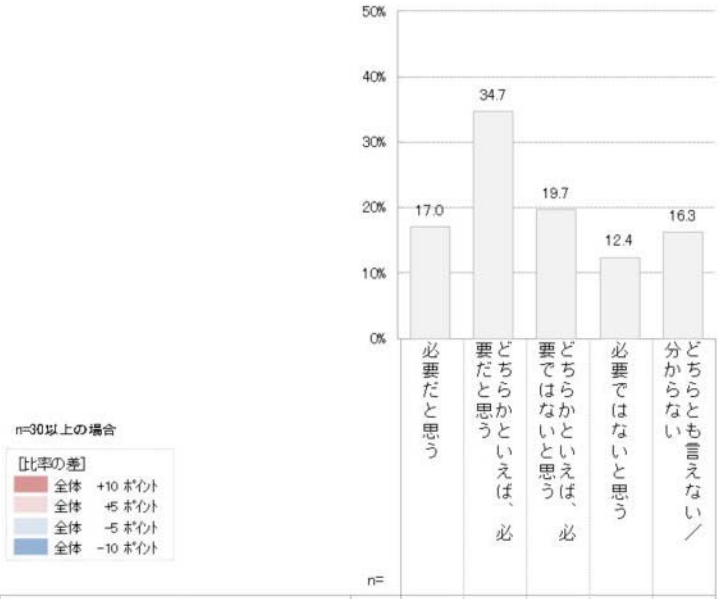
1．食マネジメント学部の必要性

＜クロス集計：　必要性　x　業種　x　採用を主とするか＞

※「業種　x　採用を主とするか」にて、n数が少なすぎるセグメントが存在しています。

（採用業務を主にしている場合）
- 業種で見た場合、**食が直接関係しそうな製造業やサービス業で、TOP2の値が高い**。
- 必要でないと思う、が30%を越えるのは、建設業、小売業となっている。

（主ではないが、採用業務をしている場合）
- **製造業、その他にて、TOP2の値が高い**
- 必要でないと思う、のBOTTOM1は業種通じて低い。主ではないため、採用基準が明確でないことも影響していると推定される。



	n=	必要だと思う	どちらかといえば、必要だと思う	どちらかといえば、必要ではないと思う	必要ではないと思う	どちらとも言えない／分からない
全体	(412)	17.0	34.7	19.7	12.4	16.3
採用業務を主にしている 水産・農林・鉱業	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
採用業務を主にしている 建設	(9)	22.2	11.1	11.1	33.3	22.2
採用業務を主にしている 製造	(48)	16.7	37.5	12.5	16.7	16.7
採用業務を主にしている 卸売	(12)	33.3	33.3	8.3	16.7	8.3
採用業務を主にしている 小売	(9)	0.0	44.4	11.1	33.3	11.1
採用業務を主にしている 金融	(9)	33.3	22.2	11.1	22.2	11.1
採用業務を主にしている 不動産	(2)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
採用業務を主にしている 運輸・輸送	(13)	30.8	30.8	15.4	15.4	7.7
採用業務を主にしている サービス	(86)	22.1	32.6	19.8	7.0	18.6
採用業務を主にしている その他	(21)	23.8	23.8	28.6	14.3	9.5
主ではないが、採用業務をしている 水産・農林・鉱業	(1)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
主ではないが、採用業務をしている 建設	(9)	0.0	33.3	44.4	0.0	22.2
主ではないが、採用業務をしている 製造	(43)	11.6	41.9	18.6	9.3	18.6
主ではないが、採用業務をしている 卸売	(13)	0.0	46.2	30.8	7.7	15.4
主ではないが、採用業務をしている 小売	(7)	14.3	0.0	28.6	14.3	42.9
主ではないが、採用業務をしている 金融	(7)	28.6	28.6	28.6	14.3	0.0
主ではないが、採用業務をしている 不動産	(4)	25.0	0.0	0.0	50.0	25.0
主ではないが、採用業務をしている 運輸・輸送	(13)	7.7	46.2	30.8	7.7	7.7
主ではないが、採用業務をしている サービス	(80)	12.5	35.0	22.5	12.5	17.5
主ではないが、採用業務をしている その他	(26)	19.2	46.2	11.5	7.7	15.4

Copyright © 2017 Onside Marketing.
All Rights Reserved

1．食マネジメント学部の必要性

＜クロス集計： 必要性 x 従業員数 x 採用を主とするか＞

- **従業員数200名以上の企業では、必要性が総じて高い傾向が見える。**
- 採用を主としているサンプルの方が、主ではないサンプルよりも必要性が総じて高い
- 採用を主としているサンプルで、規模が大きい企業ほど「必要だと思う」回答が多い。

n=30以上の場合

［比率の差］
全体 +10 ポイント
全体 +5 ポイント
全体 −5 ポイント
全体 −10 ポイント

		n=	必要だと思う	どちらかといえば、必要だと思う	どちらかといえば、必要ではないと思う	必要ではないと思う	どちらとも言えない／分からない
全体		(412)	17.0	34.7	19.7	12.4	16.3
全体	5人未満	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5人～10人未満	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	10人～20人未満	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20人～30人未満	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30人～50人未満	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50人～100人未満	(67)	14.9	29.9	23.9	9.0	22.4
	100人～200人未満	(71)	9.9	32.4	22.5	14.1	21.1
	200人～300人未満	(36)	13.9	44.4	13.9	5.6	22.2
	300人～500人未満	(43)	11.6	46.5	14.0	14.0	14.0
	500人～1000人未満	(47)	25.5	23.4	25.5	10.6	14.9
	1000人～3000人未満	(58)	15.5	32.8	22.4	15.5	13.8
	3000人～5000人未満	(22)	31.8	40.9	13.6	9.1	4.5
	5000人以上	(68)	22.1	36.8	14.7	16.2	10.3
	わからない／答えたくない	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

			必要だと思う	どちらかといえば、必要だと思う	どちらかといえば、必要ではないと思う	必要ではないと思う	どちらとも言えない／分からない
採用業務を主にしている		(209)	21.5	32.5	16.7	13.9	15.3
全体	5人未満	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5人～10人未満	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	10人～20人未満	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20人～30人未満	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30人～50人未満	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50人～100人未満	(34)	17.6	23.5	29.4	11.8	17.6
	100人～200人未満	(35)	8.6	40.0	14.3	14.3	22.9
	200人～300人未満	(16)	25.0	18.8	12.5	12.5	31.3
	300人～500人未満	(21)	19.0	47.6	9.5	19.0	4.8
	500人～1000人未満	(22)	36.4	22.7	22.7	9.1	9.1
	1000人～3000人未満	(30)	20.0	30.0	13.3	13.3	23.3
	3000人～5000人未満	(11)	36.4	27.3	18.2	18.2	0.0
	5000人以上	(40)	25.0	40.0	12.5	15.0	7.5
	わからない／答えたくない	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

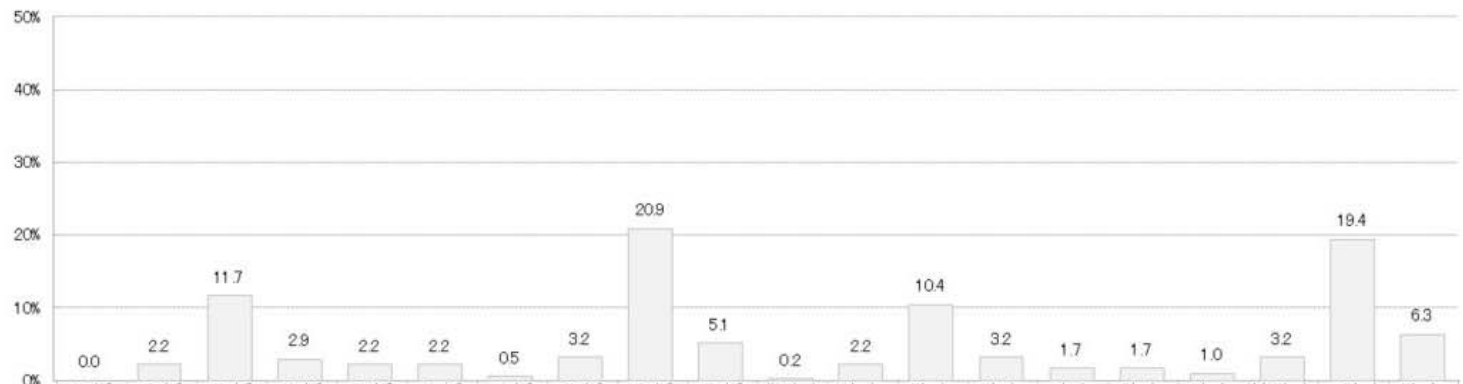
			必要だと思う	どちらかといえば、必要だと思う	どちらかといえば、必要ではないと思う	必要ではないと思う	どちらとも言えない／分からない
主ではないが、採用業務をしている		(203)	12.3	36.9	22.7	10.8	17.2
全体	5人未満	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5人～10人未満	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	10人～20人未満	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20人～30人未満	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30人～50人未満	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50人～100人未満	(33)	12.1	36.4	18.2	6.1	27.3
	100人～200人未満	(36)	11.1	25.0	30.6	13.9	19.4
	200人～300人未満	(20)	5.0	65.0	15.0	0.0	15.0
	300人～500人未満	(22)	4.5	45.5	18.2	9.1	22.7
	500人～1000人未満	(25)	16.0	24.0	28.0	12.0	20.0
	1000人～3000人未満	(28)	10.7	35.7	32.1	17.9	3.6
	3000人～5000人未満	(11)	27.3	54.5	9.1	0.0	9.1
	5000人以上	(28)	17.9	32.1	17.9	17.9	14.3
	わからない／答えたくない	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Copyright © 2017 Onside Marketing. All Rights Reserved

3．食マネジメント学部卒業生の採用意向

＜クロス集計： 採用意向 x 業種 x 担当を主とするか＞

- サービス業の採用主担当者では44．7%が採用意向を示している。
- **サービス業、製造業の主担当者で採用意向が強い。**
- 主担当者でない場合に、TOP1回答率が低く、中庸意見が多い傾向。



n=30以上の場合

[比率の差]
全体 +10 ポイント
全体 +5 ポイント
全体 -5 ポイント
全体 -10 ポイント

		n=	採用業務を主にしている水産・農林・鉱業	採用業務を主にしている建設	採用業務を主にしている製造	採用業務を主にしている卸売	採用業務を主にしている小売	採用業務を主にしている金融	採用業務を主にしている不動産	採用業務を主にしている運輸・輸送	採用業務を主にしているサービス	採用業務を主にしているその他	主ではないが、採用業務をしている農林・鉱業	主ではないが、採用業務をしている水産・	主ではないが、採用業務をしている建設	主ではないが、採用業務をしている製造	主ではないが、採用業務をしている卸売	主ではないが、採用業務をしている小売	主ではないが、採用業務をしている金融	主ではないが、採用業務をしている不動産	主ではないが、採用業務をしている運輸・輸送	主ではないが、採用業務をしているサービス	主ではないが、採用業務をしているその他
全体		(412)	0.0	2.2	11.7	2.9	2.2	2.2	0.5	3.2	20.9	5.1	0.2	2.2	10.4	3.2	1.7	1.7	1.0	3.2	19.4	6.3
採用することに学生を、学生を得て卒業したトの内容で学び	是非採用したい	(28)	0.0	0.0	25.0	3.6	0.0	3.6	0.0	0.0	25.0	10.7	0.0	0.0	10.7	0.0	0.0	3.6	0.0	3.6	7.1	7.1
	採用を検討したい	(122)	0.0	3.3	9.0	4.9	3.3	3.3	0.8	4.9	19.7	4.9	0.0	2.5	9.8	4.1	0.0	1.6	0.8	2.5	17.2	7.4
	どちらとも言えない／分からない	(181)	0.0	2.2	8.8	1.7	1.7	1.1	0.6	1.7	19.9	5.0	0.6	2.8	12.2	3.3	2.2	1.7	1.1	2.2	24.3	7.2
	採用は検討しない	(81)	0.0	1.2	17.3	2.5	2.5	2.5	0.0	4.9	23.5	3.7	0.0	1.2	7.4	2.5	3.7	1.2	1.2	6.2	16.0	2.5

Copyright © 2017 Onside Marketing. All Rights Reserved

3．食マネジメント学部卒業生の採用意向

＜クロス集計：採用意向 x 従業員数 x 担当を主とするか＞

- 従業員数の多い企業の方が採用意向が高い。**300人以上の企業で採用意向が高い**傾向がある。
- 特に3000人～5000人の企業の採用担当者では、54．6%が採用を検討する意向がある。

n=30以上の場合
[比率の差]
全体 +10 ポイント
全体 +5 ポイント
全体 -5 ポイント
全体 -10 ポイント

		n=	是非採用したい	採用を検討したい	どちらとも言えない／分からない	採用は検討しない
全体		(412)	6.8	29.6	43.9	19.7
全体	5人未満	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
	5人～10人未満	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
	10人～20人未満	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
	20人～30人未満	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
	30人～50人未満	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
	50人～100人未満	(67)	3.0	23.9	50.7	22.4
	100人～200人未満	(71)	2.8	26.8	43.7	26.8
	200人～300人未満	(36)	8.3	27.8	52.8	11.1
	300人～500人未満	(43)	7.0	34.9	44.2	14.0
	500人～1000人未満	(47)	8.5	31.9	40.4	19.1
	1000人～3000人未満	(58)	6.9	34.5	41.4	17.2
	3000人～5000人未満	(22)	9.1	45.5	36.4	9.1
	5000人以上	(68)	11.8	25.0	39.7	23.5
	わからない／答えたくない	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0

			是非採用したい	採用を検討したい	どちらとも言えない／分からない	採用は検討しない
全体		(209)	9.1	31.6	36.8	22.5
採用業務を主にしている	5人未満	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
	5人～10人未満	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
	10人～20人未満	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
	20人～30人未満	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
	30人～50人未満	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
	50人～100人未満	(34)	0.0	26.5	44.1	29.4
	100人～200人未満	(35)	5.7	28.6	37.1	28.6
	200人～300人未満	(16)	18.8	12.5	50.0	18.8
	300人～500人未満	(21)	4.8	47.6	38.1	9.5
	500人～1000人未満	(22)	18.2	36.4	27.3	18.2
	1000人～3000人未満	(30)	10.0	36.7	33.3	20.0
	3000人～5000人未満	(11)	18.2	27.3	36.4	18.2
	5000人以上	(40)	10.0	32.5	32.5	25.0
	わからない／答えたくない	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0

			是非採用したい	採用を検討したい	どちらとも言えない／分からない	採用は検討しない
全体		(203)	4.4	27.6	51.2	16.7
主ではないが、採用業務をしている	5人未満	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
	5人～10人未満	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
	10人～20人未満	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
	20人～30人未満	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
	30人～50人未満	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
	50人～100人未満	(33)	6.1	21.2	57.6	15.2
	100人～200人未満	(36)	0.0	25.0	50.0	25.0
	200人～300人未満	(20)	0.0	40.0	55.0	5.0
	300人～500人未満	(22)	9.1	22.7	50.0	18.2
	500人～1000人未満	(25)	0.0	28.0	52.0	20.0
	1000人～3000人未満	(28)	3.6	32.1	50.0	14.3
	3000人～5000人未満	(11)	0.0	63.6	36.4	0.0
	5000人以上	(28)	14.3	14.3	50.0	21.4
	わからない／答えたくない	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0

Copyright © 2017 Onside Marketing. All Rights Reserved

４．食マネジメント学部卒業生への興味

＜クロス集計：興味 x 従業員数 x 担当を主とするか＞

- 300人以上の会社で、興味が高い傾向がみられる。
- 特に3000人～5000人の企業の採用担当者では、72．7%が卒業生に興味を示している。

n=30以上の場合

[比率の差]
全体 +10 ポイント
全体 +5 ポイント
全体 -5 ポイント
全体 -10 ポイント

		n=	とても興味があり、是非このような学生か確かめたい	興味があり、どのような学生か確かめてみたい	どちらとも言えない／分からない	この学部を卒業した学生には興味が湧かない		n=	とても興味があり、是非このような学生か確かめたい	興味があり、どのような学生か確かめてみたい	どちらとも言えない／分からない	この学部を卒業した学生には興味が湧かない		n=	とても興味があり、是非このような学生か確かめたい	興味があり、どのような学生か確かめてみたい	どちらとも言えない／分からない	この学部を卒業した学生には興味が湧かない
全体		(412)	8.7	35.0	34.0	22.3	全体	(209)	10.5	36.4	32.5	20.6	全体	(203)	6.9	33.5	35.5	24.1
全体	5人未満	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	採用業務を主にしている	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	主ではないが、採用業務をしている	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
	5人～10人未満	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0		(0)	0.0	0.0	0.0	0.0		(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
	10人～20人未満	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0		(0)	0.0	0.0	0.0	0.0		(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
	20人～30人未満	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0		(0)	0.0	0.0	0.0	0.0		(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
	30人～50人未満	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0		(0)	0.0	0.0	0.0	0.0		(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
	50人～100人未満	(67)	4.5	28.4	43.3	23.9		(34)	2.9	29.4	35.3	32.4		(33)	6.1	27.3	51.5	15.2
	100人～200人未満	(71)	8.5	26.8	31.0	33.8		(35)	11.4	25.7	37.1	25.7		(36)	5.6	27.8	25.0	41.7
	200人～300人未満	(36)	8.3	36.1	38.9	16.7		(16)	18.8	25.0	43.8	12.5		(20)	0.0	45.0	35.0	20.0
	300人～500人未満	(43)	7.0	41.9	37.2	14.0		(21)	4.8	47.6	33.3	14.3		(22)	9.1	36.4	40.9	13.6
	500人～1000人未満	(47)	6.4	40.4	31.9	21.3		(22)	9.1	54.5	22.7	13.6		(25)	4.0	28.0	40.0	28.0
	1000人～3000人未満	(58)	8.6	37.9	34.5	19.0		(30)	13.3	36.7	33.3	16.7		(28)	3.6	39.3	35.7	21.4
	3000人～5000人未満	(22)	18.2	54.5	9.1	18.2		(11)	18.2	54.5	9.1	18.2		(11)	18.2	54.5	9.1	18.2
	5000人以上	(68)	13.2	32.4	32.4	22.1		(40)	12.5	35.0	32.5	20.0		(28)	14.3	28.6	32.1	25.0
	わからない／答えたくない	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0		(0)	0.0	0.0	0.0	0.0		(0)	0.0	0.0	0.0	0.0

Copyright © 2017 Onside Marketing. All Rights Reserved

5．食マネジメント学部の概要について

＜クロス集計：リーフレットの感想 x 従業員数＞

- 全体としては、やはり規模の大きい企業からの反応が多い。
- 200人以下の企業では、“感想なし”が30%を超える。
- **500人以上の企業では、20～30%が積極的にアプローチしてもよいと思う、と答えている。**

n=30以上の場合

[比率の差]
全体 +10 ポイント
全体 +5 ポイント
全体 -5 ポイント
全体 -10 ポイント

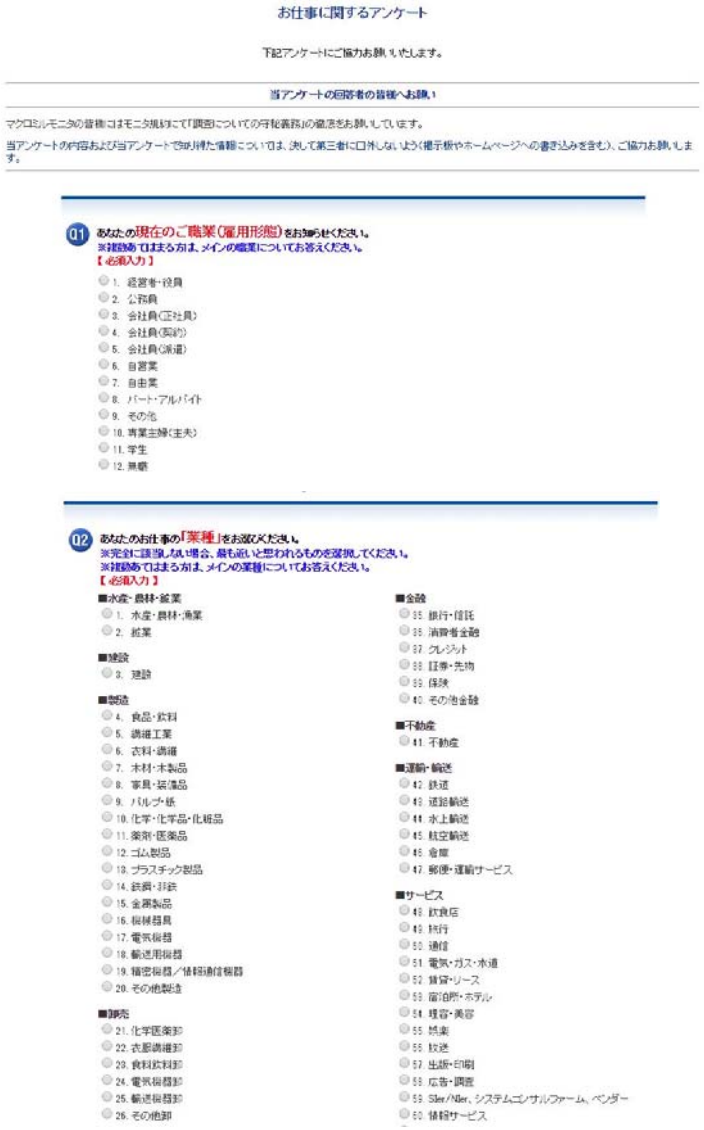
	n=	どのような学部なのかもっと知りたい	第一期卒業生の動向が気になる	採用活動で積極的にアプローチしても良いと思う	他社の評判などが出てから、ゆくゆくは採用活動でアプローチしても良いと思う	専門性を具体的にイメージしやすい	専門的な知識以外に、汎用性のある力が備わっていそう	カリキュラムが入念に組まれていそう	学生から人気が出そう	その他	特に何も思わなかった
全体	(412)	34.0	32.5	17.5	17.5	18.7	10.9	10.2	6.3	2.4	24.8
50人～100人未満	(67)	20.9	26.9	3.0	14.9	13.4	10.4	9.0	3.0	0.0	35.8
100人～200人未満	(71)	31.0	26.8	8.5	18.3	15.5	12.7	7.0	4.2	0.0	33.8
200人～300人未満	(36)	36.1	41.7	16.7	22.2	16.7	13.9	13.9	16.7	0.0	19.4
300人～500人未満	(43)	32.6	34.9	18.6	11.6	11.6	4.7	9.3	4.7	4.7	18.6
500人～1000人未満	(47)	38.3	31.9	21.3	12.8	19.1	8.5	8.5	10.6	8.5	21.3
1000人～3000人未満	(58)	29.3	34.5	27.6	17.2	25.9	8.6	8.6	10.3	1.7	27.6
3000人～5000人未満	(22)	72.7	31.8	31.8	13.6	22.7	13.6	18.2	0.0	0.0	9.1
5000人以上	(68)	38.2	36.8	25.0	25.0	25.0	14.7	13.2	2.9	4.4	16.2
わからない／答えたくない	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Copyright © 2017 Onside Marketing. All Rights Reserved

付録

Copyright © 2017 Onside Marketing. All Rights Reserved

■調査票　<事前調査>



お仕事に関するアンケート

下記アンケートにご協力お願いいたします。

当アンケートの回答者の皆様へお願い

マクロミルモニタの皆様にはモニタ規約にて「調査についての守秘義務」の徹底をお願いしています。

当アンケートの内容および当アンケートで知り得た情報については、決して第三者に口外しないよう（掲示板やホームページへの書き込みを含む）、ご協力お願いします。

Q1 あなたの現在のご職業（雇用形態）をお知らせください。
※複数あてはまる方は、メインの職業についてお答えください。
【必須入力】

1. 経営者・役員
2. 公務員
3. 会社員（正社員）
4. 会社員（契約）
5. 会社員（派遣）
6. 自営業
7. 自由業
8. パート・アルバイト
9. その他
10. 専業主婦（主夫）
11. 学生
12. 無職

Q2 あなたのお仕事の「業種」をお選びください。
※完全に該当しない場合、最も近いと思われるものを選択してください。
※複数あてはまる方は、メインの業種についてお答えください。
【必須入力】

■水産・農林・鉱業
1. 水産・農林・漁業
2. 鉱業

■建設
3. 建設

■製造
4. 食品・飲料
5. 繊維工業
6. 衣料・繊維
7. 木材・木製品
8. 家具・装備品
9. パルプ・紙
10. 化学・化学品・化粧品
11. 薬剤・医薬品
12. ゴム製品
13. プラスチック製品
14. 鉄鋼・非鉄
15. 金属製品
16. 機械器具
17. 電気機器
18. 輸送用機器
19. 精密機器／情報通信機器
20. その他製造

■卸売
21. 化学医薬卸
22. 衣服繊維卸
23. 食料飲料卸
24. 電気機器卸
25. 輸送機器卸
26. その他卸

■金融
35. 銀行・信託
36. 消費者金融
37. クレジット
38. 証券・先物
39. 保険
40. その他金融

■不動産
41. 不動産

■運輸・輸送
42. 鉄道
43. 道路輸送
44. 水上輸送
45. 航空輸送
46. 倉庫
47. 郵便・運輸サービス

■サービス
48. 飲食店
49. 旅行
50. 通信
51. 電気・ガス・水道
52. 賃貸・リース
53. 宿泊所・ホテル
54. 理容・美容
55. 娯楽
56. 放送
57. 出版・印刷
58. 広告・調査
59. SIer/NIer、システムコンサルファーム、ベンダー
60. 情報サービス

■小売
27. 百貨店
28. スーパー・コンビニエンスストア
29. 衣服・履物小売
30. 食品・飲料小売
31. 家庭用具小売
32. 家電・電気器具小売
33. 医薬品・化粧品小売
34. その他小売

61. ソフトウェア
62. 病院・医療
63. 老人福祉・介護
64. 教育
65. その他サービス

■その他
66. 官庁・自治体
67. その他団体
68. その他

Q3 あなたのお仕事の「職種」をお選びください。
※完全に該当しない場合、最も近いと思われるものを選択してください。
※複数の職種をお持ちの方は、主に業務をされているものを選択してください。
【必須入力】

1. 人事
2. 労務
3. 営業／営業企画
4. 財務／会計／経理
5. 総務
6. 施設・設備管理
7. 法務／知的財産
8. 売り場担当
9. 調理／ホール／フロアスタッフ
10. 旅行手配／ツアーコンダクター
11. ホテル／宿泊サービス
12. ドライバー／配送スタッフ
13. 鉄道・航空・船舶乗務員
14. 倉庫管理
15. 警備／守衛
16. 清掃関連スタッフ
17. ビル施設管理／メンテナンス
18. 不動産販売
19. マンション管理
20. 購買／物流
21. 仕入／商品管理
22. 一般事務／営業事務
23. 企画
24. 広報／IR
25. 調査／マーケティング
26. 経営企画／事業企画
27. 経営管理／コンサルタント（会計／戦略など）
28. コンサルタント（人事）
29. コンサルタント（IT関係）
30. カスタマーサポート
31. 情報システム
32. 研究／開発
33. 生産／製造
34. 生産技術／生産計画
35. 品質管理／検査
36. インテリアデザイナー・インテリアコーディネーター
37. クリエイター／デザイナー
38. 建築士
39. 設計
40. プランニング・測量・積算
41. 施工管理
42. 工事／大工
43. MR／医療用具営業（医薬）
44. 管理栄養士、栄養士
45. 訪問介護員（ホームヘルパー）
46. 介護福祉士
47. 保育師
48. 医師（歯科・眼科医師以外）
49. 歯科医師
50. 眼科医師
51. 獣医師
52. 薬剤師
53. 看護師／准看護師／看護助手
54. 理学療法士／作業療法士
55. 歯科衛生士
56. 歯科技工士
57. 医療事務
58. 介護事務
59. その他医療機関従事者
60. 弁護士、弁理士、司法書士、行政書士
61. 公認会計士、税理士
62. 美容師／理容師／美容部員
63. 保育士／幼稚園教員
64. 教員（小・学校～大学院・専門学校）
65. 教員（その他）
66. 学校事務職員・用務員・教育委員会
67. その他

Copyright © 2017 Onside Marketing. All Rights Reserved

■調査票　<事前調査>

Q4 あなたは、採用に携わることがありますか。
【必須入力】

- 1. 採用業務を主にしている
- 2. 主ではないが、採用業務をしている
- 3. 頻度は少ないが、採用業務をすることがある
- 4. 採用業務は行わない

Q5 最後に、あなたが務めている企業・団体の、全体の従業員数をお選びください。
※会社全体（本社・支社・営業所などを合わせた）の従業員数をお答えください。
※正確な人数がわからない場合、最も近いと思われるものを選択してください。
【必須入力】

- 1. 5人未満
- 2. 5人～10人未満
- 3. 10人～20人未満
- 4. 20人～30人未満
- 5. 30人～50人未満
- 6. 50人～100人未満
- 7. 100人～200人未満
- 8. 200人～300人未満
- 9. 300人～500人未満
- 10. 500人～1000人未満
- 11. 1000人～3000人未満
- 12. 3000人～5000人未満
- 13. 5000人以上
- 14. わからない／答えたくない

Copyright © 2017 Onside Marketing. All Rights Reserved

■調査票　<本調査>

あなたご自身に関するアンケート

下記アンケートにご協力お願いいたします。

本アンケート内では「Adobe Reader」が必要となっております。
Acrobat Readerをお持ちでない方はこちらよりダウンロードしてください。(無料)
Adobe Readerを利用して表示される画面は環境によって表示までにお時間がかかる場合がございますのでご注意ください。

当アンケートの回答者の皆様へお願い

マクロミルモニタの皆様にはモニタ規約にて「調査についての守秘義務」の徹底をお願いしています。
当アンケートの内容および当アンケートで知り得た情報については、決して第三者に口外しないよう(掲示板やホームページへの書き込みを含む)、ご協力お願いします。

【調査内容についての守秘義務遵守のお願い】

当アンケートの内容および当アンケートで知り得た情報は、
決して第三者に開示または漏えいしないようお願いいたします。
また、調査で提示された内容や画像等を、掲示板やホームページへ
書き込む行為も固く禁止しております。

くれぐれもそのような行為の無いよう、改めてお願い申し上げます。

Q1 上記の内容にご同意いただき、本アンケートにご参加いただけますか。
【必須入力】
1. 同意する
2. 同意しない

◆まずは、下記リーフレットをご一読ください。

◆一通りご覧いただいた「食マネジメント学部」について、お伺いいたします。

▼ 以下のボタンをクリックすると別画面で画像表示されます。 ▼
必ず上から順にクリックして、別画面に表示される画像全体をよくご覧ください。
※転載、複製は固く禁じます。

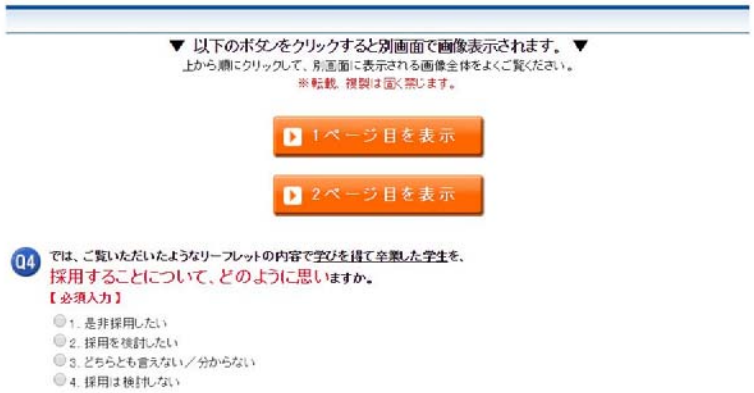
1ページ目を表示
2ページ目を表示

Q2 人事や採用に携わるあなたの立場でお答えください。
あなたは、この学部の必要性についてどう思いますか。
【必須入力】
1. 必要だと思う
2. どちらかといえば、必要だと思う
3. どちらかといえば、必要ではないと思う
4. 必要ではないと思う

5. どちらとも言えない／分からない

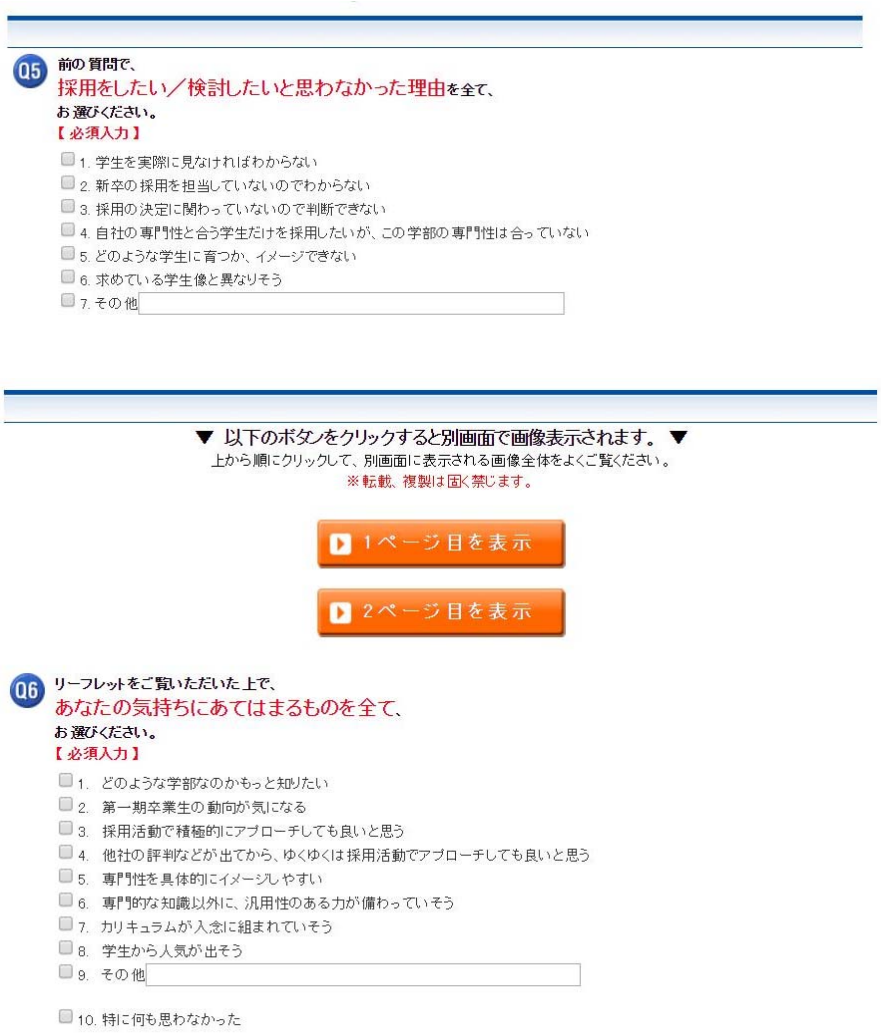
Copyright © 2017 Onside Marketing. All Rights Reserved

■調査票　<本調査>



Copyright © 2017 Onside Marketing. All Rights Reserved

■調査票　<本調査>



Q5 前の質問で、
採用をしたい／検討したいと思わなかった理由を全て、
お選びください。
【必須入力】

1. 学生を実際に見なければわからない
2. 新卒の採用を担当していないのでわからない
3. 採用の決定に関わっていないので判断できない
4. 自社の専門性と合う学生だけを採用したいが、この学部の専門性は合っていない
5. どのような学生に育つか、イメージできない
6. 求めている学生像と異なりそう
7. その他

▼ 以下のボタンをクリックすると別画面で画像表示されます。 ▼
上から順にクリックして、別画面に表示される画像全体をよくご覧ください。
※転載、複製は固く禁じます。

1ページ目を表示

2ページ目を表示

Q6 リーフレットをご覧いただいた上で、
あなたの気持ちにあてはまるものを全て、
お選びください。
【必須入力】

1. どのような学部なのかもっと知りたい
2. 第一期卒業生の動向が気になる
3. 採用活動で積極的にアプローチしても良いと思う
4. 他社の評判などが出てから、ゆくゆくは採用活動でアプローチしても良いと思う
5. 専門性を具体的にイメージしやすい
6. 専門的な知識以外に、汎用性のある力が備わっていそう
7. カリキュラムが入念に組まれていそう
8. 学生から人気が出そう
9. その他
10. 特に何も思わなかった

Copyright © 2017 Onside Marketing. All Rights Reserved

学校法人立命館 御中

食科学部卒業生に対する企業採用意向
調査報告書

2016.7.21

ぴあ株式会社

Copyright © 2016 PIA CORPORATION. All Rights Reserved

■調査概要

■調査目的	:	新たに設置する食科学部に対する企業側の必要性を把握する。 ①食科学部は企業から必要だと感じられるか。 ②食科学部出身者を企業は採用したいと感じるか。
■調査対象	:	マクロミルモニタ　15～59歳　男女（中学生除く
■調査地域	:	全国
■調査方法	:	インターネットリサーチおよびデプスインタビュー
■調査時期	:	【事前調査】　2016年6月14日（火）～6月15日（水） 【本調査】　2016年6月17日（金）～6月18日（土） 【デプスインタビュー】 2016年7月10日（日）
■有効回答数	:	【事前調査】　20,000サンプル （全国　20～59歳　男女） 【本調査】　412サンプル （規模が50名以上の企業で、人事・総務に所属する採用担当者） 【定性調査：デプスインタビュー】 5サンプル 本調査回答者の中からランダムに抽出
■調査実施機関	:	ぴあ株式会社

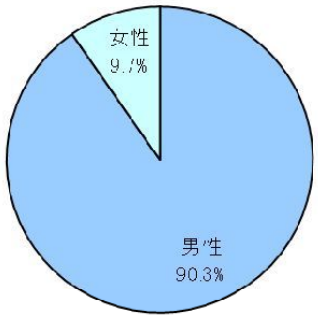
Copyright © 2016 PIA CORPORATION. All Rights Reserved

調査対象者属性

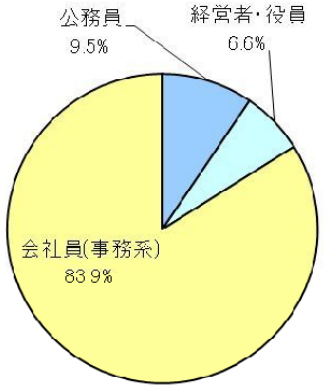
Copyright © 2016 PIA CORPORATION. All Rights Reserved

■本調査対象者（n=412）の属性①

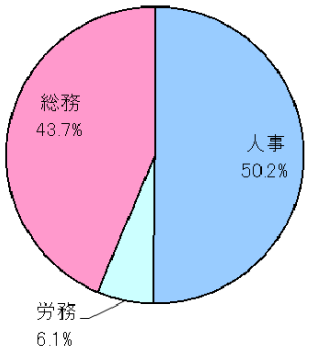
■ 性別



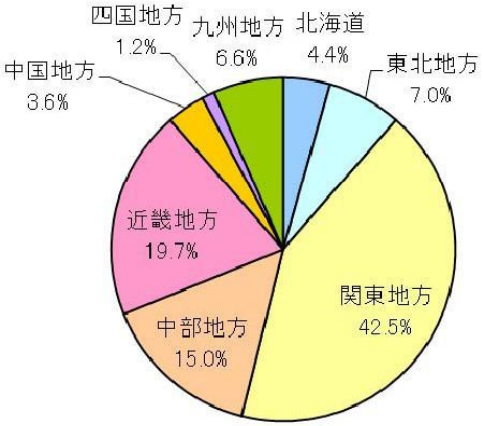
■ 職業



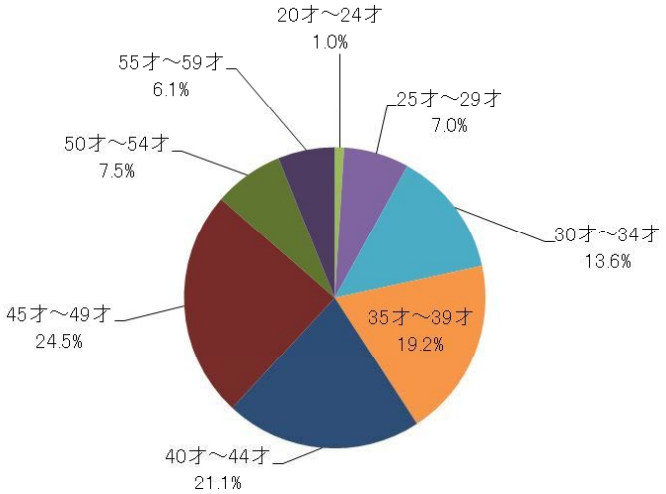
■ 職種



■ 地域



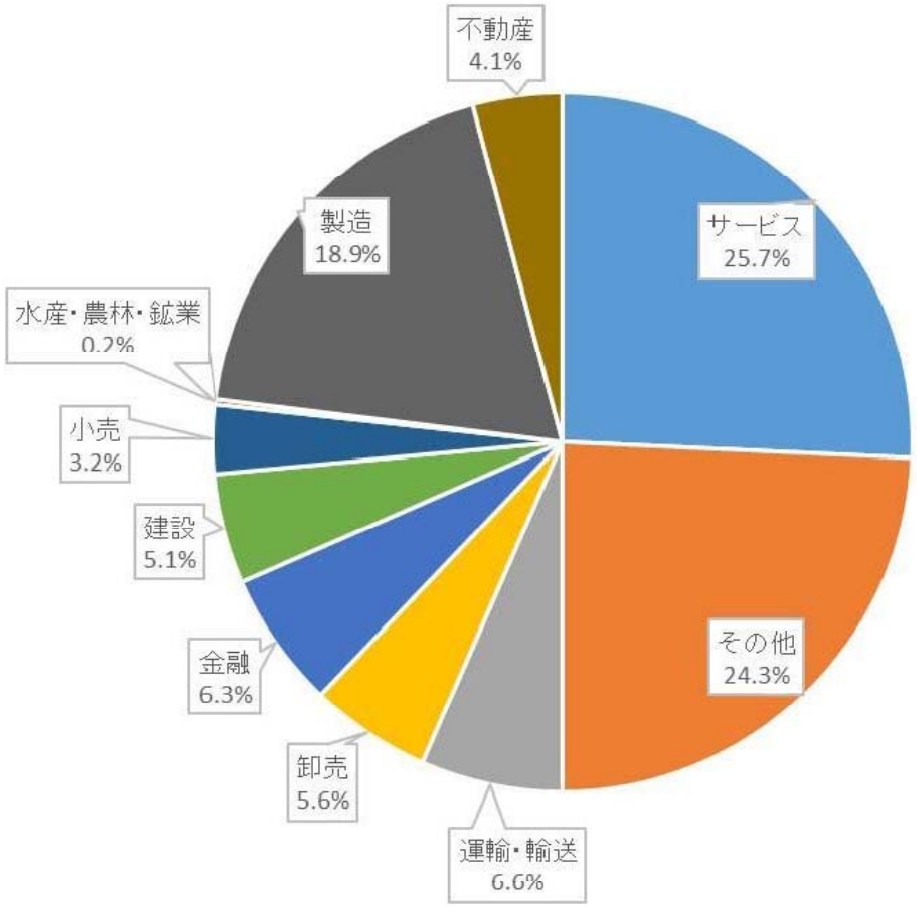
■ 年齢



Copyright ©2016 PIA CORPORATION. All Rights Reserved

■本調査対象者（n=412）の属性②

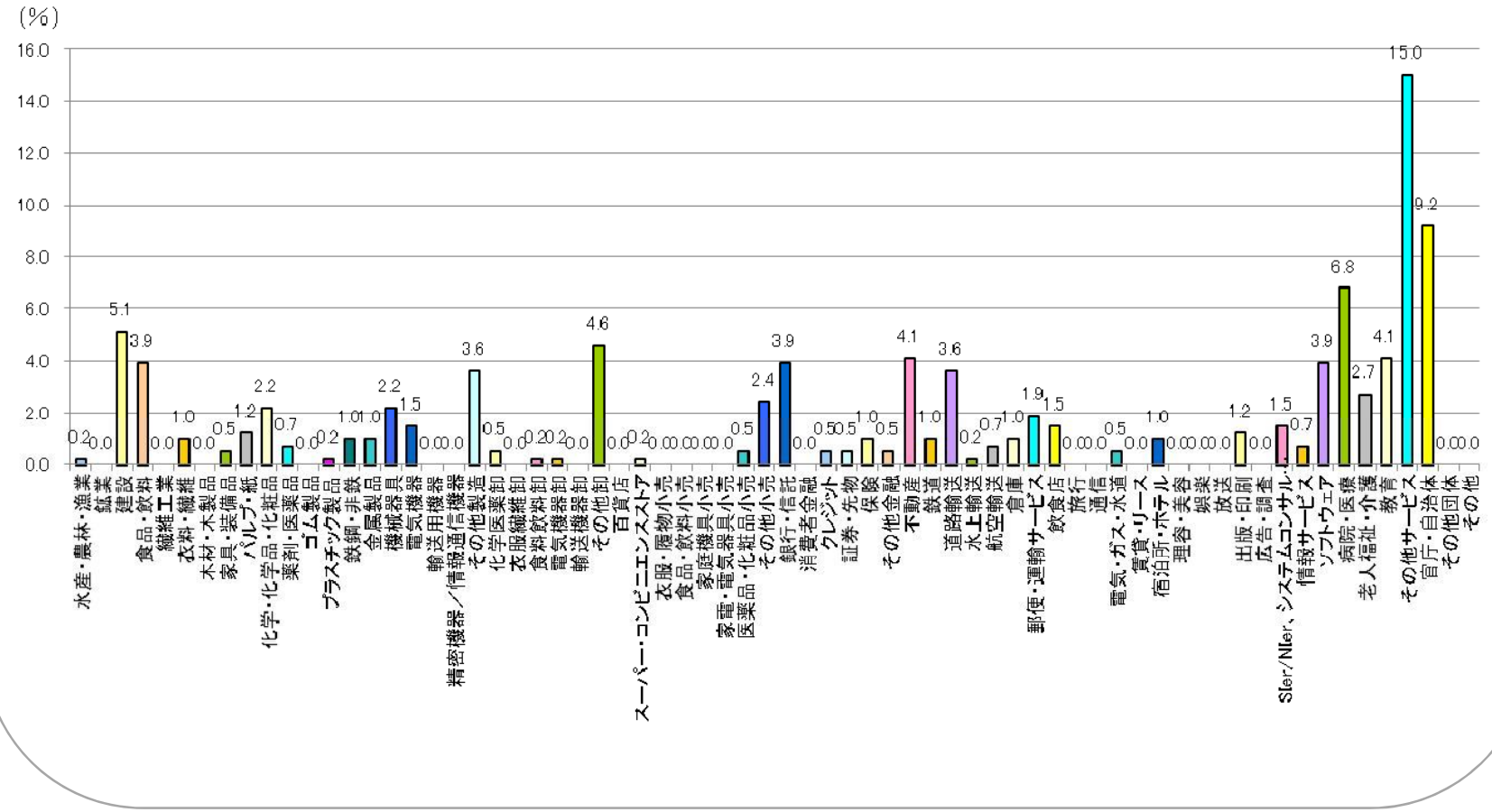
■ 業種
※大分類による集計表示



Copyright ©2016 PIA CORPORATION. All Rights Reserved

■本調査対象者（n=412）の属性③

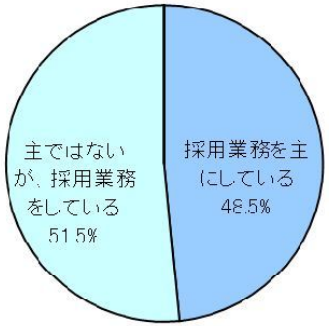
■ 業種
※全体に対するパーセンテージをグラフ表示



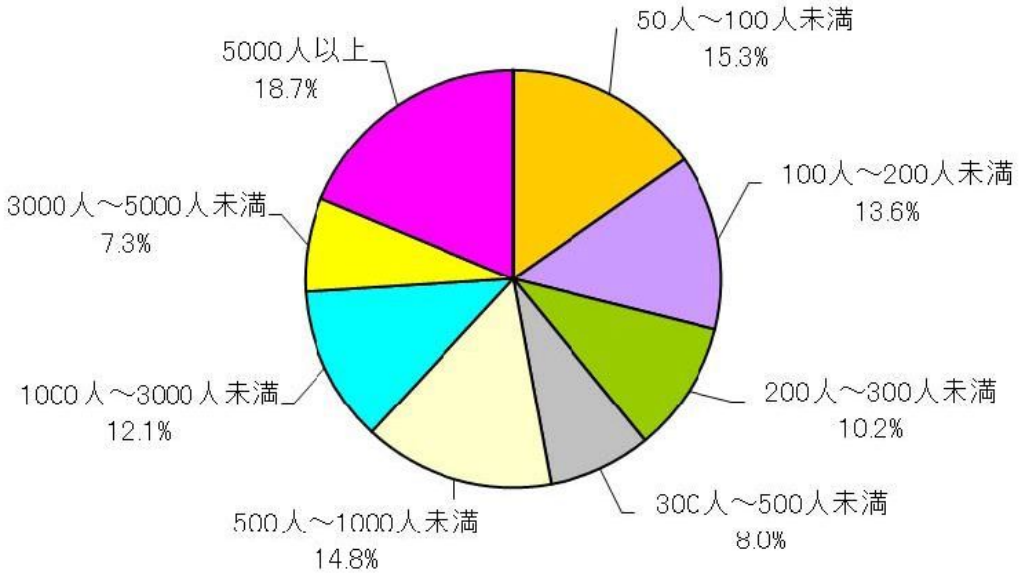
Copyright © 2016 PIA CORPORATION. All Rights Reserved

■本調査対象者（n=412）の属性④

■ 採用業務への関与度



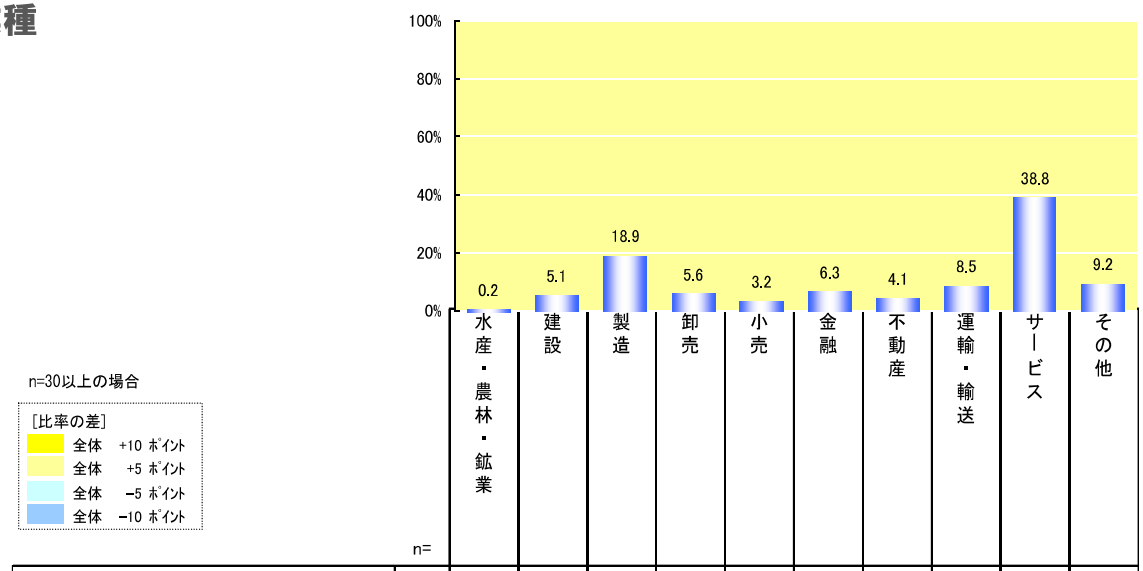
■ 勤務先企業の従業員数



Copyright ©2016 PIA CORPORATION. All Rights Reserved

■本調査対象者（n=412）の属性⑤

■ 従業員数X業種



		n=	水産・農林・鉱業	建設	製造	卸売	小売	金融	不動産	運輸・輸送	サービス	その他
全体		(412)	0.2	5.1	18.9	5.6	3.2	6.3	4.1	8.5	38.8	9.2
	50人～100人未満	(63)	1.6	6.3	15.9	4.8	0.0	1.6	4.8	7.9	50.8	6.3
	100人～200人未満	(56)	0.0	7.1	10.7	8.9	1.8	1.8	5.4	8.9	48.2	7.1
	200人～300人未満	(42)	0.0	7.1	21.4	4.8	4.8	4.8	4.8	9.5	42.9	0.0
	300人～500人未満	(33)	0.0	6.1	12.1	3.0	6.1	3.0	3.0	6.1	45.5	15.2
	500人～1000人未満	(61)	0.0	3.3	29.5	6.6	1.6	1.6	4.9	4.9	37.7	9.8
	1000人～3000人未満	(50)	0.0	4.0	18.0	8.0	2.0	10.0	8.0	14.0	34.0	2.0
	3000人～5000人未満	(30)	0.0	6.7	23.3	3.3	6.7	16.7	3.3	6.7	30.0	3.3
	5000人以上	(77)	0.0	2.6	19.5	3.9	5.2	13.0	0.0	9.1	24.7	22.1
	わからない／答えたくない	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Copyright © 2016 PIA CORPORATION. All Rights Reserved

調査結果【要約】

Copyright © 2016 PIA CORPORATION. All Rights Reserved

総括

食科学部に対する社会的必要性、また卒業生に対する採用意向について検証すべく、外部機関である、ぴあ株式会社（所在地：東京都渋谷区）が調査を実施した。

調査の方法は、前頁の通り規模が50名以上の企業で、人事・総務に所属する採用担当者を対象としたインターネットリサーチ、およびデプスインタビューによる。調査期間は事前調査が2016年6月14日（火）～6月15日（水）、本調査が本調査2016年6月17日（金）～6月18日（土）、デプスインタビューは2016年7月10日（日）に行った。

【社会的必要性について】
本調査回答者412名（属性は前頁）のうち、本学部の必要性について「必要だと思う」、「どちらかといえば必要だと思う」が53.9%。また、主に採用を担当する回答者に限定すると、61%が本学部を必要としている。また、デプスインタビューでも、立命館大学のこれまでにない新規学問分野への取組を評価する声が多く、食科学部の社会的な必要性は認められている、といえる。

【卒業生の採用意向について】
食科学部を卒業した学生を採用する可能性を尋ねた結果、主に採用を担当する回答者では、46%の本学部の卒業生に対する採用意向があった。また、「採用を検討しない」とする否定的な回答は全体でも21.4%のみで、80%近くの回答が検討に値する意向を示している。デプスインタビューでも、食科学部卒業生について、実際の採用は個々人の人柄重視とするものの、総合的な学びと専門的な「食」の学びのバランスに興味を示し、採用に前向きな人事担当者が多くみられた。よって食科学部卒業生の社会的採用意向は高いといえる。

Copyright © 2016 PIA CORPORATION. All Rights Reserved

食科学部の社会的必要性

インターネットリサーチからみられる
食科学部に対する社会的必要性は、
次の通りである。

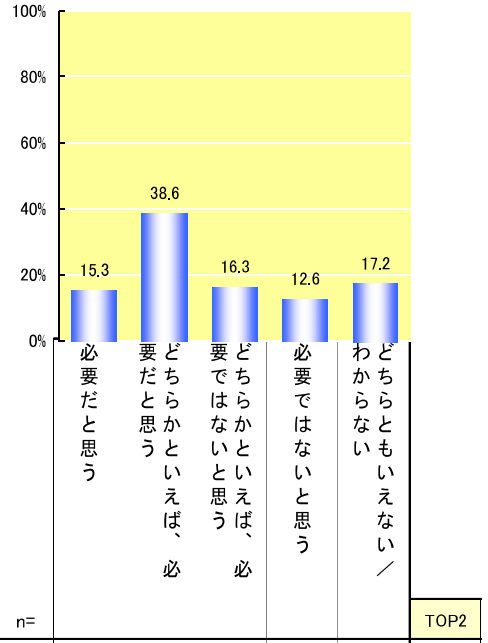
■社会的必要性について

回答者412名（属性は前頁）のうち、本学部の必要性について
「必要だと思う」、「どちらかといえば必要だと思う」が53.9%。

また、主に採用を担当する回答者に限定すると、
61%が本学部の設置を必要と認めている。

Q2

人事や採用に携わるあなたの立場でお答えください。
あなたは、この学部の必要性についてどう思いますか。



n=30以上の場合

［比率の差］
全体　+10 ポイント
全体　+5 ポイント
全体　−5 ポイント
全体　−10 ポイント

		n=	必要だと思う	どちらかといえば、必要だと思う	どちらかといえば、必要ではないと思う	必要ではないと思う	どちらともいえない／わからない	TOP2
全体		(412)	15.3	38.6	16.3	12.6	17.2	53.9
SQ4 あなたは、採用に携わることがありますか。	採用業務を主にしている	(200)	19.5	41.5	13.0	11.5	14.5	61.0
	主ではないが、採用業務をしている	(212)	11.3	35.8	19.3	13.7	19.8	47.2

Copyright © 2016 PIA CORPORATION. All Rights Reserved

食科学部の卒業生採用意向

インターネットリサーチからみられる
食科学部の卒業生採用意向は、
次の通りである。

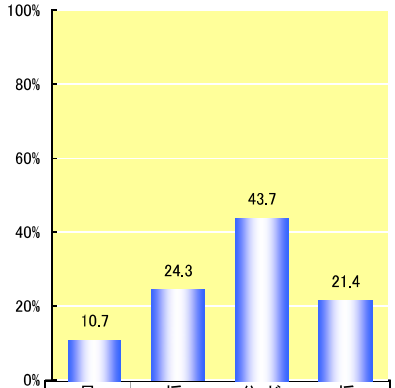
■卒業生採用意向について

回答者412名（属性は前頁）に対して
本学部を卒業した学生を採用する可能性を尋ねた結果、
主に採用を担当する回答者に限定すると、
46%の本学部の卒業生に対する採用意向があった。

また、「採用を検討しない」回答は全体でも21.4%のみだった。

Q4

では、ご覧いただいたようなリーフレットの内容で学びを得て卒業した学生を、採用することについて、どのように思いますか。



n=30以上の場合

[比率の差]
全体 +10 ポイント
全体 +5 ポイント
全体 −5 ポイント
全体 −10 ポイント

		n=	是非採用したい	採用を検討したい	どちらとも言えない／分からない	採用は検討しない	TOP2
全体		(412)	10.7	24.3	43.7	21.4	35.0
SQ4 あなたは、採用に携わることがありますか。	採用業務を主にしている	(200)	16.5	29.5	35.5	18.5	46.0
	主ではないが、採用業務をしている	(212)	5.2	19.3	51.4	24.1	24.5

Copyright © 2016 PIA CORPORATION. All Rights Reserved

デプスインタビュー　総括

■食科学部の社会的必要性について

立命館大学が食科学部設立を準備していることについて、
「会社であれば、『食』って絶対人と関わるので、ここで何かビジネスを起こせば必ず必要になる」、
「他の大学も（食の領域の取り組みが）これから増えたり。（立命館大学が）ニーズを作ってくださっている、自分から発信して作ってくださっていると思うので、これからどんどん広がりをより見せていく、ニーズ喚起される」、
「社会全般、世界レベルで考えられるような学問なのではないか」、
など、大学が取り組む新しい学問分野として非常に期待している意見が多かった。

■食科学部の卒業生採用意向について

「経済学とか文学とかミクロ経済とか、こういう基礎的な、ビジネスにも関わってくる分野をちゃんと押さえたうえで、「食」に関する細かい、奥深い学問まで踏み込んで勉強されているということなので、会社でも活躍できる食のプロ、のようなイメージはつきますね」、
「グローバル目線で考えると商社とか、食品の輸入を扱うような会社さんとか、自給率をあげるためにはと、そういう施策を考えるような公務員。一般企業でいうと、食品関係の会社。外食とか、「食」の知識を持った人が店舗を切り盛りしている、会社を切り盛りしているという感じだとつながる」、
「面白いと思う。自社が海外でホテル建設、運営事業をしているので、ホテルで日本のよい伝統文化等やってくれたら面白い、興味がある」、
など、「食」の専門分野とビジネスの結びつきに可能性を感じ評価する意見が多かった。

Copyright © 2016 PIA CORPORATION. All Rights Reserved

調査結果【詳細】

Copyright © 2016 PIA CORPORATION. All Rights Reserved

1．食科学部の必要性

＜クロス集計：必要性 x 業種 x 採用を主とするか＞

- サービス業、また金融業の採用主担当者では、必要性を感じる傾向が強くでている。
- 一方、同じサービス業でも、主な担当者ではない場合は必要性を感じない傾向が強い。
- また、製造業でも必要性を感じない傾向が強い。

Q2

人事や採用に携わるあなたの立場でお答えください。
あなたは、この学部の必要性についてどう思いますか。

n=30以上の場合

[比率の差]
全体 +10 ポイント
全体 +5 ポイント
全体 -5 ポイント
全体 -10 ポイント

		n=	主ではないが、採用業務をしている 水産・農林・鉱業	主にしている 水産・農林・鉱業	主ではないが、採用業務をしている 建設	主にしている 建設	主ではないが、採用業務をしている 製造	主にしている 製造	主ではないが、採用業務をしている 卸売	主にしている 卸売	主ではないが、採用業務をしている 小売	主にしている 小売	主ではないが、採用業務をしている 金融	主にしている 金融	主ではないが、採用業務をしている 不動産	主にしている 不動産	主ではないが、採用業務をしている 運輸・輸送	主にしている 運輸・輸送	主ではないが、採用業務をしている サービス	主にしている サービス	主ではないが、採用業務をしている その他	主にしている その他
全体		(412)	0.0	0.2	1.5	3.6	10.0	9.0	2.9	2.7	1.7	1.5	3.2	3.2	2.2	1.9	4.4	4.1	19.9	18.9	2.9	6.3
Q2 人事や採用に携わるあなたの立場で、この学部の必要性についてどう思いますか。	必要だと思う	(63)	0.0	0.0	1.6	0.0	11.1	9.5	4.8	0.0	0.0	0.0	9.5	1.6	3.2	6.3	6.3	4.8	22.2	12.7	3.2	3.2
	どちらかといえば、必要だと思う	(159)	0.0	0.6	2.5	3.1	8.2	10.1	2.5	1.9	1.3	2.5	3.1	2.5	2.5	0.6	4.4	2.5	25.2	17.0	2.5	6.9
	どちらかといえば、必要ではないと思う	(67)	0.0	0.0	0.0	10.4	10.4	9.0	0.0	6.0	3.0	3.0	1.5	4.5	3.0	3.0	1.5	4.5	17.9	14.9	1.5	6.0
	必要ではないと思う	(52)	0.0	0.0	1.9	1.9	15.4	11.5	3.8	1.9	3.8	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	3.8	3.8	13.5	25.0	1.9	9.6
	どちらともいえない／わからない	(71)	0.0	0.0	0.0	2.8	8.5	4.2	4.2	4.2	1.4	0.0	1.4	5.6	1.4	1.4	5.6	7.0	12.7	28.2	5.6	5.6

Copyright © 2016 PIA CORPORATION. All Rights Reserved

1．食科学部の必要性

＜クロス集計： 必要性 x 従業員数 x 採用を主とするか＞

- 従業員数300名以上の企業では、必要性が総じて高い傾向が見える。
- 採用を主としているサンプルの方が、主ではないサンプルよりも必要性が総じて高い
- 採用を主としているサンプルで、規模が大きい企業ほど「必要だと思う」回答が多い。

Q2

人事や採用に携わるあなたの立場でお答えください。
あなたは、この学部の必要性についてどう思いますか。

n=30以上の場合

[比率の差]
全体 +10 ポイント
全体 +5 ポイント
全体 −5 ポイント
全体 −10 ポイント

			必要だと思う	どちらかといえば、必要だと思う	必要ではないと思う	どちらともいえない／わからない
全体		(412)	15.3	38.6	16.3	12.6	17.2
全体	50人～100人未満	(63)	3.2	42.9	19.0	23.8	11.1
	100人～200人未満	(56)	10.7	39.3	10.7	14.3	25.0
	200人～300人未満	(42)	9.5	45.2	19.0	4.8	21.4
	300人～500人未満	(33)	21.2	21.2	27.3	6.1	24.2
	500人～1000人未満	(61)	21.3	32.8	16.4	8.2	21.3
	1000人～3000人未満	(50)	14.0	38.0	14.0	20.0	14.0
	3000人～5000人未満	(30)	20.0	50.0	23.3	6.7	0.0
	5000人以上	(77)	23.4	39.0	10.4	10.4	16.9
	わからない／答えたくない	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

			必要だと思う	どちらかといえば、必要だと思う	必要ではないと思う	どちらともいえない／わからない
全体		(200)	19.5	41.5	13.0	11.5	14.5
採用業務を主にしている		(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50人～100人未満	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	100人～200人未満	(30)	10.0	43.3	10.0	13.3	23.3
	200人～300人未満	(19)	21.1	47.4	5.3	5.3	21.1
	300人～500人未満	(11)	0.0	27.3	36.4	9.1	27.3
	500人～1000人未満	(30)	26.7	36.7	6.7	13.3	16.7
	1000人～3000人未満	(29)	20.7	44.8	13.8	13.8	6.9
	3000人～5000人未満	(19)	26.3	47.4	15.8	10.5	0.0
	5000人以上	(40)	32.5	35.0	7.5	10.0	15.0
	わからない／答えたくない	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

			必要だと思う	どちらかといえば、必要だと思う	必要ではないと思う	どちらともいえない／わからない
全体		(212)	11.3	35.8	19.3	13.7	19.8
主ではないが、採用業務をしている		(41)	4.9	39.0	14.6	29.3	12.2
	50人～100人未満	(26)	11.5	34.6	11.5	15.4	26.9
	100人～200人未満	(23)	0.0	43.5	30.4	4.3	21.7
	200人～300人未満	(22)	31.8	18.2	22.7	4.5	22.7
	300人～500人未満	(31)	16.1	29.0	25.8	3.2	25.8
	500人～1000人未満	(21)	4.8	28.6	14.3	28.6	23.8
	1000人～3000人未満	(11)	9.1	54.5	36.4	0.0	0.0
	3000人～5000人未満	(37)	13.5	43.2	13.5	10.8	18.9
	5000人以上	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない／答えたくない						

Copyright © 2016 PIA CORPORATION. All Rights Reserved

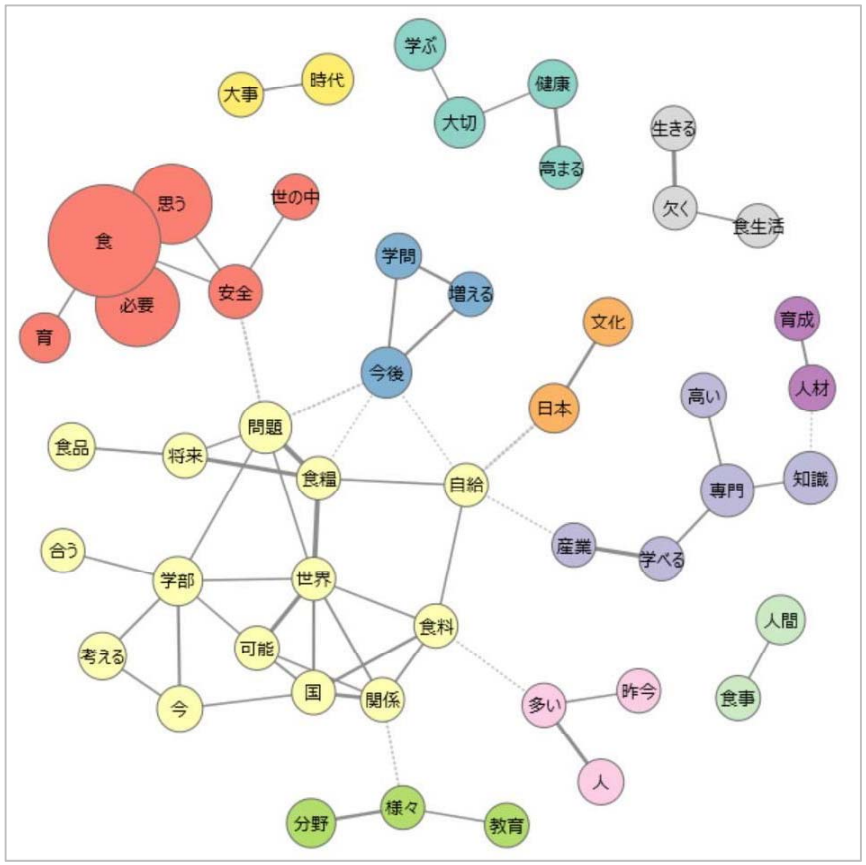
2．食科学部の必要性（自由回答：ＴＯＰ２）

【Q1にて、「01.必要だと思う」「02.どちらかといえば、必要だと思う」を回答した方のFAを分析】

Q2：あなたは、「食科学部」の必要性について【Q1】とお答えになりました。
あなたがそのようにお答えになった理由を、できるだけ具体的にご記入ください。

【回答要素】

- 食の安全
- 食育
- 健康（意識）
- 学ぶ大切さ
- （世界的な）食糧問題
- 食品の将来
- 日本文化
- 高い専門知識
- 人材育成
- 生きる（うえで）欠く（ことのできない）食生活
- 今後（同種の）学問が増える



Rank	抽出語	出現回数
1	食	108
2	必要	65
3	思う	60
4	重要	20
5	安全	19
6	専門	18
6	知識	18
8	感じる	17
8	問題	17
10	時代	16
11	学ぶ	15
12	育	14
12	今後	14
12	生活	14
12	大切	14
16	学部	13
16	日本	13
18	健康	12
18	人間	12
18	分野	12
18	文化	12
22	考える	10
23	基本	9
23	社会	9
23	食品	9
26	人材	8
27	学問	7
27	今	7
27	人	7
27	世の中	7
27	特に	7

Copyright © 2016 PIA CORPORATION. All Rights Reserved

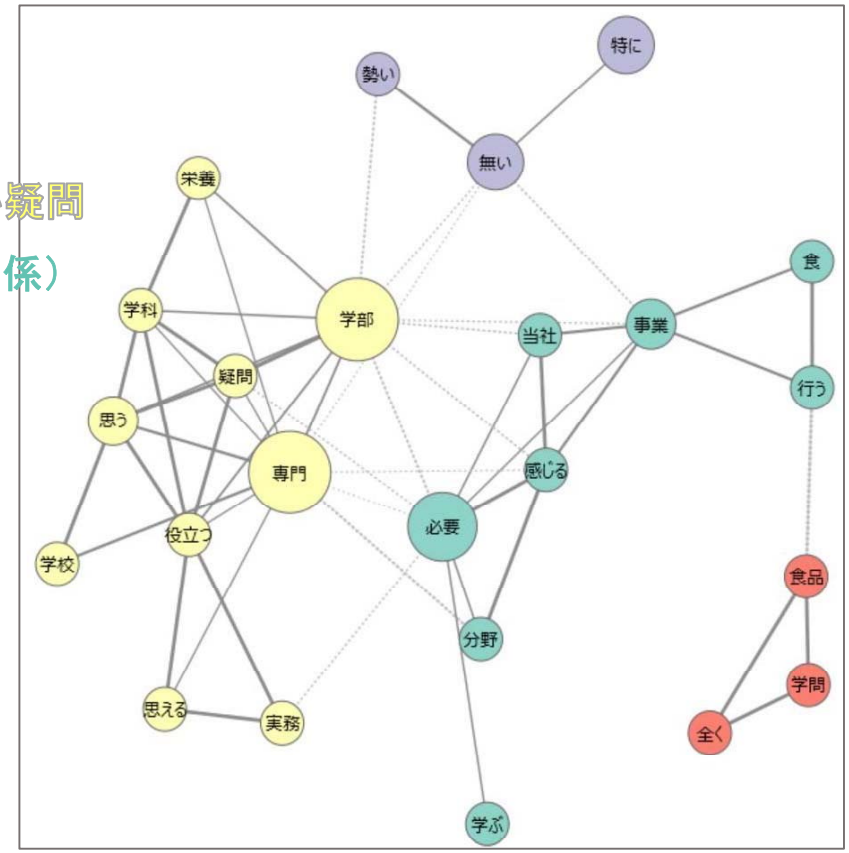
2．食科学部の必要性（自由回答：ＢＯＴＴＯＭ２）

【Q1にて、「03.どちらかといえば、必要ではないと思う」「04.必要ではないと思う」を回答した方のFAを分析】

Q2：あなたは、「食科学部」の必要性について【Q1】とお答えになりました。
あなたがそのようにお答えになった理由を、できるだけ具体的にご記入ください。

【回答要素】

- 栄養学部（との違い）
- 専門学校（で十分）
- （ビジネスで）役立つか疑問
- 当社の事業（には無関係）
- 学ぶ必要（を感じない）



Rank	抽出語	出現回数
1	学部	8
1	専門	8
3	必要	6
4	特に	4
4	無い	4
6	思う	3
6	事業	3
7	栄養	2
7	学ぶ	2
7	学科	2
7	学校	2
7	学問	2
7	感じる	2
7	疑問	2
7	行う	2
7	思える	2
7	実務	2
7	食	2
7	食品	2
7	勢い	2
7	全く	2
7	当社	2
7	分野	2
7	役立つ	2

Copyright © 2016 PIA CORPORATION. All Rights Reserved

3．食科学部卒業生の採用意向

＜クロス集計：　採用意向　x　業種　x　担当を主とするか＞

- サービス業の採用主担当者では56．8%が採用意向を示している。
- サービス業、金融業、製造業の主担当者で採用意向が強い。

Q4

では、ご覧いただいたようなリーフレットの内容で学びを得て卒業した学生を、採用することについて、どのように思いますか。

n=30以上の場合

[比率の差]
全体　+10 ポイント
全体　+5 ポイント
全体　−5 ポイント
全体　−10 ポイント

		n=	採用業務を主にしている 農林・水産・鉱業	主ではないが、採用業務をしている 農林・水産・鉱業	採用業務を主にしている 建設	主ではないが、採用業務をしている 建設	採用業務を主にしている 製造	主ではないが、採用業務をしている 製造	採用業務を主にしている 卸売	主ではないが、採用業務をしている 卸売	採用業務を主にしている 小売	主ではないが、採用業務をしている 小売	採用業務を主にしている 金融	主ではないが、採用業務をしている 金融	採用業務を主にしている 不動産	主ではないが、採用業務をしている 不動産	採用業務を主にしている 運輸・輸送	主ではないが、採用業務をしている 運輸・輸送	採用業務を主にしている サービス	主ではないが、採用業務をしている サービス	採用業務を主にしている その他	主ではないが、採用業務をしている その他
全体		(412)	0.0	0.2	1.5	3.6	10.0	9.0	2.9	2.7	1.7	1.5	3.2	3.2	2.2	1.9	4.4	4.1	19.9	18.9	2.9	6.3
Q4 では、ご覧いただいたようなリーフレットの内容で学びを得て卒業した学生を、採用することについて、どのように思いますか。	是非採用したい	(44)	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2	9.1	4.5	0.0	0.0	0.0	13.6	0.0	0.0	6.8	2.3	4.5	31.8	4.5	4.5	0.0
	採用を検討したい	(100)	0.0	0.0	2.0	1.0	11.0	5.0	5.0	1.0	1.0	2.0	3.0	3.0	4.0	1.0	6.0	5.0	25.0	15.0	2.0	8.0
	どちらとも言えない／分からない	(180)	0.0	0.0	1.7	3.9	6.1	8.9	1.1	3.9	2.8	2.2	1.1	3.9	2.8	1.7	5.6	5.0	16.1	23.9	2.2	7.2
	採用は検討しない	(88)	0.0	1.1	1.1	8.0	12.5	13.6	3.4	3.4	1.1	0.0	2.3	3.4	0.0	1.1	1.1	1.1	15.9	20.5	4.5	5.7

Copyright © 2016 PIA CORPORATION. All Rights Reserved

3．食科学部卒業生の採用意向

＜クロス集計：　採用意向　x　従業員数　x　担当を主とするか＞

- 従業員数の多い企業の方が、採用意向が高い
- 採用を主としているサンプルの方が、採用意向が高い
- 3000人以上の企業の採用主担当者では、63．1%が採用を検討する意向がある。

Q4

では、ご覧いただいたようなリーフレットの内容で学びを得て卒業した学生を、
採用することについて、どのように思いますか。

n=30以上の場合

［比率の差］
全体　+10 ポイント
全体　+5 ポイント
全体　−5 ポイント
全体　−10 ポイント

			是非採用したい	採用を検討したい	どちらとも言えない／分からない	採用は検討しない			是非採用したい	採用を検討したい	どちらとも言えない／分からない	採用は検討しない			是非採用したい	採用を検討したい	どちらとも言えない／分からない	採用は検討しない
全体		(412)	10.7	24.3	43.7	21.4	全体	(200)	16.5	29.5	35.5	18.5	全体	(212)	5.2	19.3	51.4	24.1
全体	50人～100人未満	(63)	3.2	17.5	52.4	27.0	採用業務を主にしている	(22)	0.0	36.4	45.5	18.2	主ではないが、採用業務をしている	(41)	4.9	7.3	56.1	31.7
	100人～200人未満	(56)	10.7	23.2	41.1	25.0		(30)	10.0	26.7	40.0	23.3		(26)	11.5	19.2	42.3	26.9
	200人～300人未満	(42)	4.8	19.0	52.4	23.8		(19)	10.5	26.3	52.6	10.5		(23)	0.0	13.0	52.2	34.8
	300人～500人未満	(33)	15.2	18.2	39.4	27.3		(11)	18.2	9.1	27.3	45.5		(22)	13.6	22.7	45.5	18.2
	500人～1000人未満	(61)	11.5	34.4	37.7	16.4		(30)	16.7	36.7	33.3	13.3		(31)	6.5	32.3	41.9	19.4
	1000人～3000人未満	(50)	10.0	32.0	38.0	20.0		(29)	17.2	41.4	24.1	17.2		(21)	0.0	19.0	57.1	23.8
	3000人～5000人未満	(30)	16.7	33.3	33.3	16.7		(19)	26.3	36.8	26.3	10.5		(11)	0.0	27.3	45.5	27.3
	5000人以上	(77)	15.6	19.5	48.1	16.9		(40)	27.5	17.5	35.0	20.0		(37)	2.7	21.6	62.2	13.5
	わからない／答えたくない	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0		(0)	0.0	0.0	0.0	0.0		(0)	0.0	0.0	0.0	0.0

Copyright © 2016 PIA CORPORATION. All Rights Reserved

4．食科学部卒業生への期待点

＜クロス集計：　期待点　x　担当を主とするか＞

- 採用を主としているサンプルの方が、期待が高い
- 採用を主とするサンプルの中で、「物事に自ら進んで・・・」など、すべての分野に共通して役立つ項目に、70%ほどの期待が見られる。
- 一方で、食科学部ならではの食に関する項目については、採用を主とするサンプルでも60%～50%となる。
- 食科学部の学びを通じて、専門的な知識はもちろん一般的な課題解決のスキルが卒業生に期待できる、と受け止められている。

Q5

この学部を卒業する学生に関する以下の項目について、どの程度期待できそうですか。

n=412	Q5 物事に自ら進んで取り組もうとする力が身についている		Q5 実践を通じて、行動力が身についている		Q5 課題を発見しようとする力が身についている		Q5 計画を立て、着実に物事を進める力が身についている		Q5 ルールや期日、約束を守ろうとする力が身についている		Q5 多様な人々と共に目標に向けて協力する力が身についている		Q5 食に関する専門知識が身についている		Q5 食文化に関する知識を身につけている		Q5 食ビジネスに関する知識を身につけている		Q5 食についての様々な技術に関する知識を身につけている		Q5 食に関する幅広い知識を身につけている	
	主としている	主ではない	主としている	主ではない	主としている	主ではない	主としている	主ではない	主としている	主ではない	主としている	主ではない	主としている	主ではない	主としている	主ではない	主としている	主ではない	主としている	主ではない	主としている	主ではない
期待できる	71.8	28.2	68.6	31.4	72.1	27.9	67.6	32.4	69.4	30.6	67.4	32.6	55.3	44.7	59.6	40.4	56.5	43.5	54.5	45.5	56.6	43.4
やや期待できる	57.9	42.1	54.7	45.3	51.2	48.8	53.3	46.7	58.7	41.3	48.4	51.6	50.9	49.1	47.5	52.5	53.0	47.0	53.4	46.6	49.2	50.8
どちらともいえない	40.9	59.1	42.3	57.7	45.3	54.7	45.9	54.1	41.6	58.4	47.9	52.1	38.8	61.2	40.0	60.0	39.0	61.0	37.2	62.8	41.4	58.6
あまり期待できない	31.3	68.8	42.2	57.8	27.5	72.5	31.4	68.6	38.7	61.3	31.6	68.4	44.0	56.0	50.0	50.0	40.0	60.0	43.8	56.3	26.1	73.9
期待できない	52.9	47.1	38.1	61.9	56.3	43.8	44.4	55.6	47.1	52.9	47.1	52.9	46.2	53.8	50.0	50.0	43.8	56.3	58.3	41.7	64.3	35.7

Copyright © 2016 PIA CORPORATION. All Rights Reserved

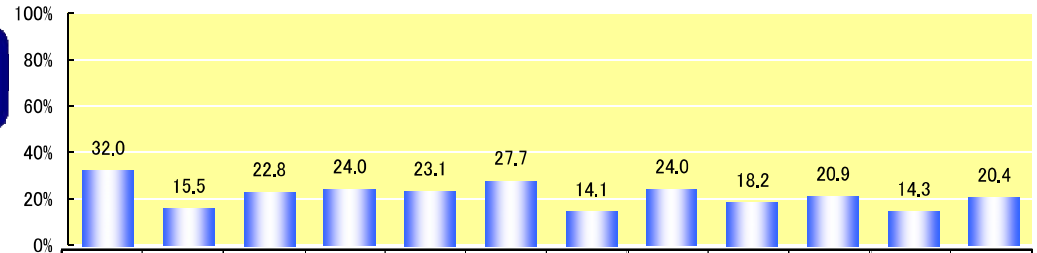
5．食科学部の魅力

＜クロス集計：　魅力　x　担当を主とするか＞

- 全体としては【A】、【F】、【D】、【H】の順で魅力的と認識されている。
- 採用を主とするかどうかで、全体に大きく差がない中、【E】と【G】に大きな差がついている。
  【E】は前頁の、一般的な課題解決スキルへの期待が要因かと思われる。
  【G】は“「食」の学びそのものの価値”についての感じ方に違いが出ているためと思われる。

Q6

あなたは、食学部のどのような点が魅力的だと思いますか。
あてはまるものを全て、お選びください。



n=30以上の場合

［比率の差］
全体　+10 ポイント
全体　+5 ポイント
全体　−5 ポイント
全体　−10 ポイント

		n=	【A】フードマネジメント領域	【B】フードカルチャー領域	【C】フードテクノロジー領域	【D】食を総合的・包括的に捉える	【E】学びのスキルと教養を得る	【F】「食」と社会の関連を理解	【G】「食」の学びを展開	【H】「食」を通じた専門性	【I】グローバルに広がる学び	【J】社会での学び	【K】アクティブな学び	魅力的だと思う点はない
全体		(412)	32.0	15.5	22.8	24.0	23.1	27.7	14.1	24.0	18.2	20.9	14.3	20.4
SQ4 あなたは、採用に携わることがありますか。	採用業務を主にしている	(200)	34.0	17.0	25.0	23.0	31.0	30.5	17.5	24.0	18.5	22.5	16.5	15.5
	主ではないが、採用業務をしている	(212)	30.2	14.2	20.8	25.0	15.6	25.0	10.8	24.1	17.9	19.3	12.3	25.0

Copyright © 2016 PIA CORPORATION. All Rights Reserved

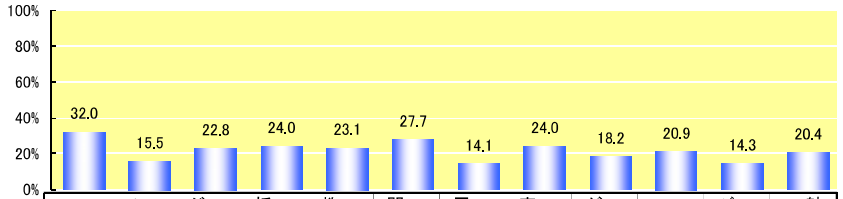
5．食科学部の魅力

＜クロス集計：魅力 x 担当を主とするか X 企業規模＞

- 全体としては【A】、【F】、【D】、【H】の順で魅力的と認識されている。
- 魅力全体として、明確な偏りは見られない。
- 企業規模3000名以上のサンプルで、「食」に関する項目について、やや魅力を強く感じているように見受けられる。

Q6

あなたは、食学部のどのような点が魅力的だと思いますか。あてはまるものを全て、お選びください。



n=30以上の場合

[比率の差]
全体 +10 ポイント
全体 +5 ポイント
全体 −5 ポイント
全体 −10 ポイント

	n=	【A】フードマネジメント領域	【B】フードカルチャー領域	【C】フードテクノロジー領域	【D】食を総合的・包括的に捉える	【E】学びのスキルと教養を得る	【F】「食」と社会の関連を理解	【G】「食」の学びを展開	【H】「食」を通じた専門性	【I】グローバルに広がる学び	【J】社会での学び	【K】アクティブな学び	魅力的だと思う点はない
全体	(412)	32.0	15.5	22.8	24.0	23.1	27.7	14.1	24.0	18.2	20.9	14.3	20.4
採用業務を主にしている 50人～100人未満	(22)	27.3	0.0	13.6	27.3	40.9	31.8	9.1	13.6	22.7	31.8	31.8	9.1
主ではないが、採用業務をしている 50人～100人未満	(41)	24.4	12.2	22.0	22.0	4.9	19.5	2.4	19.5	7.3	12.2	7.3	39.0
採用業務を主にしている 100人～200人未満	(30)	30.0	26.7	23.3	23.3	26.7	33.3	30.0	36.7	16.7	23.3	16.7	13.3
主ではないが、採用業務をしている 100人～200人未満	(26)	23.1	23.1	19.2	30.8	11.5	19.2	11.5	11.5	23.1	19.2	15.4	30.8
採用業務を主にしている 200人～300人未満	(19)	57.9	15.8	31.6	5.3	21.1	36.8	5.3	26.3	5.3	5.3	10.5	10.5
主ではないが、採用業務をしている 200人～300人未満	(23)	34.8	13.0	30.4	26.1	13.0	34.8	13.0	34.8	17.4	34.8	21.7	13.0
採用業務を主にしている 300人～500人未満	(11)	27.3	9.1	18.2	9.1	18.2	9.1	18.2	18.2	9.1	0.0	0.0	36.4
主ではないが、採用業務をしている 300人～500人未満	(22)	40.9	4.5	9.1	27.3	4.5	36.4	4.5	27.3	22.7	13.6	18.2	22.7
採用業務を主にしている 500人～1000人未満	(30)	30.0	23.3	30.0	26.7	23.3	30.0	16.7	13.3	16.7	26.7	20.0	16.7
主ではないが、採用業務をしている 500人～1000人未満	(31)	41.9	6.5	22.6	32.3	32.3	19.4	12.9	22.6	19.4	19.4	9.7	19.4
採用業務を主にしている 1000人～3000人未満	(29)	27.6	10.3	24.1	31.0	34.5	20.7	3.4	13.8	13.8	10.3	3.4	20.7
主ではないが、採用業務をしている 1000人～3000人未満	(21)	9.5	14.3	9.5	4.8	14.3	23.8	9.5	19.0	14.3	19.0	9.5	38.1
採用業務を主にしている 3000人～5000人未満	(19)	42.1	31.6	36.8	42.1	42.1	42.1	15.8	36.8	36.8	26.3	21.1	5.3
主ではないが、採用業務をしている 3000人～5000人未満	(11)	27.3	27.3	45.5	36.4	36.4	9.1	0.0	18.2	27.3	9.1	0.0	0.0
採用業務を主にしている 5000人以上	(40)	35.0	15.0	22.5	15.0	35.0	32.5	30.0	30.0	22.5	35.0	20.0	17.5
主ではないが、採用業務をしている 5000人以上	(37)	35.1	18.9	18.9	24.3	18.9	32.4	24.3	35.1	21.6	24.3	13.5	18.9

Copyright © 2016 PIA CORPORATION. All Rights Reserved

6．食科学部に関するデプスインタビュー（抜粋）

① 20代後半 女性、100人～200人未満規模、病院・医療、人事（採用主担当）

＜食科学部ができることについて所感＞
- これからより発展したり、他の大学もこれから増えたり、ニーズを作ってくださっている、自分から発信して作ってくださっていると思うので、これからどんどん広がりをより見せていく、ニーズ喚起される側になるのだろうなと思います。

＜学部の内容からイメージする、企業との関わり＞
- 流通とかビジネスとかの区分に惹かれるというか、より柔軟性があって色々なアイディアを出してくれそうだなと感じました。
- 会社であれば、「食」って絶対人と関わるので、ここで何かビジネスを起こせば必ず必要になるものなので、病院ではなく会社であれば、ニーズは高いのかなと思います。

＜栄養士等、資格取得がないことへの印象＞
- 資格を持っている方って、その資格に依存してしまうというか、少し視野が狭くなりがちなので、むしろ持っていなくてもいいのかなというか、いろんな方向に芽が出るほうがいいのかなと思いますけどね。

＜学部での教育に期待すること＞
- いろんなところを見て視野を広げた方というのがいいだろうなと思いますね。この学部だと色々と行ったり見たりすることも多いでしょうし。

＜学部の卒業生へのイメージ、期待＞
- 栄養とか食に関して学ぶ要素も入っているので、まじめな方が多そうなイメージがあります。
- 新しいビジネスや事業を興す時に、新しい考えとか流通とか経済を学んでいるので、その次にこういうニーズが来るとか、こういうことがきっとくるだろうとか、前もって先に考えて提案をしてくれそうだなと。

Copyright © 2016 PIA CORPORATION. All Rights Reserved

6．食科学部に関するデプスインタビュー（抜粋）

② 30代後半 男性、3,000人～5,000人未満規模、その他卸、人事（採用主担当ではない）

＜食科学部ができることについて所感＞

- 立命館大学さんとして、「食」に力を入れていく今までにない新しい分野で学生を育てていこうといった意思は感じられるので、すごくいいなと思いました。

＜学部の内容からイメージする、企業との関わり＞

- 会社によっては、すごくニーズがあるのではないかなと思います。今までなかったのも不思議な感じがします。＜中略＞そういう食品メーカーで、食品の研究開発に携わるだとか、販売に携わるだとかと考えた時に、ただ単純に経済学部にいましたっていう学生よりは、本当に食を勉強してきている学生さんっていうものに対するニーズというのがあるのではないのかなと

＜栄養士等、資格取得がないことへの印象＞

- 「食」をどうビジネスにつなげていくかという観点での授業、カリキュラムを充実させてもらえるといいのかなと、そんな気がしますね。
- 採用するにはやってきたことの幅広さが大事だと思います。一つの、食に関する歴史は誰にも負けません、というよりは、「食」も学んできたけど実は自分はこれも出来ます、という意外性を持った学生さんというのは、面接の場でもすごく受けがいい。

＜学部での教育に期待すること＞

- 学問を通して自分の頭で考えて、理想とされる正解を出すのではなくて、自分で考えた正解を見出すような、そういう授業を増やして頂けると、社会に出ても即戦力で活躍して頂けると思いますね。

＜学部の卒業生へのイメージ、期待＞

- 経済学とか文学とかミクロ経済とか、こういう基礎的な、ビジネスにも関わってくる分野をちゃんと押さえたうえで、「食」に関する細かい、奥深い学問まで踏み込んで勉強されているということなので、会社でも活躍できる食のプロ、のようなイメージはつきますね。

Copyright © 2016 PIA CORPORATION. All Rights Reserved

6．食科学部に関するデプスインタビュー（抜粋）

③ 30代前半 男性、5,000人以上規模、建設、人事（採用主担当）

＜食科学部ができることについて所感＞

- 面白いと思う。自社が海外でホテル建設、運営事業をしているので、ホテルで日本のよい伝統文化等やってくれたら面白い、興味がある。

＜学部の内容からイメージする、企業との関わり＞

- （自社では）元々社食という部門があるので、入社後はスムーズに配属できると思う。＜中略＞「食」をやってきた人が（アパート・マンションの）営業するのは、なんのために来たの？と思われるかも。ホテルとか任せたい、新しいことをやってくれれば良いと思う。

＜栄養士等、資格取得がないことへの印象＞

- 資格はあった方が良いが、立命館卒なら、仕事上の弊害はない。

＜学部での教育に期待すること＞

- 職場見学、インターンへの参加など。

＜学部の卒業生へのイメージ、期待＞

- フードテクノロジー、栄養学に詳しい。これから長く働いてもらうにあたって、「こういう事を知っている人がいると、会社にとっても良い」と言える。

Copyright © 2016 PIA CORPORATION. All Rights Reserved

6．食科学部に関するデプスインタビュー（抜粋）

④ 40代前半 男性、1000人～3000人未満規模、その他サービス、人事（採用主担当）

＜食科学部ができることについて所感＞

- 最近の高齢化社会、メタボな人が増えてきているので、栄養的な部分でコントロールしたり、食育じゃないが、日々の健康をコントロールする部分の知識は活きてくると思う。「食」に携わる自社の仕事では、必ず関係してくるので良いと思う。

＜学部の内容からイメージする、企業との関わり＞

- 生活習慣病が増えてきているので、そういった所に活かせる知識があって、指導できる人材が育成できるイメージがある。これからもっと必要な部類になってくると思う。介護の仕事も、「食」に関する栄養的な部分も間違いなく必要になってくると思う。

＜栄養士等、資格取得がないことへの印象＞

- 今は会社的には有資格者を採用しているが、無資格でも人物的に好印象の場合、採用はするだろう。「食」に興味、関心がある学生だろうから、きちんと見て話して採用していきたい。

＜学部での教育に期待すること＞

- 自分で課題を発見して問題意識を発見してやるというのが大切だと思う。コミュニケーションももちろん必要だと思う。

＜学部の卒業生へのイメージ、期待＞

- 「食」に携わっている仕事なので、「食」に関する深い知識、それに関連する経験があった方が良い。それに加えて技能を伴えば、間違いなく良いと思う。

Copyright © 2016 PIA CORPORATION. All Rights Reserved

6．食科学部に関するデプスインタビュー（抜粋）

⑤ 39歳男性、5000人以上規模、その他サービス、人事（採用主担当）

＜食科学部ができることについて所感＞

- 「食」っていう切り口ってあまりクローズアップされない。あれだけいっぱい不正問題とか起きている中でそもそもの解消とか、自給率ですとか、社会全般、世界レベルで考えられるような学問なんではないか。

＜学部の内容からイメージする、企業との関わり＞

- グローバル目線で考えると商社とか、食品の輸入を扱うような会社さんとか、自給率をあげるためにはと、そういう施策を考えるような公務員。一般企業でいうと、食品関係の会社。外食とか、「食」の知識を持った人が店舗を切り盛りしている、会社を切り盛りしているという感じだとつながるかなと思った。

＜栄養士等、資格取得がないことへの印象＞

- ないよりはあるほうが望ましいぐらいのことだは思います。ないからと言って門前払いするようなことはないです。総合的に色んな業種業態のある場合、どの仕事場に配属になるかによっても全然違うので、当社の立場で考えるとそんなに資格を持っていることはマストではない。

＜学部での教育に期待すること＞

- 例えば外食部門を志して、そういうところで「食」とか、ビジネス感覚を養いたいとかであれば、雰囲気的にはマーケティングとかも学べるし、行動経済学とか、どういう趣味趣向を人は持つようになるのかとか、そういうのが見えそうな気がするのですが。

＜学部の卒業生へのイメージ、期待＞

- 自分がこんなことができる、あんなことができるというのを恥ずかしがらずに言える、「漢字得意です」とか何でもいいので、しっかりアピールできるほうが嬉しいかなと思います。
- 自分で考えられる、自分で考えられなくても仲間を巻き込んで解決しようという動きができる。独りよがりにならずに物事を解決まで進めていけるような動きを考えられる。実践してみて、また次につなげられる。そういうサイクルを理解して入ってきていただけるといいのかなと。

Copyright © 2016 PIA CORPORATION. All Rights Reserved

付録

Copyright © 2016 PIA CORPORATION. All Rights Reserved

■調査票　<事前調査>

あなたご自身に関するアンケート

SQ1 **SQ1** あなたの現在のご職業(雇用形態)をお知らせください。兼務あてはまる方は、メインの職業についてお答えください。

- ○ 1. 経営者・役員
- ○ 2. 役員層
- ○ 3. 会社員(正社員)
- ○ 4. 会社員(契約)
- ○ 5. 会社員(派遣)
- ○ 6. 自営業
- ○ 7. 自由業
- ○ 8. パート・アルバイト
- ○ 9. その他
- ○ 10. 専業主婦(主夫)
- ○ 11. 学生
- ○ 12. 無職

SQ2 **SQ2** あなたのお仕事の「業種」をお選びください。※完全に該当しない場合、最も近いと思われるものを選択してください。※複数あてはまる方は、メインの業種についてお答えください。

- ○ 1. 水産・農林・漁業
- ○ 2. 鉱業
- ○ 3. 建設
- ○ 4. 食品・飲料
- ○ 5. 繊維工業
- ○ 6. 衣料・繊維
- ○ 7. 木材・木製品
- ○ 8. 家具・装備品
- ○ 9. パルプ・紙
- ○ 10. 化学・化学品・化粧品
- ○ 11. 薬剤・医薬品
- ○ 12. ゴム製品
- ○ 13. プラスチック製品
- ○ 14. 鉄鋼・非鉄
- ○ 15. 金属製品
- ○ 16. 機械器具
- ○ 17. 電気機器
- ○ 18. 輸送用機器
- ○ 19. 精密機器／情報通信機器
- ○ 20. その他製造
- ○ 21. 化学医薬卸
- ○ 22. 衣服繊維卸
- ○ 23. 食料飲料卸
- ○ 24. 電気機器卸
- ○ 25. 輸送機器卸
- ○ 26. その他卸
- ○ 27. 百貨店
- ○ 28. スーパー・コンビニエンスストア
- ○ 29. 衣服・履物小売
- ○ 30. 食品・飲料小売
- ○ 31. 家庭機具小売
- ○ 32. 家電・電気器具小売
- ○ 33. 医薬品・化粧品小売
- ○ 34. その他小売
- ○ 35. 銀行・信託
- ○ 36. 消費者金融
- ○ 37. クレジット
- ○ 38. 証券・先物
- ○ 39. 保険
- ○ 40. その他金融
- ○ 41. 不動産
- ○ 42. 鉄道
- ○ 43. 道路輸送
- ○ 44. 水上輸送
- ○ 45. 航空輸送
- ○ 46. 倉庫
- ○ 47. 郵便・運輸サービス
- ○ 48. 飲食店
- ○ 49. 旅行
- ○ 50. 通信
- ○ 51. 電気・ガス・水道
- ○ 52. 賃貸・リース
- ○ 53. 宿泊所・ホテル
- ○ 54. 理容・美容
- ○ 55. 娯楽
- ○ 56. 放送
- ○ 57. 出版・印刷
- ○ 58. 広告・調査
- ○ 59. SIer/NIer、システムコンサルファーム、ベンダー
- ○ 60. 情報サービス
- ○ 61. ソフトウェア
- ○ 62. 病院・医療
- ○ 63. 老人福祉・介護
- ○ 64. 教育
- ○ 65. その他サービス
- ○ 66. 官庁・自治体
- ○ 67. その他団体
- ○ 68. その他

Copyright © 2016 PIA CORPORATION. All Rights Reserved

■調査票　<事前調査>

SQ3 SQ3 あなたのお仕事の「職種」をお選びください。※完全に該当しない場合、最も近いと思われるものを選択してください。※ 複数の職種をお持ちの方は、主に業務をされているものを選択してください。

○ 1. 人事
○ 2. 労務
○ 3. 営業／営業企画
○ 4. 財務／会計／経理
○ 5. 総務
○ 6. 施設・設備管理
○ 7. 法務／知的財産
○ 8. 売り場担当
○ 9. 調理/ホール/フロアスタッフ
○ 10. 旅行手配/ツアーコンダクター
○ 11. ホテル/宿泊サービス
○ 12. ドライバー/配送スタッフ
○ 13. 鉄道・航空・船舶乗務員
○ 14. 倉庫管理
○ 15. 警備/守衛
○ 16. 清掃関連スタッフ
○ 17. ビル施設管理/メンテナンス
○ 18. 不動産販売
○ 19. マンション管理
○ 20. 購買／物流
○ 21. 仕入／商品管理
○ 22. 一般事務／営業事務
○ 23. 企画
○ 24. 広報／IR
○ 25. 調査／マーケティング
○ 26. 経営企画／事業企画
○ 27. 経営管理／コンサルタント（会計／戦略など）
○ 28. コンサルタント（人事）
○ 29. コンサルタント（IT関係）
○ 30. カスタマーサポート
○ 31. 情報システム
○ 32. 研究／開発
○ 33. 生産／製造
○ 34. 生産技術／生産計画
○ 35. 品質管理／検査
○ 36. インテリアデザイナー・インテリアコーディネーター
○ 37. クリエイター／デザイナー
○ 38. 建築士
○ 39. 設計
○ 40. プランニング・測量・積算
○ 41. 施工管理
○ 42. 工事/大工
○ 43. MR／医療用具営業（医薬）
○ 44. 管理栄養士、栄養士
○ 45. 訪問介護員（ホームヘルパー）
○ 46. 介護福祉士
○ 47. 保健師
○ 48. 医師（歯科・眼科医師以外）
○ 49. 歯科医師
○ 50. 眼科医師
○ 51. 獣医師
○ 52. 薬剤師
○ 53. 看護師/准看護師/看護助手
○ 54. 理学療法士/作業療法士
○ 55. 歯科衛生士
○ 56. 歯科技工士
○ 57. 医療事務
○ 58. 介護事務
○ 59. その他医療機関従事者
○ 60. 弁護士、弁理士、司法書士、行政書士
○ 61. 公認会計士、税理士
○ 62. 美容師/理容師/美容部員
○ 63. 保育士/幼稚園教員
○ 64. 教員（小学校～大学院・専門学校）
○ 65. 教員（その他）
○ 66. 学校事務職員・用務員・教育委員会
○ 67. その他

SQ4 SQ4 あなたは、採用に携わることがありますか。

○ 1. 採用業務を主にしている
○ 2. 主ではないが、採用業務をしている
○ 3. 頻度は少ないが、採用業務をすることがある
○ 4. 採用業務は行わない

SQ5 SQ5 最後に、あなたが務めている企業・団体の、全体の従業員数をお選びください。※会社全体（本社・支社・営業所などを合わせた）の従業員数をお答えください。※正確な人数がわからない場合、最も近いと思われるものを選択してください。

○ 1. 5人未満
○ 2. 5人～10人未満
○ 3. 10人～20人未満
○ 4. 20人～30人未満
○ 5. 30人～50人未満
○ 6. 50人～100人未満
○ 7. 100人～200人未満
○ 8. 200人～300人未満
○ 9. 300人～500人未満
○ 10. 500人～1000人未満
○ 11. 1000人～3000人未満
○ 12. 3000人～5000人未満
○ 13. 5000人以上
○ 14. わからない／答えたくない

Copyright © 2016 PIA CORPORATION. All Rights Reserved

■調査票　<本調査>

Q1　Q1　上記の内容にご同意いただき、本アンケートにご参加いただけますか。

○ 1. 同意する
○ 2. 同意しない

Q2　Q2　人事や採用に携わるあなたの立場でお答えください。あなたは、この学部の必要性についてどう思いますか。

○ 1. 必要だと思う
○ 2. どちらかといえば、必要だと思う
○ 3. どちらかといえば、必要ではないと思う
○ 4. 必要ではないと思う
○ 5. どちらともいえない／わからない

Q3　Q3　あなたは、「食科学部」の必要性について【【Q2の選択内容】】とお答えになりました。あなたがそのようにお答えになった理由を、できるだけ具体的にご記入ください。

Q4　Q4　では、ご覧いただいたようなリーフレットの内容で学びを得て卒業した学生を、採用することについて、どのように思いますか。

○ 1. 是非採用したい
○ 2. 採用を検討したい
○ 3. どちらとも言えない／分からない
○ 4. 採用は検討しない

Copyright © 2016 PIA CORPORATION. All Rights Reserved

■調査票　<本調査>

Q5　Q5　この学部を卒業する学生に関する以下の項目について、どの程度期待できそうですか。

			1 期待できる	2 やや期待できる	3 どちらともいえない	4 あまり期待できない	5 期待できない
Q5S1	1.	物事に自ら進んで取り組もうとする力が身についている	○	○	○	○	○
Q5S2	2.	実践を通じて、行動力が身についている	○	○	○	○	○
Q5S3	3.	課題を発見しようとする力が身についている	○	○	○	○	○
Q5S4	4.	計画を立て、着実に物事を進める力が身についている	○	○	○	○	○
Q5S5	5.	ルールや期日、約束を守ろうとする力が身についている	○	○	○	○	○
Q5S6	6.	多様な人々と共に目標に向けて協力する力が身についている	○	○	○	○	○
Q5S7	7.	食に関する専門知識が身についている	○	○	○	○	○
Q5S8	8.	食文化に関する知識を身につけている	○	○	○	○	○
Q5S9	9.	食ビジネスに関する知識を身につけている	○	○	○	○	○
Q5S10	10.	食についての様々な技術に関する知識を身につけている	○	○	○	○	○
Q5S11	11.	食に関する幅広い知識を身につけている	○	○	○	○	○

Copyright © 2016 PIA CORPORATION. All Rights Reserved

■調査票　<本調査>

Q6　Q6　あなたは、食学部のどのような点が魅力的だと思いますか。あてはまるものを全て、お選びください。

- □ 1. 【A】フードマネジメント領域
- □ 2. 【B】フードカルチャー領域
- □ 3. 【C】フードテクノロジー領域
- □ 4. 【D】食を総合的・包括的に捉える
- □ 5. 【E】学びのスキルと教養を得る
- □ 6. 【F】「食」と社会の関連を理解
- □ 7. 【G】「食」の学びを展開
- □ 8. 【H】「食」を通じた専門性
- □ 9. 【I】グローバルに広がる学び
- □ 10. 【J】社会での学び
- □ 11. 【K】アクティブな学び
- □ 12. 魅力的だと思う点はない

191

Copyright © 2016 PIA CORPORATION. All Rights Reserved

■デプスインタビュー　サマリーメモ

＜別添＞

Copyright © 2016 PIA CORPORATION. All Rights Reserved

Copyright © 2016 PIA CORPORATION. All Rights Reserved

Ⅰ．　１．書類等の題名

「学生の確保の見通し等を記載した書類　資料」　194 ページから 200 ページ

２．出典

経済産業省サービス政策課　産学連携サービス経営人材育成事業

３．引用範囲

http://www.mext.go.jp/sports/b_menu/shingi/011_index/shiryo/__icsFiles/afieldfile/2016/10/13/1378056_2.pdf